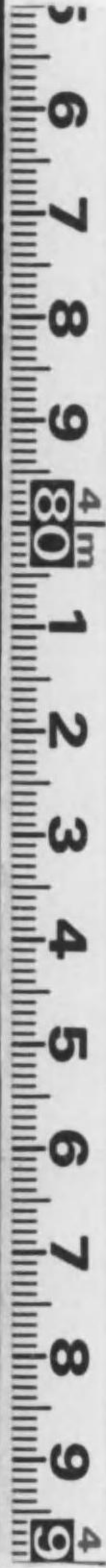


R029. 9-Ka43ㄗ



1200500765995

99
43



始



R
029.9
Ka43



文
庫
目
錄

三



發行所 贈本

西 938
號 8

緒言

本目錄は、當時東京市豊島區目白町在住の大森金五郎先生寄贈書を収録したものである。先生が國史界の泰斗で、特に鎌倉研究の權威であつたことは普く人の知る所である。それ故此の書目中には鎌倉研究に必要な資料が豊富であるから、一にはそれ等研究者の資料として、一には先生の芳志を傳へんが爲めに、茲に印刷に附して頒布する所以である。

先生は慶應三年四月廿五日郷里千葉縣長生郡豊榮村に生れ、明治廿七年東京帝大國史料第二回を卒業、學習院、第一高等學校、國學院大學、早稻田大學、明治大學、實踐女子専門學校等に於て、四十有餘年の長きに亘つて教職にあり、多數の子弟を薰陶すると共に、その間著書に、講演に、その蘊蓄を發表して、國史界に貢献する所甚大なるものがあつた。その金澤文庫に關する研究の如きは、大正十四年九月發行の「中央史壇」に『足利學校及金澤文庫について』と題し、又昭和三年八月發行の「歴史地理」には『金澤文庫追考』と題

して、詳細なる論文を發表したに拘らず、昭和五年金澤文庫が御大典事業の一として、神奈川縣によつて復興し、古文書の整理稍々その緒に就いた昭和七年六月十二日に、先生は生徒を引率して來訪し、偶々文庫に關する新しき事實を耳にするや、八月一日再度來訪、更に詳細なる調査を重ね、從來の持説を棄て、再び『金澤文庫を観る』と題して、長い論文を出された。如何にその學問に忠實であつたかを物語る好例である。爾來先生は、或は書翰を以て或は和歌を以て、私を激勵鞭撻すること一再に止まらず、先生は遂にその藏書一切を擧げて、當文庫に無償寄贈するの約をなすに至つた。

私が先生の病床にあることを知つたのは、昭和九年の冬頃であつた。十一年の初夏一旦回春の報を得たが、同年末頃から再び病臥、越えて十二年一月十三日病俄に革つて、遂に白玉樓中の人となつた。享年七十一歳。誠に哀悼の至りに堪えない。先生は生前既に遺書處分に就いて、家族の方々に發表されてゐたらしく、二七日を過ぐるや、先生の未亡人は先生の遺書全部を擧げ

て、當文庫へ寄贈し來つたので、私は之に南總文庫の名を付して、書庫の一部に架藏することにした。南總は先生の雅號である。その郷里南總に因んで付けたものであるといふことである。

寄贈當時の遺書の數は、總計八千四十八冊、その價格壹萬壹千五百八拾貳圓貳拾六錢の多きに達してゐたが、その内小冊子又は雜誌類は、數冊合本して一冊に計上した結果、此の目錄に載せた冊數は合計四千四冊となつた譯である。

金澤文庫本は、創立以來約七百年に亘つて保存されて來たことは、創立者北條實時の先見の明から、その地位を幽邃なこの地に選んだ結果である。今や時勢は急轉して、この地も亦人家稠密の所となつたが、幸ひ神奈川縣は耐震耐火の建物を史蹟地の中央に建設し、人家と相去ること遠く、今又篤志家の寄附によつて什寶保全のための防空施設も完成したので、實時の遺物を更に永遠に保存して、その創意を完うすることが出來得る様になつたばかりで

なく、先生の遺書をも併せて永遠に保管して、その遺志を完うすることが出来ることになつたことを喜んでゐる。

今回南總文庫の目録を印刷頒布するに當り、聊かその由來を記して緒言とする。

昭和十六年八月 日

金澤文庫にて

關

靖

凡 例

- 一、本目録ハ昭和十二年寄贈セラレタル故文學士大森金五郎氏藏書約四千冊ヲ氏ノ雅號ニ因ミ南總文庫トシテ整理收録セルモノナリ。
- 一、同一分類内ノ排列ハ概ネ書名ノ五十音順トセリ。
- 一、分出複出セルモノハ冊數欄ニ□印ヲ附シタリ。
- 一、大森金五郎氏自ラ謄寫シ或ハ謄寫セシメタル寫本ノ奥書ハ之ヲ收載セリ
- 一、索引ニ資スルタメ各書名ノ頭ニ通シ番號ヲ附シ内容目次ヲ有スルモノニハ更ニソノ中ニ於テ通シ番號ヲ附ス。

目次
和書

〇〇	總記	一
〇一	書誌書目	一
	書誌	一
	書目	一
〇二	事彙類書	四
〇三	叢書全集	六
	叢書	六
	全集	三
〇四	隨筆雜書	六
〇五	年鑑雜誌	三
	年鑑	三
	雜誌	三
	雜誌	三
目次	雜誌	三

〇六 學會 會報 八〇

〇七 神奈川縣郷土志料 八四

一〇 神祇宗教 八七

神祇 八七

宗教 九〇

二〇 哲學教育 九三

哲學 九三

教育 九七

三〇 政治 法制 經濟 兵事 九八

政治 九八

法制 一〇〇

古代法制 一〇〇

經濟 一〇四

兵事 一〇四

四〇 社會 民俗 一〇七

社會 一〇七

民俗 一〇七

五〇 文學 語學 一〇九

文學 一〇九

語學 一一七

六〇 自然科學 一二八

七〇 產業交通 一三〇

八〇 美藝 諸藝 一三一

拓本 一三五

九〇 歷史 傳記 地誌

九〇〇 歷史 一三七

九一〇 日本史 一三六

九一一 史料 一三五

九一二 時代史 一三五

九一三 地方史 一七〇

九一四 雜史 一七一

九二〇 外國史 一六六

九三〇 傳記

九三一 叢傳系譜 一六九

九三二 各傳 一八三

九四〇 地誌

九四一 日本地誌 一九〇

九四二 地方誌 一九三

九四三 地圖繪圖 一九八

九四四 外國地誌 二〇七

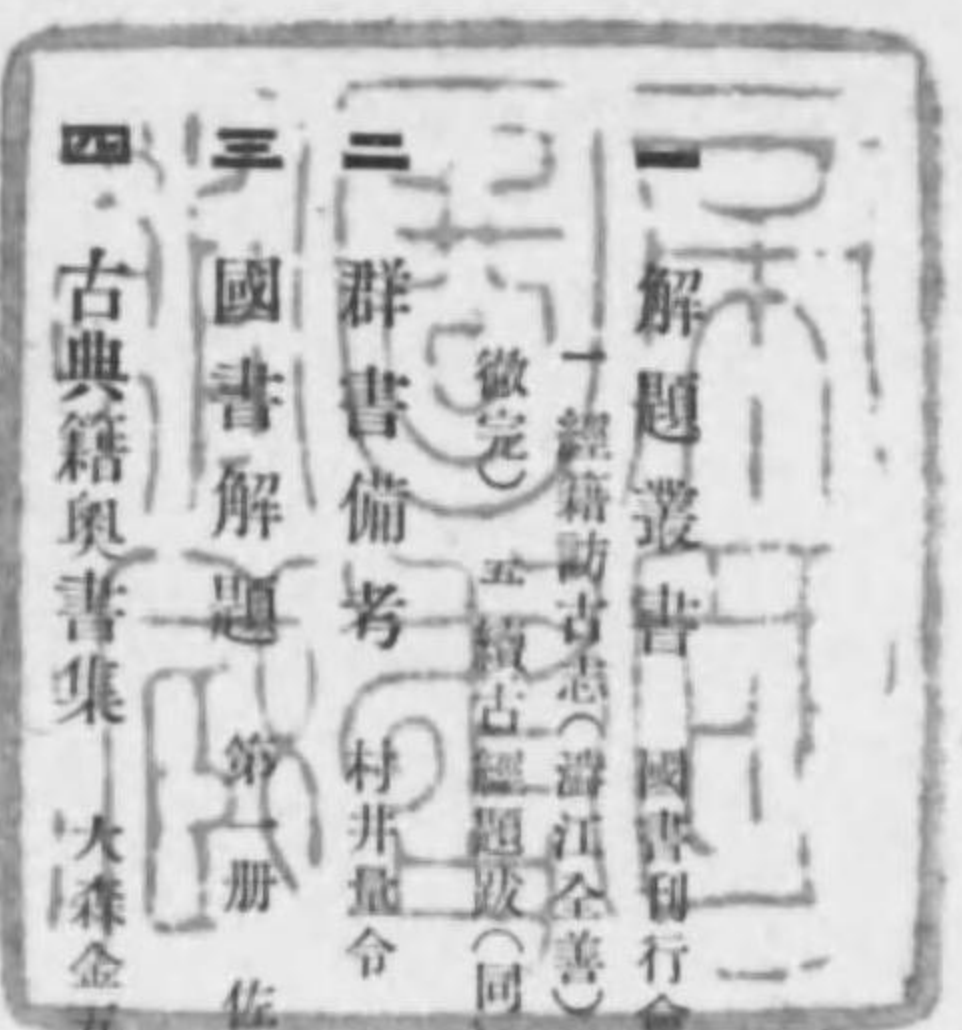
洋書 三二

和
書
ノ
部

〇〇總記

〇一書誌書目

書誌



- 一 解題遺書 國書刊行會編 大正五 (國書刊行會本第四期) 冊數 分類記號 圖書番號
 一經籍動古志(澁江全善) 二官板書籍解題略 三諸藩藏版書自筆記(東條耕) 四古經題跋(鶴養
 敏定) 五版古經題跋(同) 六譯場列位(同) 七和版書籍考(幸島宗意) 八經籍答問(松澤考泉)
- 二 群書備考 村井壺令 大正五 (國書刊行會本第四期) 〔一〕 〇三 五
- 三 國書解題 第一冊 佐村六郎編 明治三〇 一 〇一 一四
- 四 古典籍泉書集 大森金吾郎寫 一 〇一 一三
- 五 西曆一六四七年長崎に渡來の葡國使節に關する肥後細川家所藏
 「正保黒船來朝記」 武藤長藏 一 〇一 二〇
- 六 徳川幕府時代書籍考 附關係事項 及出版史 牧野善兵衛編 大正一 一 〇一 五
- 七 水戸文籍考 清水正健編 明治三五 一 〇一 七

書目

- 八 淺草文庫古板本表目 第五 大槻如電 明治三八 一 〇一 三三

書誌書目 書誌

九	〔足利學校遺跡圖書館〕貴重書目録	同館編	明治三九	和	一	〇	二
一〇	大槻文庫書目	大槻如電	明治四一	和	一	〇	二
一一	學習院圖書館和漢圖書目録	同館編	大正二	和	一	〇	二
一二	金澤蠶餘殘編	乾、坤	大正一四寫	和	一	〇	二
一三	紀藩士著述目録	齊藤勇見彦編	明治四一	和	六	〇	二
一四	群書一覽	尾崎雅嘉	享和二	和	六	〇	二
	第一 國史類	神書類	雜史類				
	第二 記錄類	有職類	氏族類	字書類	往來類	法帖類	
	第三 物語類	草子類	日記類	和文類	記行類		
	第四 撰集類	私撰類	家集類	歌合類	百首類	千首類	
	第五 類題類	和歌雜類	撰歌類	歌學類	詩文類	醫書類	教訓類
	第六 地理類	名所類	隨筆類	雜書類	群書類	從	釋書類
一五	慶長以來諸家著述目録	小説家之部	和學家之部	中根庸治編	明治二六—二七	和	四
一六	〔國學院大學附屬圖書館〕增加圖書目録	漢學家之部上、下	第二、五、八、	同館編	昭和四—八	和	二
一七	國書刊行會出版目録	一七〇—	附日本古刻書史	國書刊行會編	明治四二	和	一
一八	雜誌索引	第一卷第一—二四回	雜誌索引發行所	昭和三一—一	和	二	一
一九	神習舍玉篋目録	田邊勝哉編	大正一四	和	一	〇	一

一〇	存探叢書總目	近藤圭造編	和	一	〇	一〇	
一一	濯足庵藏書六十一種	金澤庄三郎編	昭和八	和	一	〇	八
一二	東京帝國大學附屬圖書館郡村誌目録番及冊數	大正十二年九月號	九月號失	和	一	〇	三
一三	東京帝國大學附屬圖書館和漢書目録	大正十二年九月號	災當時燒失ノ分	和	一	〇	三
一四	東京帝國大學附屬圖書館和漢書目録	大正十二年九月號	災當時燒失ノ分	和	一	〇	三
一五	豊橋市立圖書館圖書分類目録	大正五年三月	三十日現在	和	一	〇	一
一六	日本國見在書目録	藤原佐世	大正一四	影印	(古典保存會本)	和	一
一七	日本隨筆索引	太田爲三郎編	明治三四	和	一	〇	一
一八	文科諸雜誌索引	明治四三	和	一	〇	一	五
一九	早稻田大學和漢圖書分類目録	二、九、一三、一四	同館編	大正一五—昭和四	和	一	一
二〇	展觀目録	復興一周年	江戶時代の科學目録	(昭和七)	東京科學博物館	和	一
		紀念臨時陳列	御物上代染織特別展覽會目録	(昭和三)	東京帝室博物館	和	一
			〔宮内省圖書寮〕	陳列圖書目録	(大正四、昭和三)	宮内省圖書寮	二册
			神戸市史資料展覽會出陳目録	(大正一〇)	神戸市役所	和	一
			五、百二十年祭記念古松軒遺著遺墨展觀目録	(昭和三)	市立函館圖書館	和	一

事彙類書

- 六 (開道五十年紀念北海道) 五稜郭内歴史館陳列品目錄 同館
- 七 (博覽會兩館協贊會主催) 史料展覽會列品目錄 (大正四、六、九、一三)
- 八 (第七、八、九、十二回) 史料展覽會列品目錄 (大正四、六、九、一三)
- 九 東京帝國大學史料編纂掛 四册
- 一〇 東洋文庫展覽會目録 甲、乙 (大正一三) 東洋文庫 二册
- 一一 醍醐寺出陳繪畫特別展覽會目録 (大正九) 東京帝國博物館
- 一二 醍醐寺名寶展覽會目録 (昭和四) 醍醐天皇一千年御忌奉贊會
- 一三 日本名寶展覽會目録並解說 (昭和四、五) 讀賣新聞社
- 一四 日本書紀陳列目録 (大正九) 日本書紀撰修千二百年紀念會
- 一五 日本美術院展覽會陳列品目録 (第十六、十九回) 日本美術院
- 一六 原家什寶陳列目録 (大正七) 第二十回史學會
- 一七 三井家主催展覽會目録 (昭和一〇) 第三十六回史學會大會

〇二事彙類書

古今要覽稿

屋代弘賢 明治三八—四〇 (國書刊行會本第一期)

- 第一 神祇部 姓氏部 時令部
- 第二 地理部 器財部
- 第三 冠服部 政事部 遊戲部 雜藝部 技藝部
- 第四 草木部
- 第五 同
- 第六 人事部 病弱部 禽獸部 蟲介部 魚介部 飲食部 菜蔬部 雜部

古今要覽稿

神祇部 屋代弘賢 刊

古事類苑

神宮司廳編 明治二九—三五

[六]

〇三

五

和

一

〇二

七

一六

〇二

二

四

- 第五 八 神祇部 一—四
- 第九 帝王部
- 第一八—二〇 法律部 一—三
- 第二一 泉貨部 稱量部
- 第二四 武技部
- 第三〇—三二 文學部 一—三
- 第三三—三四 禮式部 一—二
- 第三九 姓名部

古今名錄

卷一—八五 索引 昨田伴存編 明治一八—二三

世諺辨略

卷一、二 林自見編 (安永七序)

塵

袋 (大正六序) (珍書同好會本)

- 第一 天象 神祇 諸國 內裏
- 第二 地儀 殖物
- 第三 草鳥
- 第四 獸蟲
- 第五 人倫 人事
- 第六 人體 寶貨 衣服 管絃
- 第七 佛事 雜物
- 第八 飲食 員數 本說 禁忌
- 第九 詞字
- 第一〇 疊字
- 第一一 疊字

和

一

〇二

六

和

一

〇二

五

七

〇二

一

吳東

雅 第一—四 目錄 新井君美 明治三六

事彙類書

和

五

〇二

四

五

号 箋注倭名類聚抄 狩谷望之 明治一六

- 第一 天地部第一 人倫部第二
- 第二 形體部第三 疾病部第四 術藝部第五
- 第三 居處部第六 舟車部第七 珍寶部第八 布帛部第九
- 第四 裝束部第十 飲食部第十一 器皿部第十二 燈火部第十三
- 第五 調度部第十四
- 第六 調度部下
- 第七 羽族部第十五 毛群部第十六 中馬部第十七
- 第八 龍魚部第十八 龜貝部第十九 蟲豸部第二十
- 第九 稻穀部第二十一 菜蔬部第二十二 果蘆部第二十三
- 第一〇 草木部第二十四 草木部下

和 一〇 〇 三 六

天 倭名類聚抄 源順 大正一五 影印 (古典保存會本)

和 和

和 名類聚抄地名索引 內務省地理局編 明治二一

和 一 〇 〇 二 八

〇三 叢書全集

叢書

四 燕石十種 岩本佐七編 明治四〇—四一 (國書刊行會本第一期)

- 第一 一 高尾考(原武太夫) 二 遊女考(相場長昭) 三 猿樂傳記 四 江戸眞砂 五 我衣(曳尾庵南竹) 六 殿のをだまき(森山孝盛) 七 座談(小川顯道) 八 後はむかし物語(平澤常富) 九 瀬田問答(大田草) 一〇 奴風(大田草) 一一 戲作者小傳 一二 戲作者六家撰 一三 後見草

(三) 〇 三 五

五 新燕石十種 國書刊行會編 明治四五—大正二 (國書刊行會本第三期)

- 第一 一 飛鳥川 二 續飛鳥川 三 親子草(喜田有順) 四 嘯の笛(曉鐘成) 五 天言筆語(飯島牛十郎) 六 於路加於比(柳亭種彦) 七 空おぼへ 八 けんどん争 九 浪華百事談 一〇 元吉原記
- 第二 一 ひともと草 二 五月雨草紙 三 なるの日並(笠亭仙果) 四 にぎはひ草(灰屋紹益) 五 了阿遺書(村田了阿) 六 東都紀行 七 獨考論 八 落語家奇奴部類(二代目扇橋) 九 管中双傷記 一〇 江戸砂子補正(加賀美遠懷)
- 第三 一 歌舞伎十八番考(石塚豊芥子) 二 花街漫録正誤(喜多村信節) 三 百戲術略(齋藤幸成) 四 いろ草(遊野瑞龍軒) 五 茂睡考(山東京山) 六 東作遺考(大田草) 七 怪談老の杖(平秩東作) 八 寫山樓記(野村文相) 九 麗遊卯花園漫録(石上宣續)
- 第四 一 見世物雜誌(小寺玉晃) 二 下谷通志(山崎美成) 三 相撲今昔物語 四 伊波傳毛之記(曲亭馬琴) 五 聲曲類纂補遺(齋藤幸成) 六 雅俗隨筆 七 兔園小説外集 八 兔園

(五) 〇 三 五

小説別集 三六 兔園小説餘錄 三六 兔園小説拾遺
 第五 四〇 天和笑委集 四一 寝ぬ夜のすきび 片山賢 四二 本所雨やどり 四三 三國連璧談
 四四 吉原十四ヶ條 四五 秀鶴隨筆(中村秀鶴) 四六 膽大小心録(上田秋成) 四七 播磨落穂集
 (濱松語國) 四八 筆拍子(濱松語國) 四九 大奥秘記(村山鎮)

三 續燕石十種

國書刊行會編 明治四一—四二 (國書刊行會本第一期)

第一 一 畫證錄(喜多村信節) 二 式亭雜記(式亭三馬) 三 釣客傳(黒田五柳) 四 華野若談(平
 秩東作) 五 過眼錄 六 反古集(越智爲久) 七 洞房語園後集(庄司勝富) 八 武江年表補
 正略(喜多村信節) 九 博覧厚照(山崎美成) 一〇 國字小説通(木村默翁) 一一 京攝戲作者
 考 木村默翁) 一二 一蝶流調考(山東京山) 一三 柳洪園先生一筆(柳澤里恭) 一四 深川珍
 者錄 一五 浪花人傑談(政田義彦) 一六 戲財録(並木五瓶) 一七 忘れ残り(四壁庵茂菫)
 一八 徳永種久紀行反古集(森良中良) 一九 俳諧古文庫(曲亭馬琴)
 第二 二〇 異聞雜稿(曲亭馬琴) 二一 吉原源氏五十四君(寶井其角) 二二 均庭雜錄(喜多村信節)
 二三 清神秘録(北流山人) 二四 十八大通(三升屋二三治) 二五 山東京傳一代記(山東京山)
 二六 江戸百化物 二七 金杉日記(山崎美成) 二八 高尾考(岩瀬百樹) 二九 紙屑話(三升屋二
 三治) 三〇 すゝみ草(建部綾足) 三一 壺すみれ(黒川春村) 三二 舞曲扇林(河原崎權之助)
 三三 改過筆記(曲亭馬琴) 三四 柳亭遺稿 三五 其昔がたり(三木隆盛) 三六 無垢衣考(山東
 京傳) 三七 疑問録(山崎美成) 三八 只今お笑草(二代目瀬川如皋) 三九 色道大鏡(島山箕
 山)

〔二〕 〇三 五

四 群書類從

揃保己一編 明治二六—三五

第一輯 神祇部
 一 皇大神宮儀式帳 二 止由氣宮儀式帳 三 大神宮諸雜事記 四 神宮雜例集 五 二所大神
 宮例文 六 内宮長曆送官符 七 外宮嘉祿三年山口祭祀 八 貞和御劄記 九 内宮臨時假殿
 遷宮記(荒木田守農) 一〇 治承元年公卿勅使記(三條實房) 一一 正應六年公卿勅使參
 宮次第(荒木田守農) 一二 神風抄 一三 古老口實傳 一四 詔刀御沙汰文 一五 元亨元年十二月
 高宮假殿日記 一六 高宮御裝束奉飭日記 一七 小朝熊社神鏡沙汰文(久) 一八 八幡愚言訓
 一九 石清水八幡宮護國寺略記 二〇 宮寺緣事抄 二一 石清水放生會記(明應四年) 二二 下部兼治)

二〇 〇三 六

第二輯 帝王部

三 權別當宗清法印立願文 三三 石清水宮御願書(後伏見院) 三四 加茂皇太神宮記 三五 文
 永十一年加茂祭繪詞 三六 加茂社御願書(後伏見院) 三七 春日權現驗記 三八 春日社記
 三九 春日大明神垂跡小社記 四〇 春日神木御入洛見聞略記 四一 さかさき葉の日記(二條良
 基) 四二 大三輪神三社鎮座次第 四三 大倭神社註進狀 四四 廣瀬社緣起 四五 日吉社神道
 秘密記(祝部行丸) 四六 日吉神輿御入洛見聞略記 四七 北野緣起 四八 北野緣起 四九 兩聖
 記(花山院長親) 五〇 菅神入宋授衣記 五一 菅家御傳記(菅原陳綱) 五二 家鎮記文(貞元
 聖) 五三 梅城録(呆菴) 五四 廿二社本縁 五五 廿二社註式 五六 大和豐秋津島卜定記 五七 大日
 本國一宮記 五八 延喜式神名帳頭註(下部兼治) 五九 尾張國內神名牒 六〇 伊豆國神階帳
 六一 上野國神名帳 六二 藤森社緣起 六三 尾張國熱田大神宮緣起 六四 在栢天神緣起
 六五 宇都宮大明神代々奇瑞之事 六六 竹生嶋緣起 六七 走湯山緣起 六八 宮根山緣起
 六九 松浦廟宮先祖次第本縁起 七〇 造殿儀式(北島親房) 七一 八幡御幸次第 七二 平野御
 幸次第 七三 神馬引付 七四 大神宮參詣記(坂士佛) 七五 八幡社參詣記(足利義政) 七六 春日
 社參詣記(姉小路基綱) 七七 東家秘傳(北島親房) 七八 寶鏡開始 七九 詠大神宮二所神祇百
 首和歌(度會元長) 八〇 雲州樋河上元湯記
 七 神皇正統記(北島親房) 七三 續神皇正統記(小槻晴富) 七五 椿葉記(道欽親王) 七四 皇
 代記 七五 皇年代略記 七六 踐祚部類抄 七七 天祚禮記職掌錄 七八 本朝世記 七九 庭槐抄
 八〇 皇紀抄 八一 六代勝事記 八二 五代帝王物語 八三 元德二年三月日吉社并叡山行幸記
 八四 舞御覽記(三年) 八五 書寫山行幸記(行春) 八六 さかさか花上(さかさか) 八七 室町殿行幸記(永享九年)
 八八 北山殿行幸記(應永十五年) (一條經綱) 八九 北山殿行幸記(名記) 九〇 室町殿行幸記(永享九年)
 九一 永享九年十月廿一日行幸記(實録) 九二 行幸勘例永德以下 九三 聚樂第行幸記 九四 天
 正廿年正月廿六日行幸樂樂第之行列 九五 御幸始部類記 九六 御光嚴院御幸始記(廣橋兼
 綱) 九七 高野御幸記(天治元年) (三條實行) 九八 兩院熊野御詣記(天承元年) 九九 加茂御幸記(寛永四年)
 一〇〇 加茂御祖皇大神宮御幸記(建長六年) 一〇一 石清水臨幸記(文應元年) (葉室親親) 一〇二 兩院石
 清水宮御參籠記(弘長三年) 一〇三 石清水御幸記(正安元年) 一〇四 八幡御幸記(建永三年) 一〇五 龜山
 殿御幸記(文永五年) (源雅言) 一〇六 平陽寺私記(夢窓疎石) 一〇七 應永廿二年御幸記(益直)
 第三輯 補任部
 一〇八 齋宮記 一〇九 加茂齋院記 一〇九 攝關補任次第 一一〇 辨官補任寛弘一建久 一一一 職事

叢書全集 叢書

補仁德廟一後奈良 一二藏人補任(藤原正隆) 一三樂所補任(天承一弘長) 一四將軍執權次第(治承一建武) 一五足利家官位記 一六關東評定傳(新編)私安 一七若狹國守護職次第 一八若狹國稅所今富名領主代々次第 一九類聚大補任清和(龜山) 二〇豐受大神宮彌宜補任次第 二一鶴岡八幡宮社務職次第 二二八幡宮御殿司職次第 二三御殿司職一方系圖 二四當社執行次第(關西) 二五當家學頭職次第(關西) 二六社家執事職次第(關西) 二七僧綱補任抄(出雲)六條(深賢) 二八僧官補任 二九東大寺別當次第 三〇天臺座主記 三一東寺長者補任(弘仁)貞命 三二仁和寺諸院家記

第四輯 系譜部

一三本朝皇胤相運餘 一四諸門跡譜 一五中臣氏系圖 一六菅原氏系圖 一七大江氏系圖 一八橘氏系圖 一九紀氏系圖 二〇小野氏系圖 二一高階氏系圖 二二清原氏系圖 二三中原氏系圖 二四小槻氏系圖 二五和氣氏系圖 二六丹波氏系圖 二七安倍氏系圖 二八加茂氏系圖 二九豐原氏系圖 三〇巨勢氏系圖

傳部

一五一上宮聖德法王帝說 一五二上宮聖德太子傳補闕記 一五三家傳錄足傳(惠美押勝) 一五四家傳武智麻呂傳(延慶) 一五五和氣清麻呂傳記 一五六田邑麻呂傳記(嵯峨天皇) 一五七白箸翁傳(紀長谷雄) 一五八女院小傳 一五九三十六人歌仙傳 一六〇中古歌仙三十六人傳 一六一日本往生極樂記(慶滋保胤) 一六二續本朝往生傳(大江匡房) 一六三仁和寺御傳(尊海) 一六四明匠略傳 一六五唐大和上東征傳(實元元開) 一六六天臺南山無動寺建立和尙傳(惠) 一六七慈慧大僧正傳 一六八道場法師傳 一六九性空上人傳 一七〇南天竺婆羅門僧正碑 一七一興正菩薩傳

官職部

一七二官職秘抄 一七三職原抄 一七四百寮調要抄 一七五百寮和歌 一七六官職雜儀 一七七女房官品 一七八任官勅例 一七九任太政大臣記(建仁四年)

律令部

一八〇律 一八一金玉掌中抄(中原章任) 一八二裁判至要抄(坂上明基) 一八三法曹至要抄(坂上明兼) 一八四令抄(一條兼良)

第五輯 公事部

一八五內裏式(藤原冬嗣) 一八六新儀式 一八七本朝月令 一八八雲圖抄(葉室重隆) 一八九九條年中行事 一九〇小野宮年中行事(藤原實資) 一九一建武年中行事(後醍醐天皇) 一九二年中行事秘抄 一九三年中行事歌合 一九四神祇官年中行事 一九五東宮年中行事 一九六三節會次第(一條兼良) 一九七釋奠次第(京極定家) 一九八建久九年五節記(吉田資經) 一九九綾小路俊量卿記 二〇〇朝且冬至部類記 二〇一後鳥羽院御踐祚次第(九條兼實) 二〇二後光嚴院御踐祚記(中原師茂) 二〇三後三條院御即位記(大江匡房) 二〇四正親町院御即位略次第 二〇五永仁御即位用途記(安倍親景) 二〇六文安御即位調度圖 二〇七大嘗會御禊下次第 二〇八延慶二年大嘗會御禊記(鳥丸長基) 二〇九大嘗會御禊日例(藤原實資) 二一〇大嘗會御禊事 二一一康治元年大嘗會記(藤原賴長) 二一二正安三年大嘗會記(三條實朝) 二一三永和會記(二條良基) 二一四永享大嘗會記(中原康富) 二一五大嘗會延例(藤原實資) 二一六長元大嘗會御屏風本文 二一七御讓位部類記 二一八寬元御讓位記(葉室重隆) 二一九永德御讓位記(德大寺實時) 二二〇天皇冠禮部類記 二二一天子冠禮部類記(藤原實資) 二二二天皇元服部類記 二二三主上御元服上壽作法抄 二二四立坊部類記 二二五東宮御書始部類記 二二六上朝故實(近世代例) 二二七作法故實(三條實冬) 二二八四節八座抄 二二九參議要抄(年中臨時) 二三〇羽林要抄(樋口定能) 二三一新任辨官抄(藤原俊憲) 二三二結政初參記 二三三貫首秘抄(藤原俊憲) 二三四蓬萊抄(葉室重隆) 二三五夕拜備急至要抄(年中行事) 二三六柱史抄下(藤原孝純) 二三七內局杜禮抄(菅原和長) 二三八清涼眼抄 二三九大夫尉義經畏申記 二四〇除日抄下 二四一蟬冕翼抄 二四二大間書(保元四年) 二四三傳宣草上

第六輯 裝束部

二四四滿佐須計裝束抄(源雅亮) 二四五助無智秘抄(年中行事) 二四六筋抄(久我通方) 二四七後照念院殿裝束抄(近衛冬平) 二四八裝束抄(西三條實隆) 二四九次將裝束抄(京極定家) 二五〇三條家裝束抄(伏見院) 二五一雁衣抄 二五二布衣記 二五三連阿口傳抄(高倉永綱) 二五四連阿不足口傳抄(高倉永綱) 二五五裝束雜事抄(高倉永行) 二五六物具裝束抄(中山忠定) 二五七深窓秘抄 二五八撰座裝束抄 二五九拾帷着時節 二六〇法中裝束抄 二六一法幹裝束抄(高倉永行) 二六二女官飾鈔(一條兼良) 二六三曇花院殿裝束抄(聖秀女王) 二六四御踐行幸服飾部類

文筆部

二六四懷風藻(淡海三船) 二六五凌雲集(小野岑守) 二六七文華秀麗集(仲雄王) 二六八經國集

叢書全集 叢書

(滋野貞主) 二六九 扶桑集(紀齊名) 二七〇 本朝麗藻 二七一 本朝無題詩 二七二 都氏文集(都良香) 二七三 田氏家集(嶋田忠臣) 二七四 菅家後集(菅原道真) 二七五 江東部集(大江匡衡) 二七六 法性寺關白御集(藤原忠通) 二七七 雜言奉和 二七八 栗田左府尙書會詩 二七九 賦光源氏物語詩 二八〇 天德三年八月十六日開詩行事略記 二八一 善秀才宅詩合(十九日) 二八二 侍臣詩合(永承六年) 二八三 殿上詩合(天喜四年六月) 二八四 資實長兼兩卿百番詩合 二八五 泥之草再新 二八六 續千字文(百二十四字) 二八七 善爲康 二八八 富士山記(都良香) 二八九 狐窟記(大江匡房) 二九〇 源府君所藏銅雀研記(義堂) 二九一 暮年記(大江匡房) 二九二 遊女記(大江匡房) 二九三 傀儡子記(大江匡房) 二九四 續浦島子傳 二九五 續浦島子傳記 二九六 玉造小町子壯衰書 二九七 新猿樂記(藤原明衡) 二九八 作文大體 二九九 童蒙頌(三善爲康)

消息部

三九〇 雲州消息(藤原明衡) 三九一 貴嶺問答(中山忠親) 三九二 十二月往來 三九三 新十二月往來(九條良經) 三九四 異制庭訓往來(虎關師鍊) 三九五 雜筆往來 三九六 尺素往來(一條兼良) 三九七 釋氏往來(守覺法親王) 三九八 山密往來(實嚴) 三九九 後花園院御消息 三九九 贈定家卿文(西行) 三〇〇 定家御消息(每月抄) 三〇一 越部禪尼消息 三〇二 東野州消息(東常祿) 三〇三 東素山消息 三〇四 消息(耳底秘抄)(守覺法親王) 三〇五 書札禮付故實 三〇六 書札作法抄 三〇七 細川家書札抄 三〇八 大館常興書札抄

第七輯 和歌部

三〇九 拾遺抄(花山院) 三一〇 後葉和歌集 三一〇 續詞花和歌集(藤原清輔) 三一一 玄玉和歌集 三一二 現存和歌六帖 三一二 秋風抄(小野春雄) 三一二 雲葉和歌集 三一二 新和歌集(冷泉爲氏) 三一二 續門葉和歌集 三一二 續現葉和歌集 三一二 臨永和歌集 三一二 藤葉和歌集 三一二 玄々集(能因) 三一二 今撰和歌集 三一二 柳風和歌集 三一二 新撰和歌(紀貫之) 三一二 金玉集(柿本末成) 三一二 三十六人撰(藤原公任) 三一二 後六々撰(藤原範兼) 三一二 新三十六人撰 三一二 爲家御千首中院門千首 三一二 詠千首和歌(藤原師範) 三一二 詠千首和歌(宗良親王) 三一二 爲尹御千首和歌 三一二 千首和歌(太神宮法樂) 三一二 白河殿七百首 三一二 龜山殿七百首 三一二 堀川院御時百首和歌(太郎百首) 三一二 永久四年百首 三一二 久安六年御百首 三一二 正治二年第二度百首和歌 三一二 內裏名所百首 三一二 弘長百首七五集 三一二 丹後守爲忠朝臣家百首 三一二 木工權頭爲忠朝臣家百首 三一二 句題百首五五集 三一二 朗詠百首 三一二 後成卿文治六年五社百首 三一二 秋日階社境同詠兩百首(津守國冬) 三一二 爲兼卿鹿百首(日社法樂)

第八輯 和歌部歌合

三七〇 南都百首(一條兼良) 三七〇 遣助法親王家五十首和歌 三七〇 新古今和歌集(寬治) 三七〇 續古今和歌集(寬治) 三七〇 寂寂四天王院障子和歌 三七〇 句題和歌(大江千里) 三七〇 三月三日紀師近曲水宴 三七〇 三百首和歌(宗尊親王) 三七〇 七夕七十首(藤原爲理)

三七〇 在民部御家歌合 三七〇 寬平御時后宮歌合 三七〇 亭子院歌合(延喜一三) 三七〇 陽成院歌合(延喜一三) 三七〇 亭子院有心無心歌合 三七〇 內裡歌合(天德四) 三七〇 堀川中納言兼通家歌合 三七〇 一條大納言爲光家歌合(天延三) 三七〇 大納言齊信家歌合(長元二) 三七〇 賀陽院水閣歌合(長元八) 三七〇 源大納言房御歌合(長曆二) 三七〇 弘徽殿女御十番歌合(長久二) 三七〇 祐子內親王家歌合(永承五) 三七〇 皇后宮春秋歌合(天喜四) 三七〇 備中守定綱朝臣家歌合(治曆三) 三七〇 藤子內親王家歌合(治曆三) 三七〇 藤子內親王家歌合(治曆四) 三七〇 內裏歌合(承曆二) 三七〇 氣多宮歌合(延久四) 三七〇 攝津守有綱家歌合(承保二) 三七〇 若狹守通宗朝臣女子連歌合(應德三) 三七〇 高陽院七番歌合(寬治八) 三七〇 東塔東谷歌合(永長二) 三七〇 山家五番歌合(天仁三) 三七〇 散位源廣綱朝臣歌合(長治五) 三七〇 六條宰相家歌合(永久四) 三七〇 內大臣家歌合(元永一) 三七〇 內大臣家歌合(元永二) 三七〇 關白內大臣家歌合(保安二) 三七〇 永祿奈良房歌合(大治三) 三七〇 西宮歌合(大治三) 三七〇 南宮歌合(大治三) 三七〇 住吉歌合(大治三) 三七〇 中宮亮顯輔家歌合(長承三) 三七〇 右衛門督家歌合(久安五) 三七〇 太皇太后宮大進清輔朝臣家歌合(永曆一) 三七〇 中宮亮重家朝臣家歌合(永萬二) 三七〇 太皇太后宮亮經盛朝臣家歌合(仁安二) 三七〇 左衛門督實國朝臣家歌合(嘉應二) 三七〇 住吉社篇合(嘉應二) 三七〇 建春門院北面歌合(嘉應二) 三七〇 廣田歌合(承安二) 三七〇 三井寺新羅社歌合(承安三) 三七〇 右大臣家歌合(安元一) 三七〇 別雷社歌合(承安二) 三七〇 三井寺新羅社歌合(承安三) 三七〇 右大臣家歌合(治承三) 三七〇 若宮社歌合(建久二) 三七〇 民部卿家歌合(建久六) 三七〇 御室撰歌合(正治二) 三七〇 仙洞十人歌合(正治二) 三七〇 老若五十首歌合(建仁一) 三七〇 新宮撰歌合(建仁一) 三七〇 影供歌合(建仁一) 三七〇 院撰歌合(建仁一) 三七〇 院撰歌合(建仁一) 三七〇 影供歌合(建仁二) 三七〇 水無瀬釣殿當座六首歌合(建仁二) 三七〇 水無瀬殿懸十五首歌合(建仁二) 三七〇 水無瀬櫻宮十五番歌合(建仁二) 三七〇 八幡若宮撰歌合(建仁三) 三七〇 北野宮歌合(元久一) 三七〇 御相侍臣歌合(建永一) 三七〇 鴨御祖社歌合(建永二) 三七〇 加茂別雷

- 社歌合 四五 歌合(建曆三) 四七 仙洞歌合(建曆三) 四八 禁裡歌合(建保二) 四九 歌合(建保二) 五〇 月御雲客妬歌合(建保二) 五一 四十五番歌合(建保三) 五二 三月御雲客妬歌合(建保三) 五三 百番歌合(建保四) 五四 歌合(建保四) 五五 歌合(建保四) 五六 歌合(建保五) 五七 右大臣家歌合(建保五) 五八 四十番歌合(建保五) 五九 歌合(建保五) 六〇 歌合(建保七) 六一 歌合(建保七) 六二 石清水若宮歌合(寬喜四) 六三 光明寺攝政家歌合(貞永一) 六四 歌合(貞永一) 六五 遠島御歌合(嘉祿二) 六六 河合社歌合(寬元一) 六七 院御歌合(院御歌合) 六八 影供歌合(建長三) 六九 十五夜歌合(文永二) 七〇 龜山殿五首御歌合(文永二) 七一 攝政家月十首歌合(建治一) 七二 正應二年廿番歌合 七三 十五夜歌合(永仁五) 七四 歌合(永仁五) 七五 新名所繪歌合(正安三) 七六 歌合(正安四) 七七 仙洞五十番歌合(乾元二) 七八 歌合(乾元二) 七九 永福門院歌合(嘉元三) 八〇 歌合(嘉元三) 八一 外宮北御門歌合(元亨一) 八二 新玉津島社歌合(貞治六) 八三 五百番歌合(天授一) 八四 內裏九十番御歌合(應永一四) 八五 仙洞歌合(寶德二) 八六 百番歌合(寶德三) 八七 內裏歌合(康正一) 八八 按察使親長卿家歌合(文明五) 八九 武州江戶歌合(文明六) 九〇 文明九年七月七日七首歌合 九一 文明十年八月二日歌合 九二 文明十年九月盡歌合 九三 將軍家歌合(文明一四) 九四 將軍家歌合(文明一) 九五 殿中十五番御歌合 九六 三十六番歌合(文龜三) 九七 嬪川親孝家歌合(大永三) 九八 十五夜三首歌合(永祿六) 九九 秋十五番歌合(永祿六) 一〇〇 後陽成院御歌合(文祿三) 一〇一 近江御息所歌合 一〇二 源順馬名合 一〇三 一條大納言家歌合 一〇四 多武峯住生院歌合 一〇五 西國受領歌合 一〇六 源大納言家歌合 一〇七 播磨守兼房朝臣歌合 一〇八 藤子內親王家庚申夜歌合 一〇九 藤子內親王家櫻柳歌合 一一〇 藤子內親王家夏歌合 一一一 山家三番歌合 一一二 源宰相中將家歌合 一一三 雲居寺結緣經後宴歌合 一一四 爲兼卿家歌合 一一五 廿番歌合 一一六 公武歌合 一一七 武家歌合 一一八 地下歌合 一一九 前十五番歌合 一二〇 後十五番歌合 一二一 時代不同歌合 一二二 新時代不同歌合 一二三 定家家隆兩卿獨歌合 一二四 閑窓撰歌合(建長三) 一二五 廿六人大歌合(弘長二) 一二六 女房廿六人歌合 一二七 御裳瀧川歌合 一二八 宮川歌合 一二九 慈鎮和尚自歌合 一三〇 日吉社歌合(嘉祿一) 一三一 後京極殿御自歌合 一三二 後鳥羽院御自歌合(嘉祿二) 一三三 定家卿自歌合 一三四 家隆卿百番自歌合 一三五 隆祐朝臣百番自歌合 一三六 永福門院百番御自歌合(藤原鏡子) 一三七 慈照院殿御自歌合(足利義政) 一三八 鏡

第九集

和歌部家集

- 孝法印自歌合 五〇 道堅法師自歌合 五一 豐原秋自歌合 五二 十市遠忠自歌合 五三 細川右京大夫自歌合 五四 元久詩歌合 五五 內裏詩歌合(建保一) 五六 現存廿六人詩歌 五七 五十四番詩歌合(康永二) 五八 詩歌合(守通) 五九 文安詩歌合 六〇 詩歌合(文明一四) 六一 詩歌合(文明一五) 六二 寬平菊合 六三 上東門院菊合和歌 六四 朱雀院女郎花合 六五 內裏歌合(康保三) 六六 東三條院聖琴合 六七 後冷泉院根合 六八 郁芳門院根合 六九 備中守仲實朝臣女子根合(康和二) 七〇 同融院扇合 七一 堀河院覽書合 七二 正子內親王繪合 七三 小野宮右衛門督家歌合 七四 同上 七五 顯昭陳狀 七六 蓮性陳狀
- 玉和歌集(宗尊親王) 八一 李花集(宗長親王) 八二 西宮左大臣御集(源高明) 八三 金桃和歌集(源實朝) 八四 常徳院殿御集(足利義尚) 八五 夏日陪多田院前詠五十首和歌(源義尚) 八六 柿本集 八七 家持集 八八 權中納言兼輔卿集 八九 權中納言敦忠卿集 九〇 權中納言朝忠卿集 九一 海人手子良集(藤原師氏) 九二 因院左大將朝光卿集 九三 前大納言公任卿集 九四 權中納言定頼卿集 九五 權中納言俊忠卿集 九六 中納言兼兼卿集 九七 成通卿集 九八 前大納言實國卿集 九九 入道大納言資賢卿集 一〇〇 按納言集(藤原長方) 一〇一 權中納言爲重卿集 一〇二 源棟集(飛鳥井雅親) 一〇三 爲和卿集 一〇四 權大納言繼卿集 一〇五 明日香井和歌集(飛鳥井雅親) 一〇六 隣女和歌集(飛鳥井雅有) 一〇七 祭主輔親卿集 一〇八 大藏卿行宗卿集 一〇九 六條修理大夫集(藤原顯季) 一一〇 左京大夫顯輔卿集 一一一 從三位賴政卿集 一一二 紀貫之集 一一三 業平朝臣集 一一四 敏行朝臣集 一一五 宗子朝臣集 一一六 公忠朝臣集 一一七 賴基朝臣集 一一八 猿丸大夫集 一一九 紀友則集 一二〇 坂上是則集 一二一 藤原清正集 一二二 藤原元真集 一二三 信明集 一二四 藤原義孝集 一二五 藤原仲文集 一二六 源順集 一二七 能宣朝臣集 一二八 爲頼朝臣集 一二九 元輔集 一三〇 兼盛集 一三一 實方朝臣集 一三二 高光集 一三三 相如集 一三四 重之集 一三五 藤原長能集 一三六 源兼澄集 一三七 源澄濟集 一三八 橘爲仲朝臣集 一三九 讚岐入道集(藤原顯綱) 一四〇 故侍中左金吾家集(源賴實) 一四一 津守國基集 一四二 散木奇歌集(源俊賴) 一四三 藤原爲忠朝臣集 一四四 式部大輔菅原在良朝臣集 一四五 藤原基俊家集 一四六 清輔朝臣集 一四七 源朝光集 一四八 源有房朝臣集 一四九 平忠度朝臣集 一五〇 惟宗廣言集

空三鴨衣明集 六三藤原隆信朝臣集 六三藤原隆祐朝臣集 六三藤原光經集 六三源孝範集 六三常綠集 六三葛景集(太田持資) 六三桂林集(源直朝) 六三赤人集 六三躬恒集 六三興風集 六三忠峯集 六三忠見集 六三曾根好忠集曾丹集 六三櫻井基佐集 六三出觀集(覺性親王) 六三北院御室御集(守覺法親王) 六三遍昭集 六三源賢法眼集 六三夢窓國師御詠草

第十輯 和歌部家集

六五二慶雲法印集 六五三堯孝法印集 六五三素性法印集 六五四惠慶法印集 六五五安法々印集 六五六登蓮法印集 六五七林葉和歌集(俊惠) 六五八寂然法師集 六五九寂蓮法師集 六六〇兼好法師集 六六一元可法師集 六六二宗祇法師集 六六三嘉喜門院御集 六六四齊宮女御集 六六五經信卿母集 六六六俊成卿女集 六六七小町集 六六八楡垣集 六六九本院侍從集 六七〇小馬命婦集 六七一馬内侍集 六七二伊勢集 六七三中務集 六七四加茂保憲女集 六七五小大君集 六七六清少納言集 六七七紫式部集 六七八和泉式部集 六七九相摸集玉書集 六八〇赤染衛門集 六八一伊勢大輔集 六八二康資玉母集(伯母集) 六八三辨乳母集 六八四出羽辨集 六八五祐子内親王家紀伊集 六八六二條大皇太后宮大貳集 六八七待賢門院堀川集 六八八二條院讀破集 六八九小侍從集 六九〇建禮門院右京大夫集

和歌部 雜

六九一中殿御會部類記 六九二晴御會部類記 六九三貞治六年中殿御會記(雲井の花)(二條良基) 六九四柿本朝臣人麻呂勘文(顯昭) 六九五柿本影供記(藤原敦光) 六九六柿本講式 六九七柿本像經色勸進狀 六九八新撰萬葉集(菅原道真) 六九九古今和歌集目錄 七〇〇古今集序注 七〇一古今集童蒙抄(一條兼良) 七〇二鮮案抄(京極定家) 七〇三三代集之間事(京極定家) 七〇四拾遺抄註(顯昭) 七〇五散木集註(顯昭) 七〇六藤玉和歌集(二條良基) 七〇七悅目抄(藤原基俊) 七〇八後鳥羽院御口傳 七〇九近代秀歌(京極定家) 七一〇詠歌一體(冷泉爲家) 七一一よるのつる阿佛口傳(安嘉門院四條) 七一二九品和歌和歌九品論議(藤原公任) 七一三歌仙落書(成務) 七一四久我通光 七一五續歌仙落書 七一六正治奏狀(藤原俊成) 七一七定爲法印申文 七一八延慶兩朝詠狀(京極爲兼、冷泉爲世) 七一九無名秘抄(鴨長明) 七二〇水蛙眼目(頼阿) 七二〇今川俊和歌所江不審條々二言抄 七二一了俊辨要集 七二三落書露顯(今川了俊) 七二三微書記物語(正徹) 七二四東野州開書(東常縁) 七二五兼載雜談(兼載) 七二六西公談抄 七二七桐火桶 七二八愚秘抄 七二九五記雙木

連歌部

七三〇筑波問答 七三一吾妻問答 七三二さしめこと 七三三老のくりこと 七三四老のすさみ 七三五若草山 七三六連歌本式 七三七連歌新式追加并新式今案等(二條良基、一條兼良) 七三八漢和法式

第十一輯 物語部

七三九伊勢物語 七四〇大和物語 七四一竹とりの翁物語 七四二住吉物語 七四三秋の夜の長物語 七四四鳥部山物語 七四五松帆浦物語 七四六見教訓(宗祇) 七四七無名草子 七四八拾遺百番歌合 七四九百番歌合源氏袂衣歌合 七五〇源氏物語顯文 七五一伊勢源氏十二番女合 七五二源氏人々の心くらへ 七五三源氏物語奥入 七五四原中宸秘抄 七五五弘安源氏論議 七五六仙源抄(長慶院) 七五七源氏秘訣(一條兼良) 七五八源氏物語覽宴記

日記部

七五九和泉式部日記 七六〇紫式部日記 七六一讀破典侍日記 七六二辨内侍日記 七六三中務内侍日記 七六四堯孝法印日記 七六五玄與日記 七六六宗長日記

紀行部

七六七土佐日記(紀貫之) 七六八いほぬし(増基) 七六九さらしな日記(菅原孝標女) 七七〇高倉院嚴嶋御寺記(久我通親) 七七一後鳥羽院熊野御寺記(京極定家) 七七二海道記(源光行) 七七三南海流浪記(道範) 七七四東關紀行(源親行) 七七五うたゝねの記(阿佛) 七七六いさよひの日記(阿佛) 七七七都のつと(宗久) 七七八小島のくちすさみ(二條良基) 七七九住吉詣(足利義詮) 七八〇道ゆきふり(今川貞世) 七八一鹿苑院嚴嶋詣記(今川貞世) 七八二なぐさめ草(正徹) 七八三伊勢紀行(堯孝) 七八四富士紀行(飛鳥井雅康) 七八五覽富士記(堯孝) 七八六富士御覽日記 七八七富士歷覽記(飛鳥井雅康) 七八八善光寺紀行(堯惠) 七八九ふち河の記(一條兼良) 七九〇正廣日記 七九一平安紀行(太田持資) 七九二筑紫道記(宗祇) 七九三北國紀行(堯惠) 七九四廻國雜記(道興) 七九五高野參詣日記(西三條實隆) 七九六吉野詣記(西三條公條) 七九七九州道の記(玄旨) 七九八九州のみちの記(豊臣勝俊) 七九九あつまの道の記(尊海) 八〇〇むさし野の紀行(北條氏康) 八〇一東國陳道記(玄旨) 八〇二蒲生氏郷紀行 八〇三東路の津登(宗長) 八〇四細巴富士見道記 八〇五東國紀行

第十二輯 管絃部

- 八〇六 管絃香義(涼金) 八〇七 五重十操記 八〇八 龍鳴抄(大神基政) 八〇九 懷竹抄(大神惟季)
- 八二〇 胡琴教錄 八二一 舞樂要錄 八二二 雜秘別錄(藤原孝道) 八二三 舞曲口傳(豐原統秋)
- 八二四 夜鶴庭調抄 八二五 殘夜抄(近衛家基) 八二六 絲竹口傳(俊鏡) 八二七 木節抄
- 八二八 秦箏相承血脈 八二九 琵琶血脈 八三〇 順德院御琵琶合 八三一 八音抄 八三二 東遊歌圖
- 八三三 風俗 八三四 鄂曲抄 八三五 新撰別錄(藤原基俊) 八三六 梁塵秘抄口傳集(後白河院)

歌部

- 八三七 承元御鞠記 八三八 貞治二年御鞠記(衣かつき)(二條良基) 八三九 享德二年晴之御鞠記(雲井一條兼良)
- 八四〇 後鳥羽院御記 八四一 成通御口傳日記 八四二 蹴鞠略記(飛鳥井雅經)
- 八四三 蹴鞠簡要抄 八四四 遊庭秘抄(冷泉爲定)

鷹部

- 八四五 新修鷹經 八四六 嵯峨野物語(二條良基) 八四七 白鷹記(二條道平) 八四八 養鷹記
- 八四九 後京極殿鷹三百首(九條良經) 八五〇 鷹三百首和歌 八五一 鷹百首(慈鎮) 八五二 鷹百首(西園寺公經) 八五三 小鷹部 八五四 編津松嶋軒記

遊戯部

- 八五五 薰集類抄 八五六 後伏見院宸翰薰物方 八五七 むくきのたね 八五八 五月雨日記 八五九 名香合(西三條實隆) 八六〇 名香日錄(玩隱永雄) 八六一 團基口傳 八六二 團基式(玄尊)
- 八六三 仙傳抄 八六四 君臺觀左右帳記(能阿彌) 八六五 御飾記(相阿彌) 八六六 作庭記(九條良經) 八六七 洛陽田樂記(大江匡房) 八六八 文安田樂能記(實意) 八六九 糺河原勸進猿樂日記(伊勢宗悟) 八七〇 異本糺河原勸進申樂 八七一 栗田口猿樂記(尊應)

飲食部

- 八六三 厨事類記 八六四 世俗立要集 八六五 四條流包丁書(多治見貞賢) 八六六 武家調味故實
- 八六七 大草家料理書 八六八 包丁開書 八六九 大草殿より相傳之開書 八七〇 喫茶養生記(明菴榮西) 八七一 喫茶往來(玄惠) 八七二 酒茶論(蘭叔) 八七三 亭子院賜酒記(紀長谷雄)
- 八七四 酒食論 八七五 北野大湯茶之記

第十三輯 合戰部

- 八七六 將門記 八七七 純友追討記 八七八 陸奥話記(陸奥物語) 八七九 奥州後三年記(玄惠) 八八〇 承

第十四輯 武家部

- 八八〇 久軍物語 八八一 梅松論 八八二 伯耆之卷 八八三 明德記 八八四 應永記(大内義弘退治記) 八八五 嘉吉記 八八六 新撰長祿寬正記 八八七 文正記 八八八 應仁記 八八九 應仁略記 八九〇 應仁別記
- 八九一 永祿記 八九二 豐鑑(竹中重門) 八九三 細川兩家記(三河分國記)(生嶋宗竹) 八九四 勢州四家記 八九五 内外兩宮兵亂記 八九六 鎌倉大草紙 八九七 結城戰場物語 八九八 相州兵亂記(關東兵亂記) 八九九 豆相記 九〇〇 河越記(西脇某) 九〇一 深谷記 九〇二 さゝおちのさうし 九〇三 なかおのさうし 九〇四 房總治亂記 九〇五 鹿島治亂記 九〇六 江濃記 九〇七 江北記
- 九〇八 船田前記(淳岩) 九〇九 結田後記 九一〇 上野國群馬郡箕輪軍記 九一一 羽尾記 九一二 蘆名家記 九一三 蒲生氏郷記 九一四 伊達日記 九一五 柴田退治記(大村由巳) 九一六 富樫記 九一七 小松軍記 九一八 荒山合戰記 九一九 末森記(岡本慶雲) 九二〇 赤松記(定阿) 九二一 赤松再興記 九二二 別所長治記 九二三 播州御征伐之事(播州征伐記)(大村由巳) 九二四 大内義隆記 九二五 中國治亂記 九二六 阿州將裔記 九二七 三家成立之事(三家成立記) 九二八 三好別記 九二九 十河物語 九三〇 豫章記 九三一 大友記(九州治亂記) 九三二 難太平記(今川了俊) 九三三 上月記 九三四 荒木略記 九三五 親房卿被贈結城狀(關原書) 九三六 吉野御事書案 九三七 阿蘇大宮司惟澄申狀 九三八 菊池武朝申狀 九三九 上杉輝虎注進狀 九四〇 豐臣大岡御事書 九四一 沙彌洞然長狀

叢書全集 叢書

- 九四二 御成敗式條貞永式目 九四三 御成敗式目追加 九四四 建武式目條々(是圓) 九四五 建武以來追加 九四六 侍所沙汰篇 九四七 大内家壁書 九四八 政所壁書 九四九 早雲寺殿廿一箇條
- 九五〇 信玄家法 九五〇 長曾我部元親百箇條 九五二 朝倉敏景十七箇條 九五三 鷹苑院殿御元服記 九五五 普賢院殿御元服記 九五六 光源院殿御元服記 九五七 常徳院殿御馬召初るゝ事御記 九五八 寶篋院殿將軍宣下記 九五九 普賢院殿任大臣節會次第 九六〇 普賢院殿左大臣御拜賀記 九六一 普賢院殿大將御拜賀雜事 九六二 鷹苑院殿御直衣始記 九六三 長祿二年以來申次記 九六四 殿中申次記 九六五 年中定例記 九六六 公方様正月御事始之記 九六七 殿中以下年中行事(成氏年中行事) 九六八 飯尾宅御成記 九六九 島山亭御成記 九七〇 祇園會御見物御成記 九七一 伊勢守貞忠亭御成記 九七二 三好筑前守義長朝臣亭御成記 九七三 朝倉亭御成記 九七四 文祿三年卯月八日加賀之中納言殿御成記 九七五 文祿四年御成記(松波重隆) 九七六 諸大名衆御成被申入記 九七七 供立之日記 九七八 御供古實(伊勢常喜) 九七九 走來故實 九八〇 大内問答(伊勢貞久) 九八一 奉公疊悟之事 九八二 今川大雙紙 九八三 宗五大雙紙

- 九〇 藤中舊記(伊勢貞隆) 九二 大上萬御名之事 九四 嫁入記(伊勢貞隆) 九五 よめむかへの事(伊勢貞隆) 九六 法量物 九七 射禮私記 九八 大的拜記 九九 流騎馬次第 一〇〇 笠掛記(小倉實澄) 一〇一 鹿足之次第 一〇二 日安(小笠原貞宗) 一〇三 騎射秘抄 一〇四 八題之日記(大寺) (多賀高忠) 一〇五 出家師落書 一〇六 大追物手組事(渡邊半兵衛) 一〇七 就弓馬儀大槻開書(多賀高忠) 一〇八 家中竹馬記(土岐利綱) 一〇九 土岐家開書 一〇〇 矢開之事(多賀高忠) 一〇一 就狩詞少々覺悟之事(多賀高忠) 一〇二 空穗之次第(武田元信) 一〇三 隨兵日記 一〇四 隨兵之次第記 一〇五 中原高忠軍陣開書(田賀高忠) 一〇六 築城記 一〇七 御産所日記 一〇八 産所之記 一〇九 建治三年丁日記(三善康有) 一〇一〇 文明十一年記 一〇一一 六波羅御下知 一〇一二 攝津親秀讓狀 一〇一三 齋藤親基日記 一〇一四 御隨身三上記 一〇一五 見聞諸家紋 一〇一六 義貞記 一〇一七 武器要説 一〇一八 馬具寸法記(伊勢貞爲)

第十五輯 釋家部

- 一〇一九 初例抄 一〇二〇 釋家官班記(草園法親王) 一〇二一 太神宮御相傳袈裟記 一〇二二 石清水不斷念佛緣起(大江匡房) 一〇二三 加茂社櫻會緣起(大江佐國) 一〇二四 春日社三十講最初御願文 一〇二五 太上法皇御授成記 一〇二六 後宇多院御灌頂記(甘露寺隆長) 一〇二七 佛藥師御傳法記 一〇二八 宸筆御八講記 一〇二九 後醍醐院宸筆御八講之記 一〇三〇 延徳御八講記(姉小路基綱) 一〇三一 和久良半の御法 一〇三二 雲井の御法 一〇三三 よろの御のり 一〇三四 魚山の御のり 一〇三五 御光嚴院三十三回聖忌記 一〇三六 御土御門院三十三回聖忌記 一〇三七 陽祿門院三十三回忌の記 一〇三八 仁和寺諸堂記 一〇三九 山城州葛野郡福野大堰郷廣隆寺來山記 一〇四〇 清水寺緣起(藤原明衡) 一〇四一 醍醐寺緣起 一〇四二 安樂光院行事 一〇四三 楞伽寺記(近衛基綱) 一〇四四 勸修寺緣起 一〇四五 船舟三昧院記 一〇四六 天下南禪寺記 一〇四七 天龍寺供養記 一〇四八 東福院年錄 一〇四九 京城萬壽禪寺記(天佐梵嚴) 一〇五〇 覺雄山大福田寶幢寺鹿王院記(春屋妙徳) 一〇五一 法勝寺供養記 一〇五二 尊勝寺供養記 一〇五三 無量壽院供養記 一〇五四 法成寺金堂供養記 一〇五五 藥師堂供養記 一〇五六 東北院供養記 一〇五七 東寺塔供養記(藤原伊房) 一〇五八 東寺塔記(道意) 一〇五九 相國寺供養記(菅原秀長) 一〇六〇 相國寺塔供養記(一條經嗣) 一〇六一 大安寺伽藍緣起流記資材帳 一〇六二 大安寺緣起 一〇六三 藥師寺緣起 一〇六四 東大寺大佛記 一〇六五 東大寺建立供養記 一〇六六 東大寺金銅碑文(聖武天皇) 一〇六七 興福寺緣起 一〇六八 多武峰緣起 一〇六九 多武峰略記(靜胤) 一〇七〇 長谷寺緣起文(菅原道眞) 一〇七一 當麻曼陀羅緣起(眞雅) 一〇七二 觀心寺緣起實錄帳(實惠)

第十六輯 雜部

- 一〇七三 山門堂舍山門堂社記 一〇七四 叡岳要記 一〇七五 九院佛閣抄山室要略抄口要 一〇七六 天元三年中堂供養願文 一〇七七 水正十五年中堂供養記(高僧成忠) 一〇七八 弘安八年中堂供養記 一〇七九 木下川藥師佛像緣起(義純) 一〇八〇 中禪寺私記(藤原敦光) 一〇八一 白峯寺緣起(藤原良賢) 一〇八二 聖福寺佛殿記(河南隆順) 一〇八三 高野山燒失記 一〇八四 近江國栗本郡金勝寺官符 一〇八五 佛牙舍利記 一〇八六 鹿王禪院如意寶珠記 一〇八七 二荒山千部會緣起 一〇八八 光山千部會緣起 一〇八九 慈惠大僧正御遺告 一〇九〇 阿彌陀院寶物目錄 一〇九一 觀世音寺資財帳 一〇九二 左記(守覺法親王) 一〇九三 右記(守覺法親王) 一〇九四 追記(守覺法親王) 一〇九五 發心和歌集(選子内親王) 一〇九六 法門百首(寂然)

第十七輯 雜部

- 一〇九七 古語拾遺(齊部廣成) 一〇九八 古語拾遺攷異(日下部勝榮) 一〇九九 日本國現報善惡靈異記(景戒) 一〇一〇 新撰姓氏錄抄(萬多親王) 一〇一一 大鏡裏書 一〇一二 康平記(平定家) 一〇一三 字槐雜抄(藤原賴長) 一〇一四 達幸故實抄(中山定親) 一〇一五 寛治二年記 一〇一六 永久元年記 一〇一七 醍醐寺雜事記(慶延) 一〇一八 鳩嶺年代記 一〇一九 文保三年記 一〇二〇 劔麗渡御記 一〇二一 光明寺殘篇 一〇二二 關城書裏書 一〇二三 建武年間記 一〇二四 鳩嶺雜事記 一〇二五 祇園執行日記(顯詮) 一〇二六 醍醐雜抄(隆源) 一〇二七 快元僧都記 一〇二八 慶長三年御ゆとのゝらの日記 一〇二九 保曆間記 一〇三〇 花營三代記 一〇三一 如是院年代記 一〇三二 編御記(菅原爲長) 一〇三三 靈命勘文(三善清行) 一〇三四 諸道勘文 一〇三五 長寛勘文 一〇三六 曹頼林(藤原通憲) 一〇三七 濫觴抄 一〇三八 代如和抄(一條兼良) 一〇三九 日中行事(後醍醐天皇) 一〇四〇 禁秘抄建曆御記(順徳天皇) 一〇四一 禁秘抄 一〇四二 名日抄(洞院實隆) 一〇四三 世俗淺深秘抄(後鳥羽院) 一〇四四 類聚雜要抄

叢書全集 叢書

- 二五 身のかため 二六 燕元抄 二九 枕草紙異本(清少納言) 二〇 變詞(藤原隆房)
- 二一 方丈記(鴨長明) 二二 十樂庵記(頼阿) 二三 夢庵記(宵柏) 二四 三愛記(宵柏)
- 二五 宇都山記(宗長) 二六 三塔巡禮記(西三條公條) 二七 石山月見記(西三條公條)
- 二八 嵯峨記(九條通通) 二九 唐崎松記(尊朝法親王) 三〇 夢想記(支旨) 三一 さか
- 衣(豊臣勝俊) 三二 多武半少將物語 三三 鳴門中將物語(豊原清房) 三四 時秋物語
- 三五 今物語(藤原信實) 三六 野守鏡(藤原有房) 三七 吉野拾遺(松翁) 三八 江談抄
- (大江匡房) 三九 續古事談 四〇 東齋隨筆(一條兼實) 四一 大槐秘抄(藤原伊道)
- 四二 おもひのまの記(二條良基) 四三 眞俗交談記 四四 禮儀斷餘 四五 門室有職
- 抄 四六 海人藻芥(宣守) 四七 駿牛繪詞 四八 國牛大圖 四九 夜鶴庭調抄(世尊寺
- 伊行) 五〇 戈葉抄(藤原教長) 五一 八木抄(尊圓法親王) 五二 本朝書籍目録
- 仁和寺書目録(清原業忠) 五三 仙堂御文書目録 五四 倭片假字反切義解(花山院長親)
- 五五 通憲入道藏書目録 五六 諸家點圖 五七 桂林遺芳抄(菅原和長) 五八 新撰字鏡
- (昌住) 五九 中正子(中巖圓月) 六〇 常陸國風土記 六一 豊後國風土記 六二 對島
- 國貢銀記 六三 伊勢國風土記 六四 駿河國風土記

第十八輯 雜部

- 一〇五 安東郡專當沙汰文 一〇六 康正二年造内裏段錢井國役引付 一〇七 東北院職人歌合
- 一〇八 鶴岡放生會職人歌合 一〇九 三十二番職人歌合 一一〇 七十一番歌合 一一一 十二類
- 歌合 一一二 調度歌合 一一三 狂歌合(永正五) 一一四 常勢輻物語 一一五 精進魚類物語
- 魚類平宗 一一六 柿木氏系圖 一一七 後奈良院御撰何曾 一一八 公武大群略記 一一九 世謄問
- 答(一條兼冬) 一二〇 屏林問答集(加茂在方) 一二一 紹運要記 一二二 立坊次第 一二三 本
- 朝女后名字抄(菅原和長) 一二四 女院記 一二五 本朝謄載雜記 一二六 歷名土代(山
- 科言繼) 一二七 御評定着座次第 一二八 永享以來御番帳 一二九 文安年中御番帳
- 一三〇 永祿六年諸役人附 一三一 長享元年常陸院殿鎌江州御勅座當時在陣衆着到(鎌田妙
- 長) 一三二 東大寺奴婢籍帳 一三三 常樂記 一三四 近江國香場宿運華寺過去帳 一三五 相
- 州鎌倉松岡過去帳 一三六 常陸國茨城郡六段田村六地藏寺過去帳 一三七 常陸國田島村傳
- 燈山和光院過去帳 一三八 類聚雜例(源賴朝) 一三九 高倉院升退記(久我通親) 一四〇 四
- 條院御葬禮記 一四一 龜山院御葬禮記(西園寺公衡) 一四二 伏見上皇御中陰記(慈什)
- 一四三 後光嚴院御中陰以下御佛事記(總深) 一四四 後小松院崩御記(飛鳥井雅緣)

續群書類從

増保己一編 明治三五—昭和五

第一輯 上 神祇部 (一)

- 一 神皇雜用先規錄 二 所皇太神宮御鎮座傳記 三 天照座伊勢二所皇太神宮御鎮座次第
 - 記 四 豐受皇太神宮御鎮座本記 五 倭姫命世記 六 造伊勢二所太神宮寶基本記 七 伊勢
 - 二所大神宮神名秘書 八 重校神名秘書 九 皇字沙汰文 一〇 内宮御神寶記 一一 外宮御神
 - 寶記 一二 外宮遷御奉仕來歴 一三 康曆二年外宮遷宮記 一四 建久九年内宮假殿遷宮記
 - 一五 文永三年御遷宮沙汰文 一六 正中御傍記 一七 永享元年山口祭祀 一八 應永廿六年外宮
 - 神寶送官符 一九 寛正三年内宮神寶送官符 二〇 建久三年皇太神宮年中行事 二一 二宮年
 - 中行事 二二 四度幣部類記
- 第一輯 下 神祇部 (二)
- 三 伊勢公卿勅使雜例 四 參議綾光卿記 五 康和以來公卿勅使記 六 仁安四年公卿勅
 - 使記 七 嘉曆三年公卿勅使御參宮日記 八 永正十五年一社奉幣使參同記 九 高宮盜
 - 人闖入怪異事 一〇 離宮院記 一一 内宮子良館記 一二 外宮子良館舊記 一三 公文抄(皇宮公文
 - 抄) 一四 應永以來外宮注進狀 一五 延徳記(延徳以來内宮注進狀) 一六 永正以來宮司引付 一七 内
 - 宮彌宜荒木田氏經引付 一八 内宮彌宜荒木田守晨引付 一九 度會常有家引付 二〇 宇治土
 - 公家引付 二一 有爾日記 二二 大神宮參詣記 二三 通海參詣記(大神宮參詣記新編) 二四 釋尊寺舊
 - 記

第二輯 上 神祇部 (三)

- 四〇 八幡愚童訓 四七 鳩嶺雜日記 四九 石清水八幡宮末社記 四九 石清水臨時祭之記 五〇 文永六年兼文宿禰勘文 五一 大永五年石清水八幡宮臨時祭時定 五三 石清水放生會記 五三 貞應二年宗清法印立願文 五五 嘉祿元年宗清法印勸進文 五五 嘉元年中加茂祭記 五五 加茂祭ぞうの引付色目 五七 延文元年賀茂臨時祭記 五八 稻荷鎮座由來稻荷大明神記 五九 春日御託宣記 六〇 春日祭舊例 六一 嘉慶元年春日臨時祭記 六二 天文中春日臨時祭次第 六三 弘安四年春日入浴記 六四 貞治三年春日臨時祭記 六五 永德二年春日燒失記 六六 春日社御造替日記(應永一三一—一四) 六七 春日若宮神殿守記(應永卅四年春日社遷宮日記) 六八 應安二年春日廿八所造替記 六九 春日若宮殿臨時御遷宮日記(應永一五) 七〇 春日社御造替日記(寶德三) 七一 率川社注進狀(正安一) 七二 率川御社御遷宮日記 七三 春日社御造替記 七四 至德二年春日御遷宮臨時御遷宮日記

第二輯 下 神祇部 (四)

- 七五 明應六年春日御遷宮臨時御遷宮日記 七六 春日正預禰範記 七七 春日拜殿方諸日記 七八 春日詣部類記 七九 明德二年室町殿春日詣記 八〇 三輪大明神緣起 八一 龍田大明神御事 八二 住吉大神宮諸神事之次第記 八三 耀天記 八四 嚴神鈔 八五 日吉山王利生記 八六 續日吉山王利生記 八七 日吉本記(謙忠) 八八 日吉山王新記(謙忠) 八九 元應元年比叡社司法進狀 九〇 御禮拜講之記(永祿五) 九一 日吉社室番殿御社參記(應永九)

第三輯 上 神祇部 (五)

- 九二 祇園牛頭天王緣起 九三 祇園三島鳥居建立記(貞治四) 九四 祇園社記錄(應永執行日記) 九五 天台座主祇園別當並同執行補任 九六 祇園社記錄(正和五)(建武三) 九七 祇園社古文書寫 九八 北野宮寺緣起 九九 北野本地 一〇〇 天神講式 一〇一 天滿大自在天神寶號記 一〇二 北野神君畫額記 一〇三 五岳贊語 一〇四 二十二社並本地 一〇五 惟賢北丘筆記 一〇六 神祇正宗 一〇七 神祇拾遺 一〇八 類聚既驗抄 一〇九 麗氣記 一一〇 神階記 一一一 恒例修正月勸請神名帳 一一二 清瀧宮勸請神名帳 一一三 神名帳(應永) 一一四 和泉國神名帳 一一五 三河國內神明名帳 一一六 若狹國神名帳 一一七 隱州神名帳 一一八 南海道紀伊國神名帳 一一九 筑後國神名帳 一二〇 赤城大明神緣起 一二一 豐國大明神祭禮記 一二二 東大寺八幡緣起 一二三 東大寺八幡轉書會記 一二四 大和葛城寶山記 一二五 大和國城下郡饒作大明神緣起 一二六 菅神初瀬山影向記 一二七 靈安寺御靈大明神略緣起 一二八 譽田八幡緣起 一二九 熱田宮

第三輯 下 神祇部 (六)

- 一三〇 香取大神宮造替目錄(香取宮造替記) 一三一 下總國香取社造替注文書 一三二 香取社造替物注文書(永廿六年香取宮造替注文) 一三三 香取社年中神事目錄(應永年中香取神事目錄) 一三四 香取宮造替用途記(香取宮造替記) 一三五 盛殿造替用途記 一三六 鹿島宮社例傳記 一三七 鹿島宮年中行事 一三八 中郡庄賀茂大明神緣起(新治郡賀茂大明神緣起) 一三九 久慈郡薩都宮奉加帳 一四〇 那珂郡甲明神奉加帳 一四一 諏訪大明神繪詞 一四二 近江國別浦八幡緣起 一四三 兵主大明神緣起 一四四 信濃國中條官辨財天由來記 一四五 會津高倉社勸進帳 一四六 加州石川郡白山緣起 一四七 巖島御本地 一四八 熊野權現金剛藏王寶殿造功日記 一四九 熊野本宮古記(應永) 一五〇 伊豫三島緣起 一五一 丹生大神宮之儀軌 一五二 正應六年大政官院正應六年高野山官符 一五三 伊豫三島緣起 一五七 北野天神御緣起 一五八 筑前州大宰府安樂寺管系相祠堂記 一五九 山原八幡緣起 一六〇 唯一神道名法要集 一六一 兼邦百首抄(兼邦百首和歌) 一六二 諸社禁忌 一六三 伊勢大神宮參詣精進條々(永享十二年神宮服忌令) 一六四 太神宮ぶつきりやう應仁二年神宮服忌令 一六五 八幡宮社制(應永) 一六六 稻荷社家物忌令之事 一六七 新羅社服忌令 一六八 日光山物忌令 一六九 觸穢問答 一七〇 觸穢考 一七一 神祇道服忌令秘抄

第四輯 上 帝王部

- 一七二 皇代略記 一七三 朝親行幸御物類并行幸院御贈物事 一七四 御方違進行幸御供奉事雜事 一七五 朝親行幸御供奉事正和三年朝親行幸記 一七六 元亨四年三月廿三日石清水行幸供奉人數 一七七 應永二十一年御方違進行幸記 一七八 永享九年十月二十一日行幸記 一七九 天正年中乘樂亭兩度行幸日記 一八〇 御幸始部類記 一八一 御幸始次第 一八二 正安元年新院兩社御幸記 一八三 延慶二年八幡御幸記 一八四 應永二十九年八幡行幸次第 一八五 宇治御幸記 一八六 建仁元年熊野山御幸記 一八七 御宇多院御幸記 一八八 內裏遷幸部類 一八九 永久五年遷幸記 一九〇 法住寺殿御移徙部類

補任部 (一)

- 一九一 檢非違使補任 一九二 春宮坊官補任 一九三 外記補任(二種) 一九四 藏人補任 一九五 相國歷名 一九六 菅備侍讀年譜 一九七 院司補任次第 一九八 將軍次第 一九九 執事補任次第 二〇〇 長門國守護職次第 二〇一 二所太神宮正員禰宜轉補次第 二〇二 天台座主祇園別當並同

執行補任次第 三〇三 熊野別當代々記 三〇四 宗像大宮司次第 三〇五 護持僧補任 三〇六 護持僧次第 三〇七 任僧綱士代 三〇八 法中補任 三〇九 探題次第

第四輯 下 補任部 (二)

三〇一 仁和寺御室系譜 三〇二 善提院門跡列祖次第 三〇三 勝寶院門跡列祖次第 三〇四 大覺寺門跡次第 三〇五 大覺寺門跡略記 三〇六 天台正續觀井門路略系譜 三〇七 青蓮院門跡系譜 三〇八 妙法院門跡相承次第 三〇九 圓滿院門跡相承次第 三〇一〇 曼珠院門跡傳法師跡次第 三〇一一 勸修寺長吏次第 三〇一二 安井門跡次第 三〇一三 醍醐寺座主讓補次第 三〇一四 金剛王院門跡列祖次第 三〇一五 理性院院務次第 三〇一六 三寶院列祖次第 三〇一七 東寺長者並高野檢校等次第 三〇一八 金剛峯寺執行檢校阿闍梨補任略記 三〇一九 傳法院座主補任次第 三〇二〇 法琳寺別當補任 三〇二一 龍寶山住持位次 三〇二二 天台座主記 三〇二三 圓城寺長吏次第 三〇二四 天王寺別當次第 三〇二五 大業院門跡次第 三〇二六 興福寺務次第 三〇二七 興福寺三綱補任 三〇二八 法隆寺別當次第 三〇二九 龍岡八幡宮寺供僧次第 三〇三〇 鶴岡兩界壇供僧次第 三〇三一 鶴岡兩界壇供僧次第 三〇三二 光山門跡次第

第五輯 上 系譜部 (一)

三〇三三 皇胤系圖 三〇三四 日本皇帝系圖 三〇三五 後醍醐天皇系圖 三〇三六 尊卑分脈脫漏 三〇三七 武藏七黨系圖 三〇三八 清和源氏系圖 三〇三九 足利系圖 三〇四〇 古河御所之僧 三〇四一 古河公方系圖 三〇四二 喜連川古河宮原之系圖 三〇四三 喜連川判鑑 三〇四四 武衛系圖 三〇四五 奥州斯波系圖 三〇四六 湯川彦齋門覺書 三〇四七 最上系圖 三〇四八 山野邊系圖 三〇四九 細川系圖 三〇五〇 島山系圖 三〇五一 兩島山系圖 三〇五二 二本松系圖 三〇五三 山名系圖(二種) 三〇五四 吉良系圖 三〇五五 今川系圖 三〇五六 澁川系圖 三〇五七 一色丹羽系圖 三〇五八 里見系圖 三〇五九 山真系圖 三〇六〇 吉見系圖 三〇六一 木曾系圖 三〇六二 小田系圖 三〇六三 穴戶系圖 三〇六四 奥州石河系圖 三〇六五 鳥津系圖 三〇六六 島津歷代歌 三〇六七 佐竹系圖 三〇六八 御當家系圖佐竹系圖 三〇六九 美乃佐竹系圖 三〇七〇 革島系圖 三〇七一 革島家傳覺書(革島幸忠) 三〇七二 佐竹白石系圖

第五輯 下 系譜部 (二)

三〇七三 武田系圖(二種) 三〇七四 兩武田系圖 三〇七五 若州武田系圖 三〇七六 若州武田之系圖 三〇七七 紀州武田系圖 三〇七八 武田法印系圖 三〇七九 大井系圖 三〇八〇 小笠原系圖(二種) 三〇八一 小笠原諸流系圖 三〇八二 小笠原三家系圖 三〇八三 高天神小笠原系圖 三〇八四 高天神小笠原系圖 三〇八五 高天神小笠原系圖 三〇八六 三好系圖 三〇八七 十河系圖 三〇八八 南部系圖 三〇八九 秋山系圖 三〇九〇 保田系圖 三〇九一 竹內

第六輯 上 系譜部 (三)

系圖 三〇九二 土岐系圖 三〇九三 舟木氏系圖 三〇九四 明智系圖 三〇九五 多治見系圖 三〇九六 多田系圖 三〇九七 山縣系圖 三〇九八 川那部系圖 三〇九九 下間系圖 三〇一〇 高梨系圖 三〇一一 山岡系圖 三〇一二 赤井系圖 三〇一三 上系圖 三〇一四 和田系圖 三〇一五 本郷系圖 三〇一六 渡邊系圖 三〇一七 松浦系圖 三〇一八 佐々木系圖(三種) 三〇一九 胸井氏系圖 三〇二〇 上坂氏系圖 三〇二一 平井系圖 三〇二二 兒島三宅系圖 三〇二三 北島系圖 三〇二四 星合系圖 三〇二五 名和系圖 三〇二六 村上源氏那波系圖 三〇二七 赤松系圖 三〇二八 赤松略譜 三〇二九 赤松家系圖 三〇三〇 赤松系圖 三〇三一 有馬系圖 三〇三二 石野系圖 三〇三三 上月系圖 三〇三四 本間系圖 三〇三五 本間略系圖 三〇三六 海老名系圖 三〇三七 田代略系圖 三〇三八 桓武平氏系圖 三〇三九 三浦系圖 三〇四〇 和田系圖 三〇四一 大多和系圖 三〇四二 三戶系圖 三〇四三 佐原比田藤倉系圖 三〇四四 橫須賀系圖 三〇四五 千葉上總系圖 三〇四六 常陸大掾傳記 三〇四七 常陸大掾系圖 三〇四八 石川系圖 三〇四九 小栗系圖 三〇五〇 磐城系圖 三〇五一 北條系圖 三〇五二 北條系圖 三〇五三 小田北條系圖 三〇五四 關島系圖 三〇五五 伊勢系圖 三〇五六 織田系圖 三〇五七 江戶系圖 三〇五八 千葉系圖 三〇五九 大須賀系圖 三〇六〇 千葉支流系圖 三〇六一 東系圖 三〇六二 鹿島富岡系圖 三〇六三 君島系圖 三〇六四 般若院系圖 三〇六五 相馬系圖 三〇六六 相馬系圖 三〇六七 相馬系圖 三〇六八 長尾系圖 三〇六九 平群系圖 三〇七〇 土屋系圖 三〇七一 曾我系圖 三〇七二 曾我系譜 三〇七三 湯淺系圖 三〇七四 日野一流系圖 三〇七五 御子佐系圖 三〇七六 飛彈國司系圖 三〇七七 武藤系圖 三〇七八 內藤系圖 三〇七九 山内首藤系圖 三〇八〇 那須系圖 三〇八一 千本系圖 三〇八二 粟生系圖 三〇八三 大友系圖 三〇八四 戶次系圖 三〇八五 立花系圖

第六輯 下 系譜部 (四)

三〇八六 菊池系圖 三〇八七 大森葛山系圖 三〇八八 大森系圖 三〇八九 宇都宮系圖 三〇九〇 上杉系圖(二種) 三〇九一 深谷上杉系圖 三〇九二 宅間系圖 三〇九三 加々爪系圖 三〇九四 糟谷系圖 三〇九五 秀郷流系圖 三〇九六 小山系圖 三〇九七 小山船城系圖 三〇九八 結城系圖 三〇九九 結城家譜 三〇一〇 白川結城系圖 三〇一一 長沼系圖 三〇一二 岡本系圖 三〇一三 浦生系圖 三〇一四 佐野系圖 三〇一五 佐野松田系圖 三〇一六 下河邊系圖 三〇一七 荒木系圖 三〇一八 奥州御親系圖 三〇一九 佐藤系圖 三〇二〇 小野崎系圖 三〇二一 常州江戶系圖 三〇二二 桐原系圖 三〇二三 長井系圖 三〇二四 吉川系譜 三〇二五 工藤二階堂系圖 三〇二六 二階堂系圖 三〇二七 伊東系圖 三〇二八 伊東系圖 三〇二九 河津系圖 三〇三〇 天野系圖 三〇三一 相良系圖 三〇三二 藤系圖 三〇三三 井伊系圖 三〇三四 成田系圖 三〇三五 龍造寺系圖 三〇三六 有馬系圖 三〇三七 淺井系圖

第七輯 上 系 部 (五) 四八 熊野別當系圖 四九 中岩氏系圖 五〇 本願寺系圖 五一 松谷光德寺系圖

四三 桶氏系圖 四四 桶氏系圖 四五 阿蘇三社大宮司系圖 四六 多氏系圖 四七 中原系圖 四八 江州中原氏系圖 四九 中原系圖 五〇 小野氏系圖 五一 大宅系圖 五二 越智系圖 五三 河野氏系圖 五四 加茂氏系圖 五五 蘇我石川雨氏系圖 五六 紀氏系圖 五七 堀田芳賀系圖 五八 芳賀系圖 五九 浦上系圖 六〇 石清水嗣官系圖 六一 安倍氏系圖 六二 藤原系圖 六三 安藤系圖 六四 和氣氏系圖 六五 小槻系圖 六六 枝氏系圖 六七 日下部系圖 (二種) 六八 朝倉系圖 六九 和氏系圖 七〇 春原系圖 七一 清原系圖 七二 豐後清原系圖 七三 石鳥系圖 七四 高階氏系圖 七五 堀尾系圖 七六 豐原氏系圖 七七 豐原系圖相承次第 七八 良峯氏系圖 七九 在原氏系圖 八〇 滋野氏系圖 八一 信州滋野氏三家系圖 八二 增田望月系圖

第七輯 下 系 部 (七)

四三 菅原氏系圖 (二種) 四四 大江氏系圖 四五 大中臣氏系圖 四六 和田系圖 四七 中臣氏系圖 四八 龜島大宮司系圖 四九 鹿島大彌宜系圖 五〇 香取大宮司系圖 五一 香取大彌宜系圖 五二 卜部氏系圖 五三 加茂神宮鴨氏系圖 五四 河合神職鴨縣主系圖 五五 松尾社家系圖 五六 住吉社神主并一族系圖 五七 大伴系圖 五八 伴氏系圖 五九 鶴岡社職系圖 六〇 紀伊國造系圖 六一 伊香氏系圖 六二 廣峯氏系圖 六三 大神系圖 六四 戶部系圖 六五 御神木系圖 六六 丹羽氏系圖 六七 坂上系圖 六八 長寶寺系圖 六九 大藏氏系圖 七〇 秋月系圖 七一 田尻系圖 七二 惟宗氏系圖 七三 長曾我部系圖 七四 大内系圖 七五 狛氏系圖 七六 仁和寺候人系圖

第八輯 上 傳 部 (一)

五七 上宮皇太子菩薩傳 五八 聖德太子傳 五九 文應皇帝外記 六〇 桓貞親王傳 六一 光臺院御室傳 六二 橋邊勢傳 六三 藤原保則傳 六四 辨雲老人壽像贊 六五 竹田雄譽光英法印壽像贊 六六 故左金吾兼野州大守平公墳記 六七 東野守之墳記 六八 宇喜多和泉守三宅朝臣能家像贊 六九 山縣源七郎元之傳 七〇 本朝神仙傳 七一 入唐五定傳 七二 法華驗記 七三 仁德寺諸師年譜 七四 拾遺往生傳 七五 後拾遺往生傳 七六 三外往生記 七七 本朝新修往生傳 七八 高野山往生傳 七九 眞言烈祖表白集

第八輯 下 傳 部 (一)

五九 淨土法門源流章 (擬然) 六〇 阿婆鞞三國明匠略記 六一 日本名僧傳 六二 行基菩薩傳 六三 行基大菩薩行狀記 六四 大和國生馬山行基菩薩御遺骨出現事 六五 豐眞和上三異事 六六 叡山大師傳 六七 傳教大師行狀記 六八 傳教大師行狀 六九 空海僧都傳 七〇 贈大傳正空海和上傳記 七一 大師行狀集記 七二 弘法大師御傳 七三 弘法大師行化記 七四 高野大師御傳 七五 弘傳略頌抄 七六 延曆寺故內供奉和上行狀 七七 光定和上行狀 七八 慈覺大師傳 七九 智證大師傳 八〇 聖寶僧正傳 八一 尊意僧正傳 八二 慈慧大師傳 八三 空也誄 八四 元來大僧都自傳 八五 和州多武峯寺增賀上人行業記 八六 谷河間梨傳 八七 大傳法院本願聖人御傳

第九輯 上 傳 部 (三)

五七 黑谷源空上人傳 五八 隆寬律師略傳 五九 聖光上人傳 六〇 鎌倉佐介淨刹光明寺開山行傳記 六一 泉涌寺不可棄法師傳 六二 三輪上人行狀 六三 本願寺聖人親覺傳繪和覺上人傳 六四 康須敬重繪詞 六五 日蓮聖人註書讀 六六 蓮公薩埵略傳 六七 蓮公大師年譜 六八 一遍上人六條緣起 六九 一遍上人繪詞 七〇 一遍上人年譜 七一 淨阿上人行狀 七二 無人和尚行業記 七三 某寶僧都事實 七四 貞安上人傳 七五 賴印大僧正行狀繪詞 七六 干光法師祠堂記 七七 明庵西公禪師塔銘 七八 道元禪師和上行錄 七九 永平寺三組行業記 八〇 神子禪師行實 八一 榮尊大和尚年譜 八二 東巖安禪師行實 八三 關溪和尚行實 八四 源翁禪師傳 八五 無關大和尚塔銘 八六 佛光禪師塔銘 八七 圓明國師行實年譜 八八 佛照禪師塔銘 八九 寒岩禪師略傳 九〇 佛智禪師傳 九一 大通禪師行實 九二 法海禪師無象和尚行狀記 九三 大圓禪師傳 九四 法照禪師十乘坊行狀 九五 東明和尚塔銘 九六 大慈庵佛通禪師行狀 九七 南院國師規庵和尚行狀 九八 佛國應供廣濟國師行錄 九九 一山國師妙慈弘濟大師行記 一〇〇 佛燈國師約翁和尚無相之塔銘 一〇一 佛印禪師直翁和尚塔銘 一〇二 深山和尚行狀 一〇三 圓通大應國師塔銘 一〇四 古林和尚行實

第九輯 下 傳 部 (四)

六〇 南山和尚行實 六一 雙峰國師年譜略 六二 大燈國師行狀 六三 佛日照惠禪師明極俊大和尚塔銘 六四 源統禪師行狀 六五 清拙大鑑禪師塔銘 六六 佛林惠日禪師塔銘 六七 高山照禪師塔銘 六八 遠溪祖雄禪師之行實 六九 謹具東海和尚行實 七〇 雪村大和尚行道記 七一 平田和尚傳 七二 竺仙和尚行道記 七三 海藏和尚紀年錄 七四 夢隱正覺

心宗普濟國師年譜 三〇 西山夜話 三一 臨川家訓 三二 夢窓正覺心宗國師塔銘 三三 夢窓正覺心宗普濟國師碑銘 三四 月林版圖師行狀 三五 大陽和尙行實 三六 大道和尙行狀 三七 眞源大照師龍山和尙行狀 三八 無極和尙傳 三九 因山翠和尙行狀 四〇 佛巖師行狀 四一 孤峯和尙行實 四二 廣智國師乾峯和尙行狀 四三 大年大和尙傳 四四 無德和尙行實 四五 峨山和尙行狀 四六 月鏡見禪師塔銘 四七 古傳和尙傳 四八 別源和尙塔銘 四九 寂室和尙行狀 五〇 無雲天禪師行實 五一 圓應師行狀 五二 天應大現國師行狀 五三 不聞和尙行狀 五四 佛觀禪師行狀 五五 覺源師平心處齊和尙年譜略 五六 友山和尙傳 五七 古先和尙行狀 五八 宗鏡禪師傳 五九 佛種慧濟師中岩月和尚自歷譜 六〇 約庵久禪師略傳 六一 廣慈師在庵大和尙行業 六二 圓光大照師行狀 六三 南海和尙傳 六四 弘宗定智師行狀 六五 清裕和尙行實 六六 天關沖禪師行實 六七 正眼智鑑師年譜 六八 拔除和尙行實 六九 知覺普明國師行業實錄 七〇 龍湫和尙行狀 七一 庵和尙行實 七二 無文禪師行業 七三 正印師言外和尙行狀 七四 太清和尙履歷略記 七五 性海和尙行實 七六 胡翠國師年譜 七七 別峯殊禪師行狀 七八 勝定國師年譜 七九 慧鑑明照禪師道行記 八〇 普覺圓光禪師傳 八一 普岩後禪師行狀 八二 一庵禪師行狀 八三 常光國師行實 八四 普濟師行記 八五 無求伸禪師行實 八六 松嶺秀禪師行狀 八七 岐陽自證 八八 石屋禪師塔銘 八九 東澤和尙傳 九〇 大機弘宗禪師行狀 九一 寂中和尙傳 九二 心關大禪師祖道履歷之記 九三 雲章和尙行狀 九四 錦谷殿禪師行狀 九五 宗惠大照禪師行狀 九六 瑞岩師行遺記 九七 竹居禪師塔銘 九八 器之禪師塔銘 九九 興宗明教禪師行狀 一〇〇 一休和尙行實 一〇一 東海一休和尙年譜 一〇二 一州和尙行實記 一〇三 橫川和尙傳 一〇四 大宗禪師行狀 一〇五 大興心宗禪師行狀 一〇六 曇英和尙行狀 一〇七 一華碩由大禪師行實之狀 一〇八 大弘禪師實傳和尙道行記 一〇九 大聖國師古岳大和尙道行記 一〇 春林和尙行實 一一 正覺普通國師大林和尙塔銘

第十輯 上 官職部

七〇二 百官和秘抄 七〇三 諸司職掌
律令部
七〇四 法曹類林(藤原通憲) 七〇五 後妙華寺殿令聞書
公事部 (一)
七〇六 年中行事御障子文 七〇七 年中行事加茂氏人保藤所傳 七〇八 口言部類 七〇九 師遠年中行事

七二〇 師元年中行事 七二一年 年中行事抄 七二三 師光年中行事 七二四 元亨四年甲子年中行事
七二五 年中行事大概 七二六 櫻葉抄 七二七 執政所抄 七二八 中山内府元日節會次第 七二九 元日宴會次第 七三〇 元日節會次第内并作法

第十輯 下 公事部 (二)

七三〇 小朝拜部類記 七三一 殿上潤辭部類(二種) 七三二 大永二年殿上潤辭記(明院基現記)
七三三 妙香院相國白馬節會次第 七三四 慈眠院關白白馬節會次第 七三五 公宣卿白馬節會次第
七三六 寬正六年白馬節會次第 七三七 公宣卿踏歌節會次第 七三八 陽照院儀同踏歌節會御次第
七三九 寬正六年踏歌節會次第 七四〇 縣召除目次第(重要) 七四一 後陽成陽縣召除目次第
七四二 秋玉秘抄 七四三 妙拙記除目部類 七四四 除目甲文抄(重要) 七四五 長德二年大開書
七四六 享德二年大開 七四七 天文廿年大開 七四八 文明七年開官寄物 七四九 長寬二年朝且冬至記
七五〇 永仁五年朝且冬至記 七五一 内侍所御神樂部類 七五二 御即位次第 七五三 御即位由奉幣部類記 七五四 淳和天皇御即位記 七五五 二條院御即位記 七五六 保元三年番記錄
七五七 六條院御即位記 七五八 高倉院御即位記 七五九 安德天皇御即位記 七六〇 後鳥羽院御即位記 七六一 順德院御即位記 七六二 四條院御即位記 七六三 花園院御即位記 七六四 光嚴院御即位記 七六五 光明院御即位記 七六六 稱光院御即位記 七六七 延慶大嘗會記 七六八 應永大嘗會記 七六九 土御門御讓位部類 七七〇 後醍醐院御讓位記(中原師光) 七七一 後光嚴院御讓位記 七七二 後圓融院御讓位記 七七三 後花園院御讓位下書注文

第十一輯 上 公事部 (三)

七六四 元觀字抄(菅原和長) 七六五 元秘抄(高辻長成) 七六六 改元鳥兔記 七六七 改元宸記
七六八 改元部類(七種) 七六九 大治改元定記(源師時) 七七〇 久壽改元定記(葉室朝隆)
七七一 顯時卿改元定記 七七二 安元改元定記(九條兼實) 七七三 壽永改元定記(德大寺實定)
七七四 元曆改元定記(九條良通) 七七五 兼光卿改元定記 七七六 建久改元定記 七七七 師重改元定記 七七八 經光卿改元定記 七七九 弘安改元定記(吉田經長) 七八〇 實任卿改元定記
七八一 延文改元定記(廣橋兼綱) 七八二 貞治改元定記(卜部兼治) 七八三 應守改元定記(小槻量實) 七八四 資定卿改元定記 七八五 弘治改元定記 七八六 應安四年革命勘文 七八七 文應二年革命定 七八八 永享十三年革命勘文 七八九 高倉院御元服記 七九〇 東宮冠禮部類記
七九一 承元二年東宮御元服記 七九二 正元元年東宮御元服部類記 七九三 元德二年東宮御元服記(菅原和長) 七九四 東宮元服祝文 七九五 親王御元服部類記

第十一輯 下 公事部 (四)

七九六 相國拜賀部類記 七九七 大納言拜賀部類記 七九八 中納言拜賀部類記 七九九 實躬卿中納言拜賀部類記 八〇〇 參議拜賀部類記 八〇一 遣造院內府藏人頭拜賀次第 八〇二 稱名院右府藏人頭奏慶從事次第 八〇三 康親卿首拜賀次第 八〇四 夕郎五代拜賀次第 八〇五 諸仲卿藏人奏慶記 八〇六 次將拜賀部類 八〇七 少將申慶次第 八〇八 水黃記抄 八〇九 公卿宣下抄 八二〇 臨時簡要抄 八一 宣旨類 八三 雜筆要集 八二 參軍要略抄 八四 廷尉故實 八五 中外抄 (中原師元) 八六 吉日傳 (吉田隆長)

裝束部

八七 年中諸公事裝束要抄 (中山忠定) 八八 野槐服飾抄 八九 衛府官裝束抄 九〇 衛府長裝束抄 九二 衛府具抄 九三 橋以國裝束抄 文章不足口傳抄 九四 淺浮抄 九五 大宵會小忌抄 九六 內服部類 九七 裝束圖式

第十二輯 上 文筆部 (一)

八七 類聚句題抄 八八 小野僧正請兩行法賀雨詩 八九 卅五文集 九〇 高野雜筆集 (空海) 九一 花上集 九二 百人一首 (景三) 九三 天柱集 (梵遷) 九四 關浮集 (德濟) 九五 早霖集 九六 碧雲稿 (忠恕) 九七 蘇菴集 木蛇詩 (江西龍派) 九八 續翠詩集 (江西龍派) 九九 猿吟集 (通恕惟忠) 一〇〇 心田詩稿 (心田宗播) 一〇一 九淵詩稿 (九淵龍環) 一〇二 竹居清事 (關之慧風)

第十二輯 下 文筆部 (二)

一〇三 村庵小稿 (希世靈彦) 一〇四 狂雲集 (一休宗純) 一〇五 續狂雲詩集 (一休宗純) 一〇六 蘿菴集 (瑞溪周鳳) 一〇七 蘇菴集 (瑞溪周鳳) 一〇八 鳥隱集 鳥隱漁唱 (桂庵玄樹) 一〇九 宜竹殘藁 (景除周麟) 一一〇 梅花無盡藏 (漆桶萬里)

第十三輯 上 文筆部 (三)

一一 天陰語錄 (天隱龍澤) 一二 日下一木集 (待雨) 一三 幻雲稿 幻雲四六集 (月舟壽柱) 一四 幻雲詩稿 (月舟壽柱) 一五 月舟和尚語錄 (月舟壽柱) 一六 幻雲文集 附北莊集 (月舟壽柱) 一七 角虎道人文集 (常庵龍崇) 一八 三益稿 一九 三益覽詞 二〇 松蔭吟稿 (琴叔慶趣) 二一 冷泉集 (崇忍)

第十三輯 下 文筆部 (四)

二二 梅溪稿 (雪嶺永理) 二三 梅屋和尚文集 (梅屋宗香) 二四 三脚稿 (湖心士鏡) 二五 枯木稿 二六 策彦和尚詩集 (周良) 二七 金鐵集 二八 清溪稿 清溪通微 二九 萬瑛和尚文集 三〇 宿廬稿 (俊岳) 三一 南陽稿 (承兌) 三二 松拙手簡 (祖溪德渡) 三三 大覺禪師鏡像紀實 三四 雨珠記 (淑文) 三五 法燈國師跡蹟贊 (心地覺心) 三六 頂相靈驗記 (至遠)

消息部

三七 東山往來 三八 庭訓往來 (玄惠) 三九 遊學往來 前庭訓往來 (玄惠) 四〇 新札往來 四一 新撰類聚往來 (丹峯) 四二 蒙求臂鷹往來

第十四輯 上 和歌部 (一)

四三 金葉和歌集 源俊賴 四四 金葉和歌集 初原木 四五 月詣和歌集 (加茂重保) 四六 東撰和歌六帖 四七 拾遺風體和歌集 四八 安撰和歌集 四九 菊葉和歌集 五〇 辨月集 五一 二八要抄 五二 中古六歌仙 五三 秀歌大略 五四 自讚歌 五五 新百人一首 (足利義尚) 五六 爲相卿千首 (藤原爲相) 五七 耕雲千首 (藤原長親) 五八 榮雅千首 (飛鳥井榮雅)

第十四輯 下 和歌部 (二)

五九 正徹千首 六〇 宗尊親王三百六十首 六一 正治二年院御百首 六二 後花園院御百首 六三 文明十五年將軍家百首 六四 應永廿一年領證寺法樂百首 六五 永享九年住吉社奉納百首 六六 永享十年石清水社奉納百首 六七 永享十一年石清水社奉納百首 六八 永享十三年松尾社法樂百首 六九 玉津島社法樂假名題目百首和歌 七〇 文明九年石清水法樂百首 七一 明應四年水無瀨宮法樂百首 七二 御土御門院長州一宮住吉社御法樂和歌 七三 明應七年長門國住吉社法樂百首 七四 後鳥羽院御百首 七五 土御門院御百首 七六 順德院御百首 七七 伏見院御百首 七八 後小松院御百首 七九 後土御門院御百首 八〇 後奈良院御百首 八一 正親町院御百首 八二 後崇光院御百首 (道欽親王) 八三 陽光院御百首 (足利尊氏) 八四 冬日同詠百首和歌 (足利尊氏) 八五 貞常親王御百首 八六 等持院御百首 (足利尊氏) 八七 後普光院院御百首 (二條良基) 八八 三條相國御百首 (三條實重) 八九 稱名院殿句題御百首 (西三條六條) 九〇 俊成卿述懷百首 九一 定家卿藤川百首 九二 爲家卿藤川百首 九三 爲相卿百首 九四 爲定卿藤川百首 九五 入道大納言雅親卿百首 九六 入道中納言雅康卿百首 九七 入道中納言雅康卿百種 (異本) 九八 入道大納言雅康卿

百首 九三三前大納言親長卿百首 九三三長綱百首 九三四花月百首(太田持資) 九三五詠百首
和歌(蛭川親當) 九三六十市遠思百首 九三七寂蓮法師百首 九三八登蓮法師百首 九三九慶
雲法師百首 九四〇堯孝法印百首 九四一正徹百首 九四二心敬僧都百首 九四三道堅法師百首
聖德太子夜詠 九四四四吟百首 九四五安嘉門院四條百首 九四六仙洞五十首 九四七天正五年親
王家五十首 九四八大永二年八月四日御會和歌 九四九詠五十首和歌

第十五輯 上和歌部 (三)

九六〇高陽院行幸和歌 九六一嘉應元年宇治別業和歌 九六二東勝四天王院名所障子和歌
九六三北山行幸和歌 九六四嚴島社頭和歌 九六五詠法華經和歌 九六六竹内僧止句題歌
九六七内裏御屏風上帖 九六八中書王御屏風 九六九長壽院内府九十賀和歌 九七〇高野山金剛
三昧院短冊 九七一經旨和歌 九七二心敬僧都十體和歌 九七三日本紀竟宴和歌 九七四增補日
本紀竟宴和歌 九七五蒙求和歌(源光行) 九七六百詠和歌(源光行) 九七七規子内親王家歌合
九七八故小野宮右衛門督齊敏君達歌合 九七九男女房歌合 九八〇内裏歌合右方後番 九八一三
百六十番歌合(正治二) 九八二正治二年十月一日歌合 九八三正安元年五種歌合 九八四歌合
九八五前攝政家歌合(嘉吉三) 九八六三十番歌合(文明十三) 九八七陽成院歌合
九八八河原院歌合 九八九多武半住生院千世君和歌 九九〇源大納言家歌合 九九一範永宅歌合
九九二歌合 九九三金玉歌合 九九四頼阿勝負付歌合 九九五定家卿百番歌合 九九六百番歌合
九九七三百六十番自歌合

第十五輯 下和歌部 (四)

九九八歌合十市遠思五十番自歌合 九九九歌合十市遠思百番自歌合 一〇〇〇百五十番歌合十市遠思百五十番
自歌合 一〇〇一岩山道堅自歌合道堅法師自歌合 一〇〇二五十番自歌合貞德五十番自歌合 一〇〇三貞德
翁自歌合貞德十五番自歌合 一〇〇四長承二年相撰立詩歌 一〇〇五三十六番相撰立詩歌
一〇〇六和漢名所詩歌合(九條基家) 一〇〇七定家卿獨吟詩歌 一〇〇八朗詠題詩歌 一〇〇九永德
元年室町亭行幸和歌集 一〇一〇寛正五年仙洞三席御會詩歌 一〇一一文明年中應制詩歌
一〇一二文龜二年春日社法樂詩歌 一〇一三永祿五年一乘谷曲水宴詩歌 一〇一四高山匠作亭詩
歌 一〇一五後鳥羽院御集 一〇一六順德院御集樂和歌草 一〇一七光嚴院御集 一〇一八式部卿邦
高親王御集 一〇一九等持院殿御集(足利尊氏) 一〇二〇慈照院殿義政公碑集 一〇二一後關照
院殿御詠草(二條持基) 一〇二二後妙華寺殿御詠草(一條冬良) 一〇二三洞院公賢公家集中國和
國集 一〇二四權中納言定頼卿集

第十六輯 和歌部 (五)

一〇二五藤谷和歌集(冷泉) 一〇二六爲策集 一〇二七前大納言爲廣卿集清玉集 一〇二八爲廣卿詠草
一〇二九贊道集(藤原教長) 一〇三〇爲冬集 一〇三一時慶卿集 一〇三二參議時直卿集 一〇三三藤
原爲賴朝臣集 一〇三四大江匡衡朝臣集 一〇三五藤原家經朝臣集 一〇三六平忠盛朝臣集
一〇三七信實朝臣家集 一〇三八和歌紀伊國造傳長集 一〇三九松田丹後守平貞秀集 一〇四〇心珠詠
草 一〇四一大江元就詠草 一〇四二木下勝俊朝臣集 一〇四三法印珍譽愚詠法印和歌
一〇四四寂身法師集 一〇四五閑谷集 一〇四六閑放集 一〇四七權大僧都心敬集 一〇四八道堅法師
詠草 一〇四九和式部續集

第十六輯 下和歌部 (六)

一〇五〇馬内侍集 一〇五一源重之むすめの集 一〇五二股富門院大輔集 一〇五三後堀川院民部卿
典侍集 一〇五四權大納言典侍集 一〇五五俊成卿萬葉集時代考萬時考 一〇五六萬時考定家長歌
短歌之說 一〇五七萬葉集難事萬葉集時代考(顯昭) 一〇五八古今集序詩(北畠親房) 一〇五九古
今和歌集隱名作者次第古今集隱名不知考 一〇六〇撰者作者異同考(尊賢) 一〇六一後撰集正義
一〇六二難後拾遺抄 一〇六三古今打開經抄(凡河内躬恒) 一〇六四新撰體調(藤原公任)
一〇六五和歌深秘抄(亮憲) 一〇六六桂明抄 一〇六七古來風體抄(藤原俊成) 一〇六八今來風體抄
一〇六九愚問賢注(二條良基) 一〇七〇清輔袋草紙 一〇七一袋草紙遺編 一〇七二井蛙抄(頼阿)
一〇七三清巖茶話招月雜談(錦川親當)

第十七輯 上和歌部 (七)

一〇七四竹園抄 一〇七五時秀卿開書 一〇七六かりねのすきみ 一〇七七愚見抄 一〇七八陸源口傳
一〇七九耕雲口傳 一〇八〇釣舟 一〇八一綺語抄仲實卿詠抄 一〇八二師說自見集 一〇八三歌林良材
集(一條兼良) 一〇八四和歌現在書目錄 一〇八五和歌合略目錄 一〇八六明月抄出
連歌部 (一)
一〇八七竹林抄(飯尾宗祇) 一〇八八紫野千句 一〇八九月千句(文安二) 一〇九〇寶德千句
一〇九一河越千句 一〇九二熊野法樂千句 一〇九三太神宮法樂伊與千句 一〇九四平山千句
一〇九五出陣千句 一〇九六石山百韻 一〇九七三代集作者百韻 一〇九八以呂波百韻 一〇九九將軍
家百韻 一〇〇〇水無瀬三吟百韻 一〇〇一新撰筑波新念百韻 一〇〇二本式連歌百韻 一〇〇三伊
勢物語詞百韻 一〇〇四尼子晴久夢想披百韻 一〇〇五永原筑前守重興興行百韻 一〇〇六定家
卿色紙開百韻 一〇〇七明智光秀張行百韻 一〇〇八源氏國名百韻 一〇〇九後小松院御獨吟

二二〇 法皇御獨吟百韻 二二二 後土御門後柏原兩院御百韻 二二三 慈照院殿御吟百韻
二二四 兼載獨吟百韻 二二五 宗長獨吟 二二六 加茂社法樂宗牧獨吟名所百韻 二二七 青柏獨
吟觀世音名號百韻 二二八 文章連歌五十韻 二二九 眞壁道無開禪軒追善(兼如)

第十七輯 下 連歌部 (11)

二二九 老葉 一三〇 萱草 一三一 下草 一三二 園塵 一三三 春夢草(宵柏) 一三四 壁草
二三五 荒木田守武句集 二二六 梵燈庵主返答書 二二七 梵燈庵主袖下集 二二八 宗祇袖下
二二九 花能萬賀喜(宗祇) 二三〇 馬上集(心敬) 二三一 うちす花さくら(兼載) 二三二 白髮集
(宗祇) 二二三 心敬僧都庭調 二三四 ひとり言心敬僧都比尋問書 二三五 連珠合壁集 二二六 兩
夜記(宗長) 二二七 連歌秘秘之書胸中抄 二二八 開夜一燈 二二九 連歌執筆次第

第十八輯 上 物語部 (1)

二四〇 伊勢物語 二四一 伊勢物語(具平親王) 二四二 松浦物語 二四三 唐物語 二四四 堤
中納言物語 二四五 宇治大納言物語 二四六 忍香物語 二四七 岩屋能草紙 二四八 いはやの
さろし流布木 二四九 轉寝草紙 二五〇 初瀬物語 二五一 嵯峨物語 二五二 幻夢物語
二五三 山路の露 二五四 知顯集伊勢物語(源經信) 二五五 伊勢物語愚見抄(一條兼良)
二五六 山口記伊勢物語(宗祇) 二五七 伊勢物語宵聞抄(宵柏) 二五八 伊勢物語惟清抄(宗
尤) 二五九 源氏物語千鳥抄(源氏物語) 二六〇 類字源語抄 二六一 源氏和秘抄(一條兼良)
二六二 帶木別注(源氏物語)(宗祇) 二六三 布勢屋乃塵(後水尾院) 二六四 さころも下紐

日記部

二六五 春能深山路 二六六 高野日記(頼阿) 二六七 宗長日記

紀行部

二六八 室町殿伊勢參宮記 二六九 白河記行(宗祇) 二七〇 さのゝわたり(宗碩) 二七一 美濃
路記行(免庵) 二七二 辛酉記行(遠江守政一) 二七三 丙辰紀行(林道春) 二七四 高野の道の
記(高野山紀行)(鳥丸資慶)

第十九輯 上 管絃部

二七五 御遊抄 二七六 文永五年院舞御覽記 二七七 貞治三年舞御覽記 二七八 明應二年風管
灌頂記 二七九 横笛譜裏書(源時中) 二八〇 御遊部類記(源時中) 二八一 教訓抄(伯朝葛)
二八二 舞樂小錄 二八三 掌中要錄 二八四 掌中要錄秘曲 二八五 新撰要記抄 二八六 音律具

第十九輯 中 蹴鞠部

二八七 内外三時抄(飛鳥井雅有) 二八八 蹴鞠條々大概蹴鞠十箇條(飛鳥井雅康) 二八九 晩學
抄(飛鳥井雅康) 二九〇 蹴鞠百首和歌 二九一 蹴鞠百五十箇條 二九二 蹴鞠之目錄九拾九
箇條(松下教久) 二九三 松下十卷抄

鷹部

二九四 鷹經辨疑論(藤原基春) 二九五 小倉問答定家問答 二九六 基成朝臣鷹狩記 二九七 鷹口
傳 二九八 鷹開書(鷹抄) 二九九 鷹秘抄 三〇〇 養鷹秘抄 三〇一 實鷹似鳩抄 三〇二 齋藤
朝倉兩家鷹書 三〇三 荒井流鷹書 三〇四 龍山公鷹百首(東求院) 三〇五 山公鷹百首 三〇六 後普光院
鷹鷹百韻連歌(二條良基) 三〇七 梵燈庵鷹詞百韻連歌 三〇八 箸鷹和歌文字抄

第十九輯 下 遊戯部

三〇九 三條家薰物語 三一〇 辻家薰物語 三一〇 香爐之卷 三一〇 某家香合 三一一 池坊
專應口傳 三一二 百板華 三一二 小虛石詩 三一二 盆松詩 三一二 撰要目錄卷 三一二 宴曲
集 三一二 宴曲抄 三一二 眞曲抄 三一二 元光百集 三一二 拾葉集 三一二 拾葉抄 三一二 別紙
追加曲 三一二 玉林苑 三一二 平家勘文錄 三一二 和譜分圖記 三一二 文祿二年於禁裏御能
組 三一二 申樂開書 三一二 禪林小歌 三一二 閑吟集

飲食部

三一三 式三獻七五三膳部記 三一四 山内料理書 三一五 食物服用之卷 三一六 料理物語
三一七 神谷宗漢筆記 三一八 長閑堂記 三一九 紹鷗袋柶記 三二〇 紹鷗茶湯百首 三二一 利
休臺子かさり様之記 三二二 利休客之次第 三二三 茶器名物集 三二四 茶道秘傳 三二五 喫
茶雜話

第二十輯 上 合戦部 (1)

三二六 將門純友西軍記 三二七 泰衡征伐物語 三二八 承久兵亂記(承久) 三二九 竹崎五郎
繪詞(古藤) 三三〇 舟上記 三三一 異本伯耆卷 三三二 永享記 三三三 永享後記
三三三 上杉憲實記 三三三 結城合戦繪詞 三三三 嘉吉物語 三三三 長祿記 三三三 應仁亂消

叢書全集 叢書

息 一三六 細川勝元記 一三六 官地論實歷氏事蹟 一三六 長享年後畿内兵亂記 一三九 細川大
心院記 細川政元記 一三〇 瓦林正頼記 松若物語 一三七 道家祖看記 一三三 立入左京亮入道隆
佐記 一三三 舟岡山軍記 一三三 豐臣記

第二十輯 下 合 戰 部 (一)

一三五 豐内記 秀福事記 一三七 佐久間軍記 一三七 柴田退治記 柴田合戰記 一三六 殿嶽合戰記
一三九 江州余語 庄合戰覺書 一三〇 余語 庄合戰覺書 余語 一三一 惟任退治記 一三三 紀州
御發向之事 一三三 四國御發向并北國御動座事 一三三 任官之事 一三五 朝鮮記 大河内物語
一三八 島津家高麗軍秘録 島津家高麗軍秘録 一三七 吉野甚五左衛門覺書 一三八 本山豐前守安
政父子戰功覺書 一三九 細川忠興軍功記 一三九 脇坂記 脇坂家記 一三九 中村一氏記 中村家覺書
一三九 一柳家記 一三九 渡邊水庵覺書 渡邊水庵覺書 一三四 大和記 大和軍記 一三五 關岡家始末

第二十一輯 上 合 戰 部 (三)

一三六 勢州軍記 一三七 伊勢軍軍記 一三九 祖父物語 朝日物語 一三九 清瀨合戰記 一三〇 名
古屋合戰記 一三〇 牛窪記 一三〇 今川家譜 一三〇 今川記 官譜記 一三〇 今川記 今川傳記
一三〇 謙信家記 三節略 一三〇 甲風記 一三七 武田勝頼滅亡記 一三八 深澤城矢文
一三〇 依田記 一三〇 湘山星移集 一三一 關東合戰記 一三二 北條記 小田原記

第二十一輯 下 合 戰 部 (四)

一三三 里見代々記 一三四 里見九代記 一三五 里見軍記 一三六 土氣古城再興傳來記
一三七 土氣城雙慶記 一三八 土氣東金兩酒井記 一三九 國府臺戰記 鴻臺後記 一三〇 鴻臺後記
一三一 長倉追討記 一三三 岡部城 一三三 常陽四戰記 一三四 水谷蟠龍記 一三五 水谷蟠龍
記 畠木 一三六 土岐果代記 一三七 土岐齊藤軍記 一三八 兼山記 兼山長司事蹟 一三九 常洞軍記
早野助解由事蹟 一三〇 飛騨國治亂記 飛騨千光寺記 一三一 大塔物語 大塔軍記 一三三 藏田記 依田信善
の事蹟 一三三 海壽記 小笠原氏事蹟 一三四 河中島五箇度合戰記 一三五 赤羽記

第二十二輯 上 合 戰 部 (五)

一三六 松陰私語 關東の騷亂 一三七 新田老談記 一三八 館林盛衰記 一三九 反町大膳訴狀 反町大
膳覺書 一三〇 唐澤軍談 一三一 唐澤城老談記 一三二 那須記 一三三 仙道記 一三四 藤葉榮
衰記 一三五 東奥軍記 一三六 和賀一揆次第 一三七 九戶記 一三八 最上義光物語

第二十二輯 下 合 戰 部 (六)

一三九 矢島十二頭記 一四〇 越州軍記 一四一 加越登記 一四二 謙信軍記 一四三 丹州三家
物語 一四四 三刀谷田邊記 三刀谷記 一四五 播州佐用軍記 一四六 備前文明亂記 一四七 妙善
寺合戰記 一四八 備中兵亂記 一四九 毛利記 一五〇 太田水責記 一五一 若州湯川彦右衛門
覺書 一五二 三好記

第二十三輯 上 合 戰 部 (七)

一五三 長元物語 一五四 長曾我部元親記 一五五 高橋記 相運記 九州兵亂記 一五六 宗像軍記
一五七 豐後陳開書 一五八 豐後崩開書 一五九 黑田長政記 一六〇 安西軍略 一六一 有馬晴
信記 一六二 清正記 一六三 加藤家傳 清正公行狀 一六四 島津家記

第二十三輯 下 武 家 部 (一)

一六五 新編追加 一六七 新御式目 一六七 長曾我部元親式目 一七六 將軍宣下記 建徳二年將軍
宣下記 一七九 將軍宣下次第 建徳五年將軍宣下次第 一八〇 慈照院殿御變置記 一八一 常徳院殿
御變置記 一八二 慈照院殿大將拜賀篇目 一八三 慈照院殿年中行事 東山殿年 一八四 年中恒
例記 一八五 御散飯供御調進次第 一八六 長祿年中御對面日記 一八七 天正中御對面記
一八八 室町殿上醍醐御登山日記 一八九 細川亭御成記 一九〇 三好亭御成記 一九一 文祿三
年前田亭御成記 一九二 淺井備前守宿所變置記 一九三 天正十年安土御獻立 一九四 天正
十八年毛利亭御成記 一九五 御内書案 京都將軍家古狀 一九六 御内書引付 一九七 玄以法印下
知狀 一九八 御的日記 一九九 百手次第 二〇〇 射御拾遺抄 二〇一 弓馬問答 二〇二 佐竹
宗三聞書 二〇三 武田弓箭故實 二〇四 武田射禮日記 二〇五 弓張記 二〇六 矢代之記
二〇七 關物之記 二〇八 挾物之記 二〇九 九物草鹿之記 二一〇 岡本記

第二十四輯 上 武 家 部 (二)

二一二 山名家大追物記 二一二 犬追物檢見記 二二三 檢見故實 二二四 犬追物葛袋
二二五 犬追物日記 勢鏡 二二六 犬追物明鏡之記 二二七 犬追物益鏡 二二八 犬追物付紙日記
二二九 犬追物草根集 二三〇 犬追物手組日記 二三一 笠懸射手鉢配記 二三二 笠懸聞書
二三三 羽形圖 二三四 踏鞍日記 二三五 大坪道輝鞍轡事記 二三六 鞍轡寸法記 二三七 楓葉
集 二三八 齋藤流手綱之秘書 二三九 小笠原流手綱之秘書 二四〇 三議一統大雙紙 富家弓法集
二四一 了俊大草紙 二四二 京極大草紙 二四三 小笠原入道宗賢記 二四四 伊勢貞親以來傳書
二四五 伊勢兵庫守貞宗記

第二十四輯 下 武家部 (三)

一四七 伊勢備後守貞明覺悟記 一四七 伊勢六郎左衛門尉貞順記 一四六 貞順約文書
 一四八 伊勢貞興返答書 一四八 武雜記伊勢貞久武雜記 一四一 伊勢加賀守貞滿筆記
 一四九 伊勢貞助雜記 一四九 常照愚草 一四四 道照愚草 一四三 中嶋攝津守宗次記
 一五〇 河村實真開書 一四七 河村實真雜記 一四八 澤吳阿彌覺書 一四九 懷姪着帶之事
 出村休所開書 一四五 宮參之次第 一四八 豐記抄 一五二 故實開書 一四五 鳥板記
 一四四 魚板記魚板抄多之記 一四五 人唐記 一四八 人買記 一四七 諸大名出仕記 一四六 諸家參
 會記 一四九 風呂記 一四八 酌并記 一四六 酌之次第 一四六 嫁取故實 一四三 女房故實
 所記 一四六 女房進退 一四五 女房筆法 一四六 今川了俊書札禮 一四七 曾我兵庫頭八十五
 箇條品々不好事 一四八 書簡故實

第二十五輯 上 武家部 (四)

一四九 沙汰末練書 一四九 式目開書 一四七 兵具雜記并幕星咒 一四三 出陣日記 一四七 軍
 陣之開書 一四七 軍中故實 一四五 兵將陣調要略 一四六 武田家諸士起請文 一四七 佐竹氏
 舊記在竹岡替之記 一四六 海津城主次第 一四九 慶長三年大名帳 一四八 慶長十六年禁裏御普
 請帳內裏御普請帳 一四八 織田信雄分限帳田內府分限帳 一四八 浮田家分限帳 一四三 京極高吹
 分限帳京極家分限帳 一四八 小田原家所領役帳北條家所領役帳 一四八 成田家分限帳 一四八 里
 見家分限帳 一四七 關島正則家中分限帳 一四八 加藤清正侍帳 一四九 相馬義胤分限帳

第二十五輯 下 釋家部 (一)

一四九 佛法傳來次第 一四九 佛法由來集 一四九 如來商舍利傳來 一四九 日本感應錄
 一四九 地藏菩薩靈驗記 一四五 御實抄 一四六 後七日御修法由緒作法 一四七 後七日御修法
 部類 一四八 永治二年眞言院御修法記 一四九 養和二年後七日御修法記 一五〇 文治五年
 眞言院御修法日記 一五〇 建保三年後七日御修法日記 一五〇 禪信僧正後七日修法記
 一五〇 維摩會記 一五四 維摩會日記 一五〇 諸法要略抄 一五六 祈雨日記 一五七 雨言雜秘
 記 一五八 永久五年祈雨日記 一五八 建久二年祈雨日記 一五〇 祈雨法記 一五二 永久五年
 請雨經法記 一五三 永久五年請雨經法支度注進狀 一五三 永久五年請雨經御修法支度記
 一五四 水天供現行記 一五五 止風雨法記 一五六 孔雀經御修法記(五種) 一五七 安鎮法日記
 (二種)

第二十六輯 上 釋家部 (二)

一五八 普賢延命法日記(三種) 一五九 熾盛光法日記 一五〇 六字河臨法 一五三 五壇法日記
 (二種) 一五三 七佛藥師法現行記 一五三 四天王法記 一五四 正元元年仁王經法雜事
 一五五 仁王經法勸例 一五五 仁王經修法問答 一五七 保延六年如法章勝法記 一五八 壽永二
 年轉法輪法記 一五九 應安三年如意輪法記 一五〇 弘安四年異國御祈禱記 一五一 大永三
 年室町殿護摩記 一五三 應長元年堅義記 一五三 如法經手記 一五四 文治二年神宮大般若
 經轉讀記(後醍醐) 一五五 康正二年八社仁王經御讀經記 一五五 上皇御落飾部類 一五七 伏見
 院御落飾記 一五六 大宮院御得度記 一五六 傳法灌頂日記 一五八 弘仁三年高雄山灌頂曆
 名 一五八 龜山院御灌頂記 一五九 後宇多院御灌頂記 一五九 中性院法印灌頂資記 一五九 入道
 親王尊快御灌頂記 一五九 遍智院法印灌頂資記 一五九 中性院法印灌頂資記 一五九 蓮藏
 院僧正灌頂資 一五八 妙法院尊性親王御入壇資 一五九 應永廿七年門主上綱御入壇資
 一五九 報恩院入壇資 一五九 遍智院僧正入壇資 一五九 覺洞院僧正入壇資 一五九 寶池院
 前大僧正入壇資記 一五九 東南院授與記 一五九 岳南院授與記 一五九 光明寺殿傳法灌
 頂記 一五九 三寶院傳法灌頂私記 一五六 嘉元四年結緣灌頂記 一五九 建武二年結緣灌頂
 記 一五〇 永和二年結緣灌頂記 一六一 觀音院恒例結緣灌頂記 一五九 東寺寶泉院結緣灌
 頂記

第二十六輯 下 釋家部 (三)

一五六 宸筆御八講記 一五六 文永七年宸筆御八講記 一五五 應安三年禁中御八講記
 一五六 公武御八講部類 一五七 武家御八講部類 一五八 等持院御八講記 一五九 大治二年曼
 陀羅供次第 一五七 法守親玉曼陀羅供次第 一五七 應安七年曼茶羅供見聞略記 一五三 永
 享十一年曼茶羅供記 一五五 永享十二年曼茶羅供雜記 一五七 永祿元年曼茶羅供雜記
 一五五 文龜二年曼茶羅供記 一五六 佛經供養表白 一五七 應永十三年禁裏御佛法講記花壽記
 一五八 仙洞御佛法講記 一五九 諸寺略記 一五六 諸寺供養部類 一五六 法綱儀 一五六 金剛
 抄 一五八 清水寺緣起 一五六 清水靈驗記(諸寺) 一五八 東要記 一五六 東寺要集
 一五八 東長儀 一五八 東寺長者拜堂記 一五九 榮海僧正拜堂并御影供記(東寺拜堂)
 一五九 禪信僧正拜堂并御影供記

第二十七輯 上 釋家部 (四)

一五九 至德二年道快僧正拜堂下行物記 一五九 建武二年道我僧正加任拜堂下行物日記
 一五九 東寺大塔形銘 一五九 東寺造營文書符案 一五九 醍醐寺要書 一五六 醍醐寺初度具

- 書 一五七 惠深座主拜堂記 一五八 弘鏡口說 一五九 澄心寺緣起 一六〇 勸修寺舊記
- 一六一 安祥寺資材帳 一六二 法勝寺金堂造營記 一六三 法勝寺阿彌陀堂造立日時定記
- 一六四 承曆元年法勝寺供養記 一六五 永久二年白川御堂供養記 一六六 護國寺供養記
- 一六七 洛陽靈願寺緣起 一六八 眞如堂緣起 一六九 廬山寺緣起 一七〇 玉王寶幢三昧寺緣起
- 一七一 大雲寺緣起 一七二 大雲寺諸堂記 一七三 鞍馬蓋寺緣起 一七四 大悲山寺緣起
- 一七五 廣隆寺供養日記 一七六 廣隆寺資財交替實錄帳 一七七 神護寺舊記 一七八 高山寺緣起
- 一七九 清涼寺緣起 一八〇 二尊院緣起 一八一 天龍紀年考略 一八二 西方寺緣起 西方寺池
- 一八三 常住寺佛舍利記 一八四 三結寺物留如來緣起 一八五 三結寺修造勸化疏
- 一八六 即成院緣起 一八七 羽賀寺緣起(二種) 一八八 七大寺年表 一八九 七大寺日記
- 一九〇 東大寺緣起

第二十七輯 下 釋家部 (五)

- 一六二 東大寺具書 一六三 大佛御頭供養日記 一六四 勸封藏開檢目錄 一六五 興福寺伽藍緣起
- 一六六 興福寺舊記 一六七 興福寺現住僧帳 一六八 二月堂繪緣起 一六九 西大寺資財流
- 一七〇 西大寺光明眞言緣起 一七一 法隆寺緣起資材帳 一七二 長谷寺靈驗記
- 一七三 藥師寺緣起 一七四 法蓮院釋迦堂修造勸進帳 一七五 內山寺記 一七六 和州久米寺流
- 一七七 山一山記(二種) 一七八 室生山御舍利相傳緣起 一七九 隆池院緣起 一八〇 河內
- 一八一 小松寺緣起 一八二 師子窟緣起 一八三 西琳寺文永注記 一八四 西琳寺流記 一八五 藤井
- 一八六 廣嚴寺緣起 一八七 荒陵寺御手印緣起 一八八 天王寺舊記 一八九 勝福寺鑄鐘勸進帳
- 一九〇 廣嚴寺緣起 一九一 中山寺緣起 一九二 伊勢國多度神宮寺伽藍緣起并資材帳
- 一九三 安德寺記 一九四 朝熊山緣起 一九五 尾張國笠寺緣起 一九六 久能寺緣起 一九七 大
- 一九八 山寺緣起 一九九 鎌倉五山記 二〇〇 光觸寺願燒阿彌陀緣起 二〇一 武藏國淺草寺緣起
- 二〇二 川口善光寺緣起 二〇三 山家要記淺略 二〇四 延曆寺護國緣起 二〇五 三塔諸寺緣起
- 二〇六 應永三年山門大講堂供養記 二〇七 文明七年天台座主補任式 二〇八 天台座主登山
- 次第 二〇九 應保二年寂山衆徒披陳狀

第二十八輯 上 釋家部 (六)

- 一六六 寺德集 一六七 寺門高僧記 一六八 三井寺金堂東大寺門勸進帳 一六九 石山寺緣起
- 一七〇 葛川緣起 一七一 關寺緣起 一七二 桑實寺緣起 一七三 補陀洛山建立修業日記
- 一七四 日光山龍尾建立章創日記 一七五 滿願寺三月會日記 一七六 善光寺緣起 一七七 越後

第二十八輯 下 釋家部 (七)

- 一七二 泉涌寺通韻類 一七三 代々先皇法語集 一七四 鷺林拾葉集 一七五 請願誦文
- 一七六 御願誦願文案 一七七 晦庵稿 一七八 長辨私案抄 一七九 三家撰集目錄 一八〇 勸
- 撰法相宗章疏目錄 一八一 東城傳燈目錄 一八二 北院御室拾要集 一八三 妙香院宮御參務
- 日記 一八四 愚迷發心集 一八五 無住妻鏡 一八六 我慢抄 一八七 一言芳談 一八八 仁空置
- 文 一八九 眞惠上人御定 一九〇 眞言血脈 一九一 三寶院傳法血脈 一九二 醍醐報恩院血脈
- 一九三 醍醐無量壽院法流相承 一九四 入唐記 一九五 先德略名口決 一九六 誼號雜記
- 一九七 諸宗勸號記 一九八 素絹記 一九九 僧用集 二〇〇 肝心集 二〇一 日本感應錄
- 二〇二 延文四年結緣灌頂記 二〇三 康曆元年結緣灌頂記 二〇四 寺門富僧記

第二十九輯 上 雜部 (一)

- 一七四 神皇正統錄 一七五 神明鏡 一七六 仁壽鏡 一七七 十三代要略 一七八 北條九代記

第二十九輯 下 雜部 (二)

- 一七九 東寺玉代記 一八〇 興福寺略年代記 一八一 立川寺年代記 一八二 奈良年代記
- 一八三 曆仁以來年代記 一八四 享祿以來年代記 一八五 元祿以來年代記 一八六 永祿以來大
- 事記 一八七 天延二年記 一八八 南都大衆入洛記 一八九 仁和寺御目次記 一九〇 貞和四年
- 記 房玄法印記 一九一 觀應二年日次記 房玄法印記 一九二 延文四年記 一九三 正長元年記
- 一九四 長祿二年記 一九五 永正十七年記 一九六 永祿九年記 一九七 看開御記

第三十輯 上 雜部 (三)

- 一七九 殿助大僧正記 殿助往年記 一八〇 見聞私記 一八一 見聞雜記 一八二 和漢合圖拔萃
- 一八三 弘長記 一八四 天正事錄 一八五 聚樂物語 一八六 鶴岡事書案 一八七 會津塔寺村八
- 幡宮長帳 一八八 妙法寺記 甲斐國妙法寺記 一八九 善隣國寶記 一九〇 續善隣國寶記

第二十二輯 下 雜 部 (四)

一七二 祕府略 一七三 日本國見在書目錄 一七四 世俗諺文 一七五 明文抄 一七六 平他字類抄 一七七 反音抄 一七八 瑠玉抄 一七九 撮集 一八〇 類集文字抄 一八一 藥經大素 一八二 輔仁本草未定名 一八三 康賴本草 一八四 香字抄

第三十一輯 上 雜 部 (五)

一七五 香要抄 一七六 香藥抄 一七七 醫略抄 一七八 延年要抄 一七九 長生療養方 一八〇 醫家千字文註 一八一 衛生秘要抄 一八二 延壽類要 一八三 延壽撮要 一八四 傳屍病二十五方 一八五 家傳心中脈治秘訣 一八六 兩日秘傳書 一八七 金齋秘傳 一八八 新撰六旬集 一八九 籠篋內傳 一八〇 方角禁忌 一八一 宿曜運命勘錄 一八二 本命抄 一八三 建天全書

第三十一輯 下 雜 部 (六)

一八四 大膳大夫有盛記 一八五 行幸反問作法圖 一八六 三寶吉日 一八七 吉日考秘傳 一八八 永久三年曆 一八九 建曆四年具注曆日 一八〇 延慶三年かのえいぬのとしのこよみ 一八一 應永十八年順曆簡 一八二 長祿三年曆 一八三 麒麟抄 一八四 麒麟抄附補 一八五 鳥羽玉璽抄 一八六 定家卿筆諫口決 一八七 心底抄 一八八 唐書日書文字次第 一八九 夜都庭調抄 一八〇 右筆條々 一八一 世尊寺侍從行季二十ヶ條追加 一八二 風朗集 一八三 筆法禮義集 一八四 玉章秘傳抄 一八五 金玉積傳集 一八六 梅庵古筆傳 一八七 儒林拾要 一八八 妙香院宮御院參引付 一八九 仁和寺諸記抄 一八〇 醍醐寺雜事記 一八一 醍醐枝葉抄 一八二 醍醐雜抄 一八三 重西抄 一八四 淨修坊雜日記 一八五 姓名雜抄 一八六 醍醐調抄 一八七 明輪抄 一八八 雜訴決斷所結番交名

第三十二輯 上 雜 部 (七)

一八九 諸國殿治寄 一八〇 諸國殿治系圖 一八一 口遊 一八二 掌中歷 一八三 大内裏抄 一八四 桃華雜抄 一八五 富家語談 一八六 立車記 一八七 後三條相國抄 一八八 後押小路內府抄 一八九 上杉問答 一八〇 藤河問答 一八一 人鏡論 一八二 世鏡抄 一八三 童訓略類纂 一八四 百格集 一八五 西行物語繪詞西行法師繪詞 一八六 西行物語 一八七 四季物語 一八八 歌林四季物語 一八九 至要鈔重寶抄 一八〇 仲文章

第三十二輯 下 雜 部 (八)

一八九 貞德翁之記貞德翁重記 一八〇 寒川入道筆記 一八一 月刈藻華人 一八二 桂川地藏記 一八三 鹿嶋門答 一八四 旅宿門答 一八五 後鳥羽院御靈託記 一八六 先代破製集大藏冠破製集 一八七 後宮略傳 一八八 院號定部類記 一八九 公宴部類記 一九〇 初任大臣大變雜例 一九一 任大臣大變部類 一九二 大臣大變記 一九三 建曆二年大變次第 一九四 永享四年大變定 一九五 大變雜具目錄 一九六 三條中山口傳三傳 一九七 諸藝方代物附 一九八 出雲國風土記 一九九 風土記肥前國 二〇〇 常陸太田文 二〇一 淡路國太田文 二〇二 豊後國國田領記 二〇三 承和二年東寺領國判 二〇四 遠江國御神領記 二〇五 貞治七年宮田前大宮司家應四年香取檢田帳 二〇六 東大寺越前國桑原庄券 二〇七 嘉保二年大江仲子解文 二〇八 信濃國水内曲橋勸進帳 二〇九 播磨國大部庄公文職舊託 二一〇 讃岐國萬農池後碑文 二一一 日本得名國名風土記 二一二 正元二年院落書 二一三 延陀丸おとし文 二一四 拾烈集 二一五 十番物あらそひ 二一六 四十二のものをあらそひ

第三十三輯 上 雜 部 (九)

一八七 菅家遺誠 一九三 實語教 一八八 童子教 一八九 君子集 一九〇 君慎 一九一 假名教訓 一八七 伊勢貞教訓 一八八 多胡辰敬家訓 一八九 尾籠集 一九〇 五常内義抄 一九一 金言類聚抄 一九二 注好選集 一九三 世繼物語 一九四 寶物集 一九五 康賴寶物集 一九六 選集抄 一九七 閑居友 一九八 三人懺悔册子三人法師 一九九 蕪窓夜話 二〇〇 蕪湖集 二〇一 蕪恩記

第三十三輯 下 雜 部 (十)

一九三 滑稽詩文 一九四 若氣勸進帳 一九五 十番狂詩合 一九六 躬恒自歌合 一九七 職人歌仙 一九八 詠百首狂歌 一九九 金言和歌集 二〇〇 虫歌合 二〇一 鳥歌合 二〇二 雅道物語 彌生合歌記 二〇三 昨日波今日の物語 二〇四 曾々物語 二〇五 尤雙紙 二〇六 色音論あつみめぐり 二〇七 鎌倉巡禮記 二〇八 内事郭類 二〇九 明應凶事記 一九〇 貞治四年諒開終記 一九一 長享三年諒開終記 一九二 後成恩寺關白諒開記 一九三 長享二年渡御倚虛次第 一九四 長享二年還御次第 一九五 東寺光明講過去帳 一九六 本法寺過去帳 一九七 下總國小金本土寺過去帳 一九八 常陸國赤濱妙法寺過去帳 一九九 書寫山十坊過去帳通願書寫山過去帳 二〇〇 御産御新目錄 二〇一 御産部類記 二〇二 康和元年御産部類 二〇三 后宮御産當日次第 二〇四 俊成卿九十賀記 二〇五 北山准后九十賀記實冬那記 二〇六 長壽院内府九十賀記 二〇七 新撰類聚往來

續々群書類從

圖書刊行會編 明治三九一四二 (圖書刊行會本第一期)

第一輯 神祇部

- 一類聚神祇本源(度會家行) 二豊葦原神風和氣(釋慈通) 三舊事本紀玄義(釋慈通)
- 四珊瑚集(度會家行) 五神祇靈應記(釋春山) 六神皇系圖(佐伯有義校) 七神皇實錄(藤原國入) 八天口事書 九本朝諸社一覽(坂内眞賴) 一〇神社便覽(白井宗因) 一一十二社略記(長島泓昌) 一二和歌兩神記 長島泓昌 一三皇太神宮殿舍考證(度會延經)
- 一四豊受皇太神宮殿舍考證(度會延經) 一五外宮神領目錄 一六内宮氏經日記(荒木田氏經) 一七神宮秘傳問答(度會延長) 一八加茂注進雜記(加茂保可等) 一九元祿七年加茂祭記(野々宮定基) 二〇石上神宮御事抄 二一月能桂(釋松順) 二二東照宮大權現緣起
- 三出雲大社記 四宇佐八幡宮緣起 五三社託宣略抄 六陽復記(度會延佳) 七土德編(吉川惟足) 八未生土之傳(吉川惟足) 九神學承傳記(岡田正利) 一〇土津靈神正學記(跡部良顯) 一一會津神社之訓詞(吉川惟足) 一二神道生死之說(跡部良顯) 一三病後手習(伴部安崇) 一四八重垣大明神山祝詞同尋錄 一五神道辨草

第二輯 史傳部 (一)

- 一續皇年代略記(小野高潔) 二本朝歷代法皇外記(釋元策) 三法皇外記續門鴻寶(釋元策) 四漢奏歷 五傳奏次第 六辨官補任 七新撰座主傳(藤原爲喜) 八東寺長者補任 九興福寺別當次第

第三輯 史傳部 (二)

- 一豐德院畫像贊並序(釋周麟) 二細川賴之公祠堂記(釋元策) 三加藤光泰軍功記 四曹溪院行狀記 五尊語集抄 六立齋舊聞記 七事語繼志錄(奥村保之) 八紀侯言行錄 九吉備烈公遺事(湯淺元順) 一〇土津靈神言行錄 一一桃原遺事(三木之幹等) 一二宗長居士傳(福住道祐) 一三愍高先生行狀(林道春) 一四羅山先生行狀(林靖) 一五舜水先生行實略語(今井弘濟安積覺) 一六貞慧傳 一七行基年譜(泉高父宿禰) 一八弘法大師弟子傳(釋智證) 一九大法師淨藏傳 二〇圓照上人行狀(釋慶然) 二一存覺上人一期記 二二普照國師年譜(釋性派) 二三楠木合戰注文 二四忽那一族軍忠次第 二五忽那島開發記 二六瑠璃山年錄殘編 二七天野山金剛寺古記寫 二八續南行雜錄(佐々宗淳) 二九大乘院日記目錄 三〇西征日記(釋天荆) 三一田邊城合戰記

第四輯 史傳部 (三)

- 一餘日氏舊記 二雙林寺傳記 三公方兩將記 四小弓御所討死軍物語 五平島記 六多賀谷七代記 七世田谷私記 八沼田記 九細守房顯手記 一〇佐野宗綱記 一一香宗我部氏記 一二菅谷傳記 一三箱根山中城賣由來 一四忍城戰記 一五清正高麗陣覺書 一六石川忠總家臣大坂陣覺書 一七大坂陣山休庵唱 一八土屋忠兵衛知貞私記 一九島原一揆松倉記 二〇島原天草日記 二一山田右衛門作以言語記 二二休明光記(羽田正義)

第五輯 記錄部

- 一三代御記(藤原廣呢) 二貞信公記(藤原忠平) 三九曆(九條師輔) 四一平記(平行親) 五三宇治關白高野山御參詣記(平範國) 六江記(大江匡房) 七平朝和信朝臣記 八吉田中納言爲親卿記 九後稱念院關白冬平公記 一〇匡遠記(小槻匡遠) 一一北面假名記(源康成) 一二齋藤基恒日記 一三東大寺法華堂要錄 一四繼芥記 一五東大寺繪所日記 一六惟房公記(萬里公路惟房) 一七天正日記(内藤清成) 一八親綱御記(中山親綱) 一九九州下向記(是齋重鑑)

第六輯 法制部 (一)

- 一講令備考(稻葉通邦等) 二律通(石原正明) 三格通(堀保己) 四式通(和田英松) 五延喜式工事解(春田永年) 六延喜式工事解圖錄 七延喜式工事通解(春田永年) 八江次第抄

第七輯 法制部 (二)

- 一建官考(澁井幸徳) 二吏微 三代制府 四公家新制 五御成敗式目注 六貞應弘安式目 七建武式目注 八增補田園類說 九侍中群要(橋廣相) 一〇寛文記 一一中御門院年中行事 一二條々問書貞丈抄(伊勢貞丈) 一三諸國御開書

第八輯 地理部 (一)

- 一本朝地理志略 二元日本略記 三雍州府志(黒川玄逸) 四和州舊蹟圖考(林宗市) 五堺鑑 六蘆分船(釋道治) 七江戶名所記(淺井了意) 八兵庫名所記(植田下省子) 九長崎略記 一〇前橋風土記(古市剛) 一一前橋風土記附錄 一二會津風土記(保科正之) 一三端郡風土記 一四勢城風土記

叢書全集 叢書

第九輯 地理部 (二)

- 一五 寬文印刷集
- 一六 琉球國郷帳
- 一七 松前島郷帳
- 一八 藝備國郡誌(黒川玄逸)
- 一九 懷橋談
- 二〇 隠州視聽合記
- 二一 仙道會津老人覺書
- 二二 東奥白河往昔之記
- 二三 辰巳無人島訴狀並口上留書
- 二四 蝦夷島記
- 二五 吉野記(飛鳥井兼章)
- 二六 和紀紀行(岡西惟中)
- 二七 貞徳他行遺之聲(松長貞徳)
- 二八 宋雅道すがらの記(飛鳥井兼章)
- 二九 元和七年東海紀行
- 三〇 澤庵和尚鎌倉記
- 三一 東の記行(野々園立圃)
- 三二 東の紀行(釋宗因)
- 三三 中山日録
- 三四 癸卯、子役日録
- 三五 江海風帆草(宮本重利等)
- 三六 白水郎子記行(岡西惟中)

第十輯 教育部

- 一 朝倉宗滴話記
- 二 北條幻庵覺書
- 三 黒田家老土物語
- 四 千代茂登草(藤原惺高)
- 五 春鑑抄(林道春)
- 六 三徳抄(林道春)
- 七 敵戒説(林道春等)
- 八 翁問答(中江原)
- 九 講居童問(山鹿高術)
- 一〇 光園朝教訓
- 一一 學門圖説(伊藤長胤)
- 一二 本朝覺原派華鈔(眞野時綱)
- 一三 創學校啓(荷田東麻呂)
- 一四 和學大概(村田春海)
- 一五 漢學紀源(伊地知季安)
- 一六 古點語
- 一七 手古止語
- 一八 京都往來(鈴鹿定親)
- 一九 白遣往來
- 二〇 源平往來
- 二一 商賈往來
- 二二 名産諸色往來(松葉軒龍水)
- 二三 諸職往來
- 二四 消息往來(高井伴寛)

第十一輯 宗教部 (一)

- 一 東大寺要録(釋觀嚴)
- 二 東大寺續要録
- 三 招提千歳傳記(釋義澄)
- 四 興福寺濫觴記
- 五 藥師寺黒草紙
- 六 藥師寺新黒草紙
- 七 法隆寺記補志録(釋良訓)
- 八 南都七大寺巡禮記

第十二輯 宗教部 (二)

- 一 東寶記
- 二 八唐求法巡禮行記(釋圓仁)
- 三 顯戒論緣起(釋最澄)
- 四 日本大師先德明匠記(釋定珍)
- 五 聲明源流記(釋凝然)
- 六 踏雲錄事(釋行智)
- 七 木葉衣(釋行智)
- 八 諸宗階級
- 九 寺格帳
- 一〇 吉利支丹物語
- 一一 切支丹宗門來朝實記
- 一二 伴天連記
- 一三 肥前國有馬古老物語
- 一四 查祇餘録
- 一五 契利斯督記
- 一六 破提字子(ハビアン)

第十三輯 詩文部

- 一 後水尾天皇御製詩集
- 二 鳳啼集(後光明天皇)
- 三 機山十七首(武田信玄)

第十四輯 歌文部 (一)

- 一 風葉和歌集
- 二 新撰六帖題和歌
- 三 千五百番歌合
- 四 集外歌仙(後水尾天皇)
- 五 慶長千首
- 六 沙彌惠空百首
- 七 天正十六年樂樂亭御歌會御歌
- 八 文祿三年吉野山御歌會御歌
- 九 後柏原院御日次結題
- 一〇 後水尾院御集
- 一一 後十輪院内大臣詠草(中院通村)
- 一二 爲兼卿家集補遺(北川眞顔)
- 一三 惺高先生倭歌集(藤原惺高)
- 一四 衆妙集(細川玄旨)
- 一五 草山集(釋元政)
- 一六 棍の葉(棍女)
- 一七 佐遊季葉(百合女)

第十四輯 歌文部 (二)

- 一 顯昭古今集註(釋顯昭)
- 二 俊頼口傳集(藤原俊頼)
- 三 續歌林良材集
- 四 下河邊長流
- 五 梨本集(戸田茂睡)
- 六 和歌會式
- 七 新撰菟玖波集(飯尾宗祇)
- 八 連長良村
- 九 岩清水物語
- 一〇 風につれなき物語
- 一一 兵部卿物語
- 一二 源家長日記

第十五輯 歌文部 (三)

- 一 雙倉北雜物出用帳
- 二 延暦六年曝涼帳
- 三 延暦十二年曝涼帳
- 四 弘仁二年官物勘録
- 五 雜物出入帳
- 六 雜物出入繼文
- 七 東大寺勅封藏目錄記
- 八 天正二年截香記
- 九 東大寺三藏御寶物御改之帳
- 一〇 慶長十九年藥師院實祐記
- 一一 草書、正倉院御開封記
- 一二 東大寺正倉院開封記
- 一三 東大寺三倉開封勘例
- 一四 二倉道具目錄
- 一五 正倉院御開封勘例等御尋之日記
- 一六 東大寺古文書目錄
- 一七 正倉院寶物御開封事書
- 一八 正倉院御寶物目錄
- 一九 仁和寺御室御寶物實録
- 二〇 本朝法家文書目錄
- 二一 寺社寶物展覽目錄
- 二二 但馬國太田文
- 二三 下京中出入之帳
- 二四 絲刺符由緒書
- 二五 中家實録
- 二六 書大體(齋藤淨玄)
- 二七 大安寺碑文(淡海三船)
- 二八 三州俗聖起請十二箇條事
- 二九 備妙達蘇生注記
- 三〇 美福門院御文
- 三一 六條判官爲義書狀
- 三二 源義經搜索之事宣下請文
- 三三 興福寺法隆寺腰狀
- 三四 宋人陳和卿濫妨停止下文
- 三五 筆海要律(藤原通憲)
- 三六 上加茂松下氏文書
- 三七 假面譜(喜多古能)
- 三八 和學講談所御用留抄

第十六輯 雜部

- 一 雙倉北雜物出用帳
- 二 延暦六年曝涼帳
- 三 延暦十二年曝涼帳
- 四 弘仁二年官物勘録
- 五 雜物出入帳
- 六 雜物出入繼文
- 七 東大寺勅封藏目錄記
- 八 天正二年截香記
- 九 東大寺三藏御寶物御改之帳
- 一〇 慶長十九年藥師院實祐記
- 一一 草書、正倉院御開封記
- 一二 東大寺正倉院開封記
- 一三 東大寺三倉開封勘例
- 一四 二倉道具目錄
- 一五 正倉院御開封勘例等御尋之日記
- 一六 東大寺古文書目錄
- 一七 正倉院寶物御開封事書
- 一八 正倉院御寶物目錄
- 一九 仁和寺御室御寶物實録
- 二〇 本朝法家文書目錄
- 二一 寺社寶物展覽目錄
- 二二 但馬國太田文
- 二三 下京中出入之帳
- 二四 絲刺符由緒書
- 二五 中家實録
- 二六 書大體(齋藤淨玄)
- 二七 大安寺碑文(淡海三船)
- 二八 三州俗聖起請十二箇條事
- 二九 備妙達蘇生注記
- 三〇 美福門院御文
- 三一 六條判官爲義書狀
- 三二 源義經搜索之事宣下請文
- 三三 興福寺法隆寺腰狀
- 三四 宋人陳和卿濫妨停止下文
- 三五 筆海要律(藤原通憲)
- 三六 上加茂松下氏文書
- 三七 假面譜(喜多古能)
- 三八 和學講談所御用留抄

叢書全集 叢書

新群書類從 國書刊行會編 明治三九一 (國書刊行會本第一期)

內容目次八五五二參照

香雪叢書 第一一五 下田歌子著 栗原元吉編 昭和七一一

國書刊行會本 國書刊行會編 明治三八一 大正一一

第一期 (明治三八一—四二)

- 一續々群書類從(同會編) 二新群書類從(同會編) 三燕石十種(岩本左七編) 四續燕石十種(同會編) 五古今要覽稿(尾代弘賢) 六新井白石全集(新井君美) 七近藤正奇全集(近藤守重) 八伴信友全集(伴信友) 九菅政友全集(菅政友) 一〇玉葉(藤原兼實)
- 二高麗史(朝鮮鄭麟趾) 三太平記 三源注餘滴(石川雅望) 四夫木和歌抄(藤原長清) 五夫木和歌抄索引 六松屋筆記(高田與清) 七集古十種(松平定信) 八國書刊行會出版目錄附日本古刻書史(同會編)

第二期 (明治四三—四五)

- 九赤穂義人墓書(鍋田三善編) 一〇同補遺(同會編) 一一甲子夜話(松浦清) 一二同續篇(松浦清) 一三近世文藝叢書(同會編) 一四曲亭遺稿(瀧澤解) 一五黒川貞頼全集(黒川貞頼) 一六事實文編(五弓久文編) 一七史籍雜纂(同會編) 一八神道叢說(同會編) 一九日本詩紀(市川世寧) 二〇明月記(藤原定家) 二一明良洪範(眞田增譽) 二二山鹿語類(案行會編)

第三期 (明治四五—大正三)

- 二三宴曲十七帖附曲末百番(同會編) 二四近世風俗見聞集(同會編) 二五官武通紀(玉蟲左大夫) 二六徳川商業叢書(同會編) 二七新燕石十種(同會編) 二八丹鶴園譜(水野忠央編) 二九通航一覽(林壽等) 三〇武江年表(齊藤幸成) 三一文明源流叢書(同會編) 三二萬葉集古義(鹿持雅澄) 三三令集解(惟宗直本) 三四遠近橋(高橋多一郎)

第四期 (大正三一—五)

- 三五吾妻鏡 三六解題叢書(同會編) 三七海錄(山崎美成) 三八近世佛教集說(同會編) 三九群書類考(村井量介) 四〇系圖綜覽(同會編) 四一參考太平記(今井弘濟) 四二内藤貞顯共

古典保存會本 古典保存會 大正一四一 昭和一二 影印

第一期 (大正一〇—一一)

- 一伊勢物語(守屋孝藏氏藏) 二伊勢物語(最明寺藏) 三色葉字類抄上、中、下 四色葉字類抄略 五大鏡(千葉胤明氏藏) 六大鏡(池田龜藏氏藏) 七漢書食貨志 八行歷抄 九琴歌譜 一〇口遊 一一君台觀左右報記 一二元興寺緣起 一三古今調点抄 一四江談抄 (神田喜一郎氏藏) 一五水言抄(醍醐寺藏) 一六古事記上(御基清白氏藏) 一七古事記上 (松井簡治氏藏) 一八古事記上、中、下(眞福寺藏) 一九古事記上、中(眞福寺藏) 二〇古事記上卷抄(眞福寺藏) 二一古事記裏書 二二御成敗式目 二三後撰和歌集第一、二、三 二四古文存經 二五古律書殘篇 二六金剛般若經集驗記一、二 二七催馬樂抄 二八春秋經傳集解卷上第十 二九上宮聖德法王帝說 三〇世俗謄文 三一節用文字 三二打聞集 三三瑠玉集卷第一、二、四 三四知速抄并梵灯連詞 三五纂錄文體 三六唐大和上東征傳 三七土佐日記 三八額要集 三九日本國見在書目錄 四〇日本書紀私記 四一白氏文集卷第三、四 四二播磨國風土記 四三秘府略卷第八、四 四四文鏡秘府論 四五方丈記 四六寶物集 四七法華經音 四八法曹類林卷第一、九、七 四九將門記 五〇松浦之能 五一遊仙窟 五二連詞新

和 六九

〇三

一一

式 三連理秘抄 四呂后本紀第九 五和歌體十種 六倭名類聚抄 七倭名類聚
鈔紙背文書

五

鼠璞十種 國書刊行會編 大正五 (國書刊行會本第五期)

(二) 〇三 五

- 第一 一高尾追々考(加藤昶) 二新吉原細見記考(加藤昶) 三諸家隨筆集(高力種信) 四奇異珍事錄(木室卯雲) 五浮世草 六橋窓自語(橋本經亮) 七即事考(竹尾善筑) 八反古の裏書(鈴木慶) 九讀老庵日札 一〇色里新遊談
- 第二 一明和誌 二道聽途說(大郷良則) 三續道聽途說 四昔ばなし 五燈前一睡夢(大谷木忠醇) 六江戸見草(小寺玉晃) 七板兒錄拔萃(瀧尾桓本) 八遊相醫話(森立之) 九寶貨漫文抄(大村成富) 一〇寶永年間諸覺 一一伊勢町元享間記 一二麴街略誌稿(河内全節)

五

尊經閣叢刊 育徳財團覆刊 大正一五—昭和一一

和 一七 〇三 一一

- 一 赤穂義人錄 二楠木合戦注文博多日記 三古語拾遺 四御成敗式目 五三寶繪上、中、下 六西宮記 七中外抄下 八日本國靈異記卷下 九仁和寺御室御物實錄 一〇年中行事秘抄 一一西京新記卷第三 一二類聚國史第一六五、一七二、一七七、一七九

五

丹鶴叢書 水野忠央 明治四五—大正三 (國書刊行會本第三期)

(八) 〇三 五

- 第一 故實部
 - 一 丹鶴叢書目錄 二水野忠央年譜 三正中御傍記 四内裏御神寶記 五北山抄(四條公任) 六雜筆要集 七釋奠供物圖(紀宗良) 八諸陵雜事注文 九諸鞍日記 一〇拾弓藤割次 一一九條家車圖 一二西園寺家事圖 一三基盛朝臣鷹狩記 一四後水尾院當事年中行事 一五三條中山口傳
- 第二 史傳部 第一
 - 一 六日本書紀神代卷 二七春記(藤原資房)
- 第三 史傳部 第二

一八今昔物語 上

第四 史傳部 第三

一九今昔物語 下

第五 史傳部 第四 繪詞部

- 一 蒙古興來繪詞 二繪師草紙(藤原信實) 三乙寺緣起 三紫式部日記繪詞 四室町殿春日詣記 五古事談 六武藏國風土記

第六 歌文部 第一

一 草根集 上

第七 歌文部 第二

一 草根集 下 二萬代和歌集

第八 歌文部 第三

- 一 和歌一字抄 二九條右大臣集(九條師輔) 三御堂關白集(藤原道長) 四家經朝臣集(藤原家經) 五大納言經信朝集(源經信) 六前參議教長卿集(藤原教長) 七信實朝臣家集撰(藤原信實) 八源重之むすめの集 九小侍從集 一〇股富門院大輔集 一一和泉式部續集 一二濱松大納言物語 一三しのび物語

五

函館圖書館叢書 同館編 昭和三一—四

一 〇三 一四

- 第一 一學校と圖書館(竹林熊彦) 二圖書の力(田中敬) 三米國議院圖書館の漢籍に就いて(植松安) 四佛蘭西國立圖書館について(山田珠樹) 五文字の心理學的考察(佐久間鼎)
- 第二 一秩父宮妃殿下と會津の教育(木村定二) 七津輕海峽と生物の分布(佐々理宜造)
- 第三 一胸ヶ嶽噴火概觀(根本廣記)

五

百家隨筆 國書刊行會編 大正六一—七 (國書刊行會本第六期)

(三) 〇三 五

- 第一 一 九桂草堂隨筆(廣瀬謙) 二蘿月庵國書漫抄(尾崎雅嘉) 三閑居漫錄(山崎美成) 四敗等添塵(多田義俊) 五國の池水(伴林光平) 六落果物語(藤原家孝)
- 第二 一 況齋雜話(岡本況齋) 八楓軒偶記(小宮山楓軒) 九月齋雜考(清水濱臣) 一〇南憲筆記(加藤宜樹) 一一高ねおろし(穂井田忠友)

叢書全集 叢書

第三 三海西漫錄(鶴峯戊申) 三 義志編(掛取魚彦) 四 多氣憲堂(北高村親) 五 活版經籍考(吉田坦) 六 清水千清遺書 七 非時文摘批(橋本稻彦) 八 たかはし(齋藤彦磨) 九 蕪齋筆記(小川白山) 一〇 能樂考(瀧澤解) 一一 文教温故批考(狩谷望之、屋代弘賢) 一二 北憲雜話(片山圓然) 一三 傍廂糾纏(岡本保存)

壹 百家説林 正續編附索引 吉川弘文館編 明治三八一四〇

正編 上 一 獨語(大宰純) 二 北邊隨筆(富士谷御杖) 三 南留別志(荻生雙松) 四 和歌世話(荻生雙松) 五 筆のすさび(菅菅館) 六 都のてより(石川雅望) 七 雨窓閑話 八 傍廂(齋藤彦磨) 九 泊酒筆記(清水濱臣) 一〇 玄洞故言(瀧澤解) 一一 北里十二時(石川雅望) 一二 善庵隨筆 一三 桂林漫錄(桂川中良) 一四 おもひくさ(名尾花加木、本居宣長) 一五 奥の細道(松尾宗房) 一六 圓珠庵雜記(釋契沖) 一七 昆陽漫錄(青木敦書) 一八 翰軒小錄(伊藤長胤) 一九 假名世説(大田草) 二〇 關の秋風(松平定信) 二一 編脩源(谷川士清) 二二 茅窓漫錄(茅原完) 二三 春波樓筆記(司馬江漢) 二四 蜘蛛の糸卷(岩瀬百樹) 二五 志りうごと(川崎重恭) 二六 難後言

正編 下

一 梅園叢書(三浦晉) 二 遊京漫錄(清水濱臣) 三 世事百談(山崎美成) 四 墳墓考(中川信名) 五 こがねぐさ(石川雅望) 六 家屋雜考(澤田名垂) 七 續昆陽漫錄(青木敦書) 八 我宿草(太田持資) 九 調蒙淺語(太田敦) 一〇 畫源雜助(仲山延沖) 一一 毛兔園小説(瀧澤解等編) 一二 雲萍雜志(柳澤里恭) 一三 花月草紙(松平定信) 一四 烏おとし(川崎重恭) 一五 金剛談(小林元儒) 一六 閑窓自語(柳原紀光) 一七 人名考(新井君美) 一八 准后准三后考(新井君美) 一九 轉注説(狩谷望之) 二〇 おほらうみのはし(富士谷成章) 二一 たはれぐさ(雨森東) 二二 消閑雜記(岡西惟中) 二三 梧窓漫筆拾遺(太田元貞) 二四 心の草紙(松平定信)

續編 上

一 二年山紀聞(安藤爲章) 二 錦所談(山田以文) 三 南向茶話(酒井忠昌) 四 包丁書錄(林信勝) 五 梅園日記(北慎言) 六 酎中清話(小島知定) 七 蒼梧隨筆(大塚嘉樹) 八 織綿合隨筆(村田春海) 九 ぬさめのすさび(石川雅望) 一〇 還魂紙料(柳亭種彦)

續編 下

一 下馬のおとなひ(堀秀成) 二 松の落葉(藤井高尙) 三 河社(釋契沖)

續編 中 一 比古婆衣(伴信友) 二 骨董集(山東京傳) 三 後松日記(松岡行義) 四 京雜の記(瀧澤解) 五 西洋畫談(司馬江漢) 六 近世逸人畫史(岡田樗軒) 七 歴世女裝考(岩瀬百樹) 八 天朝墨談(五十嵐篤好) 九 遊藝園隨筆(川路聖謨) 一〇 磯山千鳥(堀秀成)

癸 文明源流叢書 國書刊行會編 大正二一三 (國書刊行會本第三期)

第一 一 日本文明之先驅者 二 蘭學事始(杉田玄白) 三 南蠻寺物語 四 天馬遺聞(吉雄如淵) 五 伊曾保物語 六 漂流紀事 七 蘭學階梯(大槻茂實) 八 蘭學源(藤林淳道) 九 輿地誌略(青木林宗) 一〇 紅毛談(後藤梨春) 一一 紅毛雜話(森島中良) 一二 蘭說辨惑(大槻茂實) 一三 乾坤辨説 一四 曆象新書(志築忠雄) 一五 氣海觀瀾(青木林宗) 一六 植物啓原(宇田川榕本) 一七 解體新書(杉田玄白) 一八 和蘭醫事問答(杉田玄白) 一九 就米日録 二〇 漂流記 二一 異人恐怖傳(志築忠雄) 二二 日本風俗備考(杉田成輔等) 二三 倭蘭年表 二四 西洋學家譯述日録 二五 鐵研齋軒書目(齋藤正謙)

壬 三十幅 大田草編 大正六 (國書刊行會本第六期)

第一 一 歌體約言(田安宗武) 二 武家諸法度之奥書(久世廣之) 三 國本論(松平定信) 四 繪卷談苑(柳原玄輔) 五 名管記部類 六 以呂波之傳(佐々木臥龍) 七 君臣歌(細井知慎) 八 伊呂波探玄抄 九 郁子譜 一〇 勢語七考(賀茂眞淵) 一一 當道拾要錄 一二 尊榮草紙(多田義寬) 一三 龍北瑣語(恩田仲任) 一四 春浪浪語(土肥經平) 一五 祭儀略(大藏永綏、村上宗章) 一六 國歌八論(荷田在滿) 一七 はなさく松(堀保己) 一八 三議一統之辨(伊勢)

第二

貞杖(一九岩つゝじ(北村季吟) 二 閑草拾遺 三 圓珠庵雜記(釋契冲) 三 なくさの考(阿部照任) 三 老の幸(坂昌周) 三 古學先生秋歌集(伊藤維植) 三 源氏外傳(能澤伯繼) 三 周尺考(旅生雙松) 三 子姪に俳諧を禁する文(鳴島信通)

六 常磐日記(土師熊文) 元 本朝刀劍畧記(壹井義知) 三 那交始末物語解(雨森東) 三 琉球談記(赤崎植幹) 三 東鑑異本考(橋原長俊) 三 改正東鑑目錄(橋原長俊) 三 宮城堂舎諸門炎上誌(橋原長俊) 三 閑窓一得 三 雙斗目考(松岡辰方) 三 假名曆註解(山路主住) 三 寶客禮俗式(中川忠英) 三 閑學禮俗式(中川忠英) 三 鳩巢與白石讀書 三 新蓋面命(谷重遠) 三 龜細略記 三 關山先生十品考(小野職博) 三 和藥出產揃(東柱武群) 三 梅名並花形 三 上苑梅譜 三 貞徳終焉記(安原貞室) 三 鎌倉閑居記(吉川惟足) 三 疏儀莊記(北村季吟) 三 朝清水記(英一蝶) 三 戸山御庭記(久世合善) 三 雨夜のともし火(湯淺元直) 三 廻文俳諧百韻(石田未得) 三 紫野大徳寺中客殿畫之知簿 三 琵琶撥附 三 季吟子知歌(北村季吟) 三 荒陵懷舊詠(釋順宣) 三 對問 三 昌平學校釋奠式並御祭供(林忠) 三 坊保町圖解(大塚嘉樹) 三 輿地各國積解(平野昌博) 三 不問談(篠崎維章) 三 赤水雜錄(長久保元珠) 三 山鹿先生語錄拔書 三 飛騨の山(荻生雙松) 三 放生會を見し記(太宰純) 三 檜垣寺古瓦記(服部元喬) 三 御嶽さうじ(上田秋成) 三 雨夜物語(林道春) 三 立圃追善集 三 諸名寄三水やり草(上田秋成) 三 片玉集抄(津村正恭) 三 方長老朝鮮物語(林忠) 三 華晉國物語(中井積徳)

第三

去甲州略記(青木敦書) 七 奉使小錄(青木敦書) 七 若紫(津田かみはや) 七 寺川郷談(寶永堂) 三 商城下野家記(橋爪正仙) 三 梅檀瑞像考(尾代弘賢) 三 昨柳助九郎武重覺書 三 安寺持方の記(岡野逢原) 三 寓意草 三 飛鳥山碑始末(成島私鼎) 三 日本養子説(跡部良顯) 三 材木定價書(藤井直) 三 歴代祖法 三 和漢合鑑本草(後藤彦) 三 花かつみ考(多賀常政等) 三 花かつみ考(藤塚知明) 三 かつみ考(屋代弘賢) 三 小野道風像冠服考(伊勢貞丈) 三 槽粕手鏡(山口彌三郎) 三 庚子道の記(六角軒小録(伊藤長胤) 三 存心(奥田子彌) 三 斯文源流(河口孔深) 三 靜齋詩稿(河口子深) 三 天壽隨筆(佐久間思明) 三 曆(屋代弘賢) 三 擬集古錄(並川永) 三 梅柳短策 三 家産俗談(林宇兵衛) 三 查祓餘錄(松平定信) 三 栗山堂書抄(柴野邦彦)

第四

夏山雜談(小野高尙) 一〇八 上近衛公書(柴野邦彦) 一〇九 三嶋庵隨筆(木村時員) 一一〇 和

學辨(篠崎維章) 一一三 三英隨筆(望月三英) 一一三 蕃語考(青木敦書) 一一三 蕃語錄(松岡成章) 一一三 蕃語考補(青木敦書) 一一五 渡邊幸庵對話(杉本義隣) 一一六 桑家漢語抄(楊梅顯直) 一一七 倭片假名反切義解(釋明鏡) 一一八 但馬國太田文四方指之事 一二九 喫茶性來(釋玄惠) 一二〇 酒茶論(釋蘭叔) 一二一 期倉敏景條々 一二三 景勝家法 一二三 捕判官立庫之記 一二三 慕歸繪詞(釋從覺) 一二三 顯綱家集(藤原顯綱) 一二三 西行上人談抄(釋蓮阿) 一二七 心敬紀行(釋心敬) 一二八 細川殿障子畫贊 一二九 明智日向守光秀百韻 一二九 賦山何連歌 一二三 若道之勸進帳(井尻又九郎) 一二三 古今若業序(細川藤孝) 一二三 俳諧の發句(里村相巴) 一二三 弘長記 一二三 伊勢守殿系圖(澤巽阿彌) 一二三 土氣古城再興傳來記 一二七 土氣東傳記 一二八 日記歌(釋孝範) 一二九 源平盛衰記人名 一二九 和字解(貞原篤信)

天 明治文化全集

吉野作造編 昭和二一五

二四〇三 四

第一卷 皇室篇

一 雲上示正鑑(御園憲澄) 二 都仁志喜 三 公私雜報第五號難波津御幸三記 四 御親征行幸中在所日誌 五 東巡日誌 六 還幸日誌 七 御東幸御供奉御行列附 八 三月十一日神祇官行幸御列帳 九 御東幸御宿御帳之寫 一〇 隨幸私記(兒玉愛二郎) 一一 雲上新聞 一二 奧羽御巡幸明細日誌 一三 東北御巡幸記(岩田吟香) 一四 東巡錄(金井三恭) 一五 從駕日記十符の菅蘆(近藤芳樹) 一六 御巡行御行列御供官員附(坂井友五郎) 一七 行幸御警衛心得 一八 西田川郡御巡幸願末書 一九 奧羽北海道御巡幸歸の都路 二〇 西巡日乘(金井三恭) 二一 明治行幸年表

第二卷 正史篇(一)

三 明治政史(指原安之)

第三卷 正史篇(二)

三 明治政史續(指原安之) 三 明治政史索引 三 私擬國憲案 三 日本國憲案 三 大隈參議國會開設奏議 三 内外政黨事情(中村義三) 三 名家意見書 三 第一期國會始末

第四卷 憲政篇

三 公議所法則案 三 公議所日誌 三 官板議案錄附決議錄 三 集議院日誌 三 議事叢書全集 叢書

第五卷 自由民權篇

- 章程議院憲法並規則 二五 地方官會議日記 二七 國憲編纂起原 二九 民撰議院集說 三〇 憲法制定之由來(穂積八束) 四〇 西哲夢物語 四一 須多因氏講義筆記 四二 憲政文獻年表
- 自由民權篇
 - 一 自由之理(英彌爾著、中村敬太郎譯) 四三 憲政大意(加藤弘之) 四四 國體新論(加藤弘之) 四五 上木自由之論(佛テトラクゲイル著、小橋篤次郎譯) 四六 俗夢驚談(中島勝義) 四七 民權問答(兒島彰二) 四八 民權自由論(植木枝盛) 四九 普通民權論(岡本巴) 五〇 民權辨惑(外山正二) 五一 社會民權論(英斯達理著、松宮剛譯) 五二 民權家必讀(主權論纂)(長東宗太郎) 五三 人權新說(加藤弘之) 五四 人權新說駁論集 五五 天賦人權論(馬場辰猪) 五六 天賦人權辨(植木枝盛) 五七 夢路の記(島本伸道) 五八 自由民權文獻年表

第六卷 外交篇

- 外交篇
 - 一 大日本合衆國新定條約並附錄草案 六一 白露國馬俚亞老士船裁判略記(米佐和希兒編、林道三郎譯) 六二 副島大使適清概略(清野水寧) 六三 使清辨理始末 六四 處蕃趣旨書 六五 下ノ關償金米國上下兩院議事錄 六六 朝鮮京城事變始末書 六七 井上特派全權大使復命書 六八 井上特派全權大使復命書附屬書類 六九 伊藤特派全權大使復命書 七〇 條約改正論(馬場辰猪) 七一 ボアソナード外交意見 七二 內地雜居論(井上哲次郎) 七三 千島艦事件 七四 外交關係文獻年表

第七卷 政治篇

- 政治篇
 - 一 立憲政體略(加藤弘之) 七一 英政如何(英ホンブラント著、鈴木唯譯) 七二 代議政體(英ミル著、永峰秀樹譯) 七三 政治論略(金子堅太郎譯) 七四 民約譯解(佛戎雅斐著、中江篤介譯) 七五 通俗無上政法論(和田稻積) 七六 英國學士拂波士氏主權論(文部省編輯局編) 七七 一局議院論(植木枝盛) 七八 君論(伊マキヤヅエリイ著、永井修平譯) 七九 三醉人經綸問答(中江兆民) 八〇 平民の目まじし 八一 國會組織國民大會議(植木枝盛) 八二 近時政論考(陸實) 八三 原政 八四 政治文獻年表

第八卷 法律篇

- 法律篇
 - 一 民法略(蘭畢酒林口授、神田孟恪譯) 八二 萬國公法(蘭フイツセリグ著、西周助譯) 八三 泰西國法論(蘭フイツセリグ著、津田眞一郎譯) 八四 遺式註違圖解(今江五郎解) 八五 法律獨稽古(平山果) 八六 全國民事慣例類集 八七 情供證據誤判錄(高橋健三譯) 八八 校部增補性法講義抄(佛ボワソナード述、井上操記) 八九 法典論(穂積陳重) 九〇 法

律學文獻年表

- 第九卷 經濟篇
 - 一 萬國政表(岡本博譯) 一〇一 經濟小學(神田孝平譯) 一〇二 交易問答(加藤弘藏) 一〇三 蠶種說并蠶種商法(柳河春三譯) 一〇四 官版會社辨(福池源一郎譯) 一〇五 官版立會略則(福池源一郎譯) 一〇六 造幣寮首長年報(島郡泰譯) 一〇七 埃國博覽會筆記并見聞錄 一〇八 聯邦商律(米抵巴留孫著、藤田九二譯) 一〇九 表紀提綱(蘭シモン・ヒツセリグ著、津田眞道譯) 一一〇 立會就產考(島郡泰譯) 一一一 大隈君財政要覽(木瀧清類編) 一一二 銀行小言(富田鐵之助) 一一三 生命保險論(藤澤利喜太郎) 一一四 賦稅全廢濟世危言(城泉太郎) 一一五 情勢論(大島貞益) 一一六 經濟問題雜纂 一一七 經濟文獻年表

第十卷 教育篇

- 教育篇
 - 一 和蘭學制(內田正雄譯) 一二〇 大小學校建議(加藤有隣) 一二一 西洋學校軌範(小橋甚三郎譯) 一二二 日本教育策(森有禮) 一二三 佛國學制(佐澤太郎譯) 一二四 ダビット・モルレ一申報 一二五 彼日氏教授論(ペーリジ編、關フアンカステール氏譯) 一二六 日本教育史略 一二七 教育令制定理由 一二八 改正教育令制定理由 一二九 斯氏教育論(英スヘンサー著、尺振八譯) 一三〇 教育學(伊澤修二著) 一三一 小學讀本(文部省編) 一三二 小學入門 一三三 幼稚園法二十遊嬉(關信三) 一三四 教育文獻年表

第十一卷 宗教篇

- 宗教篇
 - 一 神教要旨略解(近藤忠房、千家尊福撰) 一三六 三條演義(田中頼庸) 一三七 三則教の捷徑(假名垣魯文) 一三八 聖教日課(アチシアン) 一三九 胡無知理佐死の略 一四〇 科除規則 一四一 彌撒拜禮式 一四二 玫瑰花冠記錄 一四三 夢醒眞論(貞方良助) 一四四 聖教初學要理(アチシアン) 一四五 眞理易知(ハボン譯) 一四六 さいはひのおとづれわらべてびきのとひこた(ハボン) 一四七 偶像非神論(バーム譯) 一四八 心の夜あけ(奥野昌綱) 一四九 天道案内(ゴープル) 一五〇 廟祝問答(バラ譯) 一五一 明道協會要領解說(島尾得庵) 一五二 眞理金針初篇(井上圓了) 一五三 佛教活動序論 一五四 佛教一貫論(村上專精) 一五五 學佛南針(前田慧雲) 一五六 佛教大家論纂 一五七 英文日本宗教自由論(森有禮) 一五八 宗教關係文獻年表

第十二卷 文學藝術篇

- 文學藝術篇
 - 一 俳辭及華文(菊池大藪譯) 一六〇 ペリンスキーの藝術論(ペリンスキー著、長谷川二葉亭譯) 一六一 假名の會の問答(大槻文彦著) 一六二 羅馬字早學(谷田部良吉) 一六三 羅馬

叢書全集 叢書

字意見(田中館愛橋著) 一六四 言文一致(物集高見) 一六五 人像畫法(本多錦吉郎譯)
 一六六 美術真説(フエノロサ達、大森親中編) 一六七 日本繪畫の未來(外山正一) 一六八 演劇改良論(外山正一) 一六九 演劇改良意見(末松謙澄) 一七〇 演劇改良論(守川丑之助) 一七一 劇場改良法(中村善平) 一七二 演劇論(高田早苗) 一七三 名間の姫百合繪番附 一七四 新體詩抄初編(外山正一、外二名同選) 一七五 新體詞選(山田武太郎編) 一七六 十二の石塚(湯淺吉郎) 一七七 西國立志編卷之貳其粉色陶器交易(佐橋富三郎) 一七八 國立志編卷之十鞋補童教學 一七九 日本美談(前田正名) 一八〇 滿二十年息子鑑(河竹默阿彌) 一八一 東京現在 著作家案内(櫻井徳太郎) 一八二 文學藝術雜誌 一八三 明治初期文學年表

第十三卷

時事小説富附「續譯文藝篇」
 一八四 冠松眞土夜暴動(武田交來) 一八五 藩旗群馬嘶(彩霞園柳香) 一八六 自由醜舌女文章(小室案外堂) 一八七 黑白染分難(高島藍泉) 一八八 保安條例後日之夢(岡本純) 一八九 女子參政屋中樓(廣津直人) 一九〇 張續朝鮮官中物語(福地源一郎) 一九一 開卷驚奇暴夜物語(タチンスセト著、永峰秀樹譯) 一九二 虛無黨實傳國鬼啾啾(宮崎夢柳) 一九三 獨逸奇書狐の裁判(英シエクスビヤ著、井上勳譯) 一九四 仇結奇の赤繩(西洋娘節用)(英シエクスビヤ著、木下新三郎譯) 一九五 時事小説年表

第十四卷

翻譯文藝篇
 一九六 和蘭美政錄(神田樂山譯) 一九七 通俗伊蘇昔物語(渡邊溫譯) 一九八 歐洲奇事花柳春話(英リットン著、丹羽純一郎譯) 一九九 哲烈禍福(フエムロン著、宮島春松譯) 二〇〇 春風情話(英スコット著、橋本三郎譯) 二〇一 歐洲情話群芳綺話(ボツカス著、大久保勳三郎譯) 二〇二 人肉質入裁判(英シエクスビヤ著、井上勳譯) 二〇三 該撒奇談(自由太刀餘波鏡鋒)(英シエクスビヤ著、坪内雄藏譯) 二〇四 泰西活劇春窓奇話(英スコット著、服部誠一譯) 二〇五 露妙樹利戲曲春情浮世の夢(英シエクスビヤ著、河島敬誠譯) 二〇六 想夫戀(ボツカス著、佐野尚重譯) 二〇七 「シエクスビヤ」筋書「西洋歌舞伎種本(英ラム著、竹内余所次郎譯) 二〇八 明治初期翻譯文藝年表

第十五卷

思想篇
 二〇九 新論(會澤安) 二一〇 關邪小言(大橋訥庵) 二一一 斥邪漫筆(深愷隱士) 二一二 斥邪二筆(深愷隱士) 二一三 新眞公法論并附錄(大國隆正) 二一四 寒更叢語(深愷隱士) 二一五 辨安和解(安井衡著、安藤定解) 二一六 敬字先生上書是非 二一七 百一新論(西周) 二一八 泰西勸善訓

第十六卷

外國文化篇
 二一九 玉石志林(其作院市譯) 二二〇 萬國新語(三又漁史編) 二二一 明治月刊(大阪府) 二二二 兜巻十種鉛筆紀開曉窓追錄(村田文夫) 二二三 西洋聞見錄(村田文夫) 二二四 萬國奇談一名「世界七不思議」(青木楠清譯) 二二五 古川正雄の洋行漫筆(古川正雄) 二二六 航西日乘(成島柳北) 二二七 明治五年柳翁洋行會計錄(成島柳北) 二二八 譯書讀法(矢野文雄) 二二九 天竺行路次所見(北島道龍) 二三〇 外國文化關係文獻年表

第十七卷

新聞篇
 二三一 新聞紙實歴(福地源一郎) 二三二 日本新聞歴史(小池洋二郎) 二三三 新聞紙經歷談(末廣鐵監) 二三四 全國新聞雜誌評例記(高瀬紫峰) 二三五 官板バタビヤ新聞 二三六 官板海外新聞 二三七 中外新聞 二三八 中外新聞外篇 二三九 官准中外新聞 二四〇 内外新聞 二四一 都鄙新聞 二四二 崎陽雜報 二四三 明治新聞年表

第十八卷

雜誌篇
 二四四 西洋雜誌(柳川春三編) 二四五 新落月誌(山東一郎編) 二四六 明六雜誌(明六社編) 二四七 民間雜誌(小橋篤次郎、福澤諭吉共編) 二四八 講學餘談 二四九 報四叢談(大内青巒編) 二五〇 萬國叢話 二五一 評論新聞(海老原稔) 二五二 七一雜報(村上俊吉編) 二五三 家庭叢談(箕浦勝人編) 二五四 文部省雜誌 二五五 日々新聞 二五六 公私雜報 二五七 そよぶく風 二五八 近事評論 二五九 新聞日誌 二六〇 諷歌新聞 二六一 博聞新報(山本常五郎、川口常藏編) 二六二 六合新聞(清水卯三郎編) 二六三 明治雜誌年表

第十九卷

風俗篇
 二六四 西洋將菜指南(柳川春三) 二六五 西洋時計便覽(柳川春三) 二六六 西俗一覽(黒澤孫四郎譯) 二六七 東京繁華一覽 二六八 牛店雜談(安樂樂鍋(假名垣魯文) 二六九 西洋料理通(假名垣魯文) 二七〇 今昔較(岡三慶) 二七一 東京開化繁昌誌(萩原乙彦) 二七二 東京開化繁昌誌(高見澤茂) 二七三 服製年中請負仕様書(鈴木篤右衛門) 二七四 畫本大坂新繁昌誌(田中内記) 二七五 怪化百物語(高島藍泉) 二七六 西京繁昌記(増山守正) 二七七 弄玉集(宇津木信夫)

譯 三八 銀街小誌(模盆子) 三九 東京流行細見記(清水市次郎編) 四〇 洋式婦人束髮法(村野徳三郎) 四一 横濱吉原細見記(佐野屋富五郎) 四二 横濱新誌(川井景一) 四三 俗話選集(明治文化全集編輯部編) 四四 横濱お婆都々逸 四五 明治初期風俗年表

第二十卷 文明開化篇

三六 文明開化(加藤祐一) 三七 開化の入口(横河秋濤) 三八 開化のはなし(辻弘想) 三九 開化自慢(山口又一郎) 四〇 開化問答(小川爲治) 四一 寄合ばなし(榊原伊裕) 四二 明治の光一名高橋政史遺話(石川富太郎編) 四三 舊習一新(増山守正) 四四 文明開化評林(岡部啓五郎編) 四五 文明問答(松田敏定) 四六 開化本論(吉岡徳明) 四七 文明開化雜纂 四八 童戯百人一首(總生寛) 四九 日本開化詩(平山果、宮内貫一編) 五〇 開化世相の裏表 五一 文明開化文獻年表

第二十一卷 社會篇

五二 高島炭坑問題 五三 社會論策(酒井雄三郎) 五四 日本之社會軋轢并救濟法(下村房次郎) 五五 社會外の社會機多非人(柳瀬勲介、權藤震二編) 五六 日本の勞働運動(片山潜、西川光二郎) 五七 土地均享人類の大權(宮崎民藏) 五八 日本社會主義史(石川旭山編、幸徳秋水補) 五九 現時の社會問題及社會主義者(山路愛山) 六〇 社會問題雜纂 六一 平民新聞抄 六二 社會文獻年表

第二十二卷 雜史篇

六三 耶蘇結末記 六四 樺太評論(佐田白茅) 六五 征韓評論(佐田白茅) 六六 征韓論の舊夢談(佐田白茅) 六七 林有造氏舊夢談(坂崎斌) 六八 ゲラント氏見ヨング氏筆記琉球事件 六九 琉球處分提綱(遠藤達、後藤敬臣) 七〇 明治十三年記事本末 七一 國會開設論者蜜談探開書 七二 北海廻瀾錄(原田持三編) 七三 ロスレル氏答議 七四 無類保護三菱社内幕秘開録(師岡國編) 七五 近事奇談内幕話(渡井新之助) 七六 明治十六年各政黨盛衰記(酒井忠誠) 七七 薩長土肥(小林雄七郎) 七八 政黨評判記(利光鶴松) 七九 朝鮮國遣使ニ付閣議分裂事件(官島誠一郎) 八〇 竹内綱自叙傳 八一 雜纂 八二 雜史纂文獻年表

第二十三卷 (イ)軍事篇

八三 兵士懷中便覽(福澤諭吉) 八四 山田顯義「建白書」(山田顯義) 八五 軍制綱領(陸軍省編) 八六 軍人訓誡(山縣有朋) 八七 陸軍省沿革史(堀内文次郎平山正)

(ロ)交通篇

八八 譯選明鑿 八九 新增大日本船路細見記(加藤祐一補訂) 九〇 選信史要(選信省編) 九一 軍事年表 九二 交通年表

第二十四卷 科學篇

九三 寫眞鏡國説(ダグロン著、柳川春三譯) 九四 天變地異(小橋篤次郎) 九五 合密局開講之説(ハラタマ述、三崎嘯輔譯) 九六 西洋開拓新説(緒方正譯) 九七 西洋家作難形(マルレン著、村田文夫、山田貢一郎譯) 九八 航海夜話(ヒツチンゲトン著、西江合主人譯) 九九 防雷鏡略説(明石博高、進竹岡友仙記) 一〇〇 農業三事(津田仙) 一〇一 物理了案(宇田健齊) 一〇二 大森介城古物編(モールス) 一〇三 動物進化論(モールス述、石川千代松著) 一〇四 百工開源(石川千代松) 一〇五 腦髓生理精神啓微(英秀三) 一〇六 精神病者の書慮(英秀三) 一〇七 蘭嶋(窪田昌) 一〇八 科學關係文獻年表

全集

新井白石全集 新井君美 (國書刊行會本第一期)

(六) 〇三 五

- 第一 一 藩翰譜
- 第二 二 藩翰譜續編(近藤吉左衛門等)
- 第三 三 折たく紫の記 四 新井家系 五 岩松家系附錄序説 六 古史通 七 古史通或門 八 讀史餘論 九 畿内治河記 一〇 奥羽海運記 一一 五十四郡考 一二 五事略 (一三) 殊號事略
- 第四 一四 外國通信事略 一五 琉球國事略 一六 本朝寶貨通用事略 一七 高野山事略 (一八) 蝦夷志 一九 南島志
- 第五 二〇 東雅 二一 東音譜 二二 同文通考 二三 朝鮮聘禮事 二四 朝鮮信使通見儀注 二五 朝鮮信使賜儀儀注 二六 朝鮮信使辭見儀注 二七 奉命教諭朝鮮使客 二八 朝鮮國信書之式之事 二九 朝鮮信使議 三〇 朝鮮聘使後議 三一 朝鮮應接記及抄釋 三二 朝鮮冠服之事 三三 國書復讞紀事 三四 以訂卷事議草 三五 坐間筆語 三六 江關筆談 三七 白雉帳 三八 西洋紀聞 三九 采覽異言

- 第五 白石先生遺文 白石先生遺文拾遺 白石詩草 白石先生餘稿 高子觀遊記 白石先生手簡 退私錄 退私錄附言 白石先生神書
- 第六 兜鬼神論 孫武兵法 孫武兵法釋副言 那須國造碑文並跋 樂對 正德年號辨 經邦典例卷之六 白石建議 將軍宣下三拾一度儀不同次第 進呈之案 元決獄考 本朝軍器考 本朝軍器考集古圖說 三人名考 進呈之案 武家官位裝束考 祭祀考 聖像考 國郡名考 六日東行程考 地名河川兩字通用考 七玉考 七樂考 七俳優考 七品革威考 七禮直垂考 五木瓜考 去學本佐錄考 七新野問答 六車服制度手記 九新近問答 合文廟遺命 白石先生學訓 八三停雲集 八三室新詩評 八天爵堂詩言 八天爵堂詩 六白石先生年譜 七白石先生著述書目並附錄

上田秋成全集 (國書刊行會本第六期)

- 第一 上田秋成小傳 二年譜 三藤雙册子 四藤雙册子脫漏 五十兩餘言 六歌鳥稻荷社獻詠和歌 七秋の雲 八去年の枝折 九餘齋文集 一〇葦芽の詞 一一文反古 一二兩月物語 一三春雨物語 一四背振翁物語 一五桐餅談 一六膽大小心錄 一七別本膽大小心錄 一八呵刈霞 一九安言 二〇漢委奴國玉金印考
- 第二 荷田氏訓讀齊明紀童話存疑 三萬葉集會說 三金砂 四金砂剩言 五古葉剩言 六歌聖傳 七冠辭考續編 八よしやあしや 元靈語通 三靈語通 三靈語通 三也哉抄 三清風瑣言

(二) 〇三 五

小野梓全集 上、下 西村貞次編 昭和一一

蒲生君平全集 岡部 精一 共編 明治四四

三島吉太郎

黒川眞頼全集 黒川眞頼 (國書刊行會本第二期)

- 第一 訂正 増補 考古畫譜 上
- 第二 同 下
- 第四 日本書紀を讀む心得 日本古典年代説 天智帝時代文學及社會文化狀況 天平

(五) 一 二 〇三 〇三 五 三 一

- 時代學及社會文化狀況 七朝綱史 八日本上古の外交 九纂輯御系圖指瑕答辨 一〇南山長松幹枝論 二長慶院非讓位辨 三天日槍歸化時代考 三蘇那島叱知來朝考 四在原業平朝臣辨 五源義仲論 六豐臣太閤略論 七天海僧正血統考 八三條內大臣行狀繪詞稿 九蝦夷八種論 一〇鎌倉大草紙考 三日本古代衣食住大意 三日本風俗説 三日本古代女子風俗 三日本古代婦人粧飾
- 第五 二後宮篇 三勳位考 三總追捕使起原考 元日本佩刀沿革 元日本民法大意 三商法篇 三古量考 三崇神帝以前無年貢考 三天皇禮冠考 三御冠沿革考 三菊御章考 三御諱沿革考 三天皇御華押考 三聖德太子御像辨 元東大寺正倉院藏子日動及子日考證 三東大寺藏物帳考證 三工藝志料費 三大馬築小馬築考 三穴居考 三上代石器考 三日本人口總計考 三上朝袋考 三古代四季考 三八久米舞考 三俳優考 三遊女考 三米由來説略 三麥由來説略 三大豆由來説略 三烟草山來説略 三煙草傳來説略 三茶種子山來説略 三山林山來説略 三本教大意 三道の大意 三學問の本末 三一大和魂説 三三君臣説 三祭政記略 三俗祭説略 三政事刑事の本義 三工藝者稱帥説 三日本學問説 三日本文學説 三日本文學大要 三物語繪詞説 三日本言語説 三支那文字傳來考 三日本書籍刊考 三假字新説 三五色葉歌作者考 三今樣起原沿革 三詠歌獎勵説 三和歌所考 三歌語解説 三日本文典大意 三日本小文典 三日本文典初歩 三日本文章法初歩 三詞の葉打聽 三玉の緒變格辨 三もこそ問答 三詞の八衛講義 三八字音問答案
- 第六 三本教大意 三道の大意 三學問の本末 三一大和魂説 三三君臣説 三祭政記略 三俗祭説略 三政事刑事の本義 三工藝者稱帥説 三日本學問説 三日本文學説 三日本文學大要 三物語繪詞説 三日本言語説 三支那文字傳來考 三日本書籍刊考 三假字新説 三五色葉歌作者考 三今樣起原沿革 三詠歌獎勵説 三和歌所考 三歌語解説 三日本文典大意 三日本小文典 三日本文典初歩 三日本文章法初歩 三詞の葉打聽 三玉の緒變格辨 三もこそ問答 三詞の八衛講義 三八字音問答案

近藤正齋全集 近藤守重 (國書刊行會本第一期)

- 第一 一近藤守重事蹟考(村長元長編) 二幽因後の近藤重藏(淺見安左衛門、東野喜一郎共編) 三外蕃通書 四邊要分界圖考 五安南紀略稿 六亞媽港紀略稿
- 第二 七正齋書籍考 八右文故事 九右文故事附錄 一〇右文故事餘談
- 第三 二好書故事 二正齋書籍考卷三 二三牙籤考 二四錢錄

(三) 〇三 五

橘守部全集 橘守部 (國書刊行會本第八期)

- 首卷 一橘守部全集目錄 二橘守部全集解題 三橘守部翁小傳 四橘守部翁略年譜 五神典解

(三) 〇三 五

- 釋上に於ける橘守部翁の位置(加藤玄智) 六 橘守部翁の萬葉研究(佐々木信綱) 七 國語學史上に於ける橘守部翁の位置(保科孝一) 八 橘守部家集(橘冬照) 索引
- 第一 九 稷成道別
第二 一〇 舊事紀直日 二 難古事記傳 三 神代直話 一三 神道辨 一四 神風問答
第三 一五 稷成言別
第四 一六 萬葉集繪手 一七 萬葉集繪手別記 一八 萬葉集緊要 一九 越路の家づと
第五 二〇 萬葉集墨繩 二一 心通種
第六 二二 歷朝神異例 二三 蒙古諸軍記辨疑 二四 稷成雄語
第七 二五 神樂歌入文 二六 催馬樂譜入文 二七 伊勢物語箋 二八 土佐日記舟の直路
第八 二九 山彦册子 三〇 鏡麴比備起 三一 湖月抄別記
第九 三二 俗語考 上
第十 三三 同 下
第十一 三四 長歌撰格 三五 短歌撰格 三六 文章撰格
第十二 三七 助辭本義 三六 七 にはおは童調 三九 佐喜舞 四〇 五十音小説 四一 待問雜記 四二 待問雜記後編 四三 箱根日記稿 四四 橘の昔語 四五 齊香物語大意

突

田能村竹田全集 田能村孝憲(竹田) (國書刊行會本第五期)

- 一 竹田居士略傳 二 竹田印譜 三 屠赤瓊瑛錄 四 竹田莊師友畫錄 五 山中人饒舌 六 陪都日記 七 暫遊日記 八 花竹幽隱の記 九 葉のうらの記 一〇 黄築紀行 一一 竹田莊詩話 一二 三百活矣 一三 瓶花論 一四 填詞圖譜 一五 自畫題語前編 一六 自畫題語後編 一七 隨緣沙彌語錄 一八 竹田莊池茶訣 一九 竹田莊茶說 二〇 石山齋茶具圖譜 二一 文集 二二 詩集 二三 逸詩文鈔 二四 清麗集 二五 秋聲館集 二六 竹田布衣詞 二七 歌集 二八 書簡鈔 二九 建言書

[一] 〇三 五

空

戸田茂睡全集 戸田恭光 (國書刊行會本第四期)

- 一 御當代記 二 梨木書 三 紫の一本 四 百人一首雜談 五 俳言調 六 不求橋梨本隱家勸進百首 七 鳥之迹

[一] 〇三 五

六

伴信友全集 伴信友 (國書刊行會本第一期)

[五] 〇三 五

究

本居宣長全集 本居宣長校 明治三四—三六

- 第一 一 古事記傳 神代之部
第二 二 同 自神武天皇至仲哀天皇
第三 三 同 自應神天皇至推古天皇
第四 四 玉かつま 五 家の昔物語 六 くずばな 七 菅笠日記 八 國號考 九 眞曆考 一〇 眞曆不審考 一一 辨玉くしげ 一二 秘本たましくしげ 一三 うひ山ふみ 一四 答問錄 一五 神代正語 一六 神代紀豐華山藏 一七 天祖都城辨 一八 伊勢二宮さき竹の辨 一九 取戎概言 二〇 針狂人 二一 呵刈霞 二二 漢字三音考 二三 字音假字用格 二四 地名字音轉用例 二五 詞玉緒 二六 玉あられ 二七 續紀歷朝詔詞解 二八 大威詞後釋 二九 出雲國造神壽後釋 三〇 石上私淑言 三一 萬葉集玉の小琴 三二 古今集遠鏡 三三 新古今集美濃の家つと 三四 美濃の家つと折添 三五 鈴屋集 三六 まくら山 三七 紀見のめくみ 三八 むすひすてたる枕の草葉 三九 詩文稿 四〇 源氏物語年紀考 四一 源氏物語玉の小櫛 四二 後撰集詞のつかね緒 四三 古語拾遺疑齋辨 四四 國歌八論斥非評 四五 おもひくさ 四六 臣道
第五 四七 本居春庭全集
第六 四八 哭詞八箇 四九 哭詞通路 五〇 後鈴屋集前編 五一 後鈴屋集後編
五二 本居大平全集
五三 玉鈴百首解 五四 萬葉山常百首 五五 馬名合解 五六 稻葉集 五七 倭心三百首 五八 近世三十六人撰 五九 己未紀行 六〇 おかげまうでの日記 六一 名草の濱つと 六二 有馬日記

七 〇三 八

- 三 草まくらの日記 六 關の驛 五 藤垣内文集 六 神樂歌新釋 七 百人一首あつさ
- 六 弓古學要 九 藤垣内答問錄の一 七〇 同二
- 七 本居内遠全集
- 三 本宮神社考定 三 熊野神社神位 七 伊太郎曾三神考 七 三穗窟考 七 大地
- 主神の一則 七 妹山背山辨 七 黒鳥の考 九 丹敷浦考 八 天野告門考 八 小野小
- 町の考 八 賤者考 八 三冠帽革制考 八 後奈良院御撰何曾之解 八 條里圖帳考
- 六 和歌の浦鶴 八 七 紀伊國造職補任考 八 大襲机之考證 八 半臂羅頭考證 九 ぶち
- ごろも 九 かはらよもぎ 九 尾張濱主考 九 古學本教大意 九 古今官位指圖
- 吉 六無齋全書 林子平 明治一五
- 第一 一 海國兵談 二 三 國通覽圖說
- 第二 二 富國策 四 第一上書(明和二年)
- 第三 五 第二上書(天明元年) 六 第三上書(天明五年)
- 第四 七 父兄訓 八 兵策問答 九 坪碑圖說 二〇 和蘭船圖說 二 日月大小説 三 諸藥異言
- 二 三 飢饉ヲ豊年ニスル術

四 〇三 一〇

〇四 隨筆雜書

- 七 安齋雜考 上、下 伊勢貞丈 明治三三 (故實叢書ノ内) 和 〇三 三九
- 三 安齋隨筆 三二卷 伊勢貞丈 明治三三 (故實叢書ノ内) 和 〇三 三九
- 三 字下人言 松平定信 昭和三 和 〇四 三六
- 七 海 錄 山崎美成 大正四 (國書刊行會本第四期) 一 〇三 五

- 五 甲子夜話 第一一三 松浦清 明治四三 (國書刊行會本第二期) 三 〇三 五
- 矣 甲子夜話續篇 第一一三 松浦清 明治四四 (國書刊行會本第二期) 三 〇三 五
- 七 碩鼠漫筆 黒川春村著 黒川眞道校 明治三八 遺稿 一 〇四 六
- 友 譚 海 津村正恭 大正六 (國書刊行會本第六期) 一 〇三 五
- 充 貞丈雜記 六卷 伊勢貞丈 明治三四 (故實叢書ノ内) 和 〇三 三九
- 合 松屋筆記 第一一三 高田與清 明治四一—四二 (國書刊行會本第一期) 三 〇三 五
- △ 柳菴雜筆 第一一四 栗原信充 和 四 〇四 一九

- △ 一年有半 中江篤介 明治三四 一 〇四 一六
- △ 伊藤公直話 伊藤博文述 小松綠編 昭和一一 一 〇四 二〇
- △ 續南蠻廣記 新村出 大正一四 一 〇四 二三
- △ 細熊手 小笠原長生 大正一二 一 〇四 一五

- △ 〔植松信造〕遺稿 植松信造著 佐々木行忠編 大正一三 一 〇四 七

隨筆雜書

七	橋惣文集	二卷 雨森誠清(芳洲)著 丘思純編 (珍書同好會本)	和	一	〇四	二二
八	篁村遺稿	上、中、下 島田重禮(篁村) 大正七	和	三	〇四	二〇
九	鐘情集	上、下 郡岡良弼編 明治三七	和	二	〇四	三三
一〇	逍遙遺稿	正、外 中野重太郎著 宮本正貫共編 明治二八 小柳司氣太編	和	一	〇四	二七
一一	蒼海遺稿	副島種臣著 副島道正編 明治三八	和	一	〇四	三〇
一二	藏野存稿	建部遜吾編 昭和一〇		一	〇四	二
一三	高井運吉遺稿集	高井裕吉編 昭和六		一	〇四	五
一四	立花文學士遺稿	立花銑三郎著 正木直彦編 明治三六		一	〇四	八
一五	中州文稟第二集	三島毅(中州) (明治三二序)	和	一	〇四	二五
一六	泥舟遺稿	高橋精一(泥舟)著 安部正人編 明治三六	和	一	〇四	二九
一七	天心遺稿	赤沼金三郎(天心)著 高橋作衛編 明治三五		一	〇四	一七
一八	桃園漫筆	大村仁太郎 明治四〇		一	〇四	一一
一九	楓江遺稿	嶺田雋(楓江)著 山田烈盛編 明治四五	和	一	〇四	二八
二〇	芳舟遺稿	川村弘 大正二		一	〇四	二二
二一	豐城存稿	上、下 星野恒 大正二	和	二	〇四	一一

二二	豐城遺稿	星野恒 大正二	和	一	〇四	二六
二三	山田達夫遺稿七種	山田達夫 (昭和二序)	和	一	〇四	三三

〇

二四	飛鳥時代に於ける造山の源流に就いて	小杉一雄 (寶雲[第一三册別刷])		一	〇四	三九
二五	伊藤侯演說集	第三 伊藤博文		一	〇四	三四
二六	極論時事封事	古賀煜寫	和	一	〇四	四一
二七	清行卿一千年祭記念	三善焯彦 大正八	和	一	〇四	三七
二八	古事玄義	田中義廉著 上原東一郎編 明治二二		一	〇四	一四
二九	時局に對する佐々木所長の講話附皇典講究所記事	佐々木高行 明治三七		一	〇四	四〇
三〇	稱鴈集	狩野教授還曆記念會編 昭和三	和	一	〇四	九
三一	如蘭社話	前篇卷三八—五〇 郡岡良弼等編 明治四三—大正一	和	一三	〇四	二四
三二	如蘭社話	後篇卷一一—二〇 郡岡良弼等編 大正二—五	和	二〇	〇四	二四
三三	朕が作戦	カイゼル著 クリニール佛譯 樋口麗陽重譯 大正四		一	〇四	三一
三四	帝國之前途	大谷光瑞 昭和四		一	〇四	三三

- 二五 東洋學術種本 島田繁三郎編 明治一八
- 二六 戸田の名物 大森金五郎稿
- 二七 内地に於ける蝦夷の末路 喜田貞吉 昭和四
- 二八 南淵書 上、中、下 南淵靖安 大正一一
- 二九 原田氏の「我神話傳説に顯はるゝ和邇に就て」に就て 堀維孝 大正一二
- 三〇 松井博士古稀記念論文集 松井博士古稀祝賀會編 昭和七
- 三一 明治戊辰感想錄 文明協會編 昭和三
- 三二 歷史上より見たる日本國民性 大森金五郎
- 三三 〔雜記帳〕 (備忘録ノ如キモノ) 大森金五郎稿

〇五年鑑雜誌

年鑑

- 三四 時事年鑑 大正一一、大正一四 時事新報社 大正一〇一三
- 三五 世界年鑑 第七回 伊藤祐毅 大正二

雜誌

- 二六 海外新聞
- 二七 學藝 一―三號 學藝社 明治二一―二二
- 二八 國學院雜誌 五卷三號―四三卷六號 國學院大學 明治三二―昭和一二
(缺 五卷七號 九卷七―一二號 一〇卷一―六號 一二卷四號 二二卷六、九號 二三卷五號)
- 二九 國本 一一卷二、六、七號 一二卷七、一二號 一三卷一二號、一四卷一號―
一六卷六號 國本社 昭和六一―一
- 三〇 斯文 一編一號―一八編一二號 斯文會 大正八―昭和一一
(缺 一四編七―一二號)
- 三一 春 秋 一卷五、六、八、九號 二卷一、三、五、七號 春秋書院 昭和二―三
- 三二 新聞雜誌 四―七號 日新堂 明治四
- 三三 第一公論 二卷一號―三卷七號 第一公論社 大正一一―一二
- 三四 大正公論 一卷一、三、五―八號 二卷一―三號 三卷一、三、四號、四卷三
號 帝國在郷軍人會本部 大正一〇―一三

二五 大 東 二四卷六、七、九號 二九卷一二號 三一卷四號 (東亞之光ノ改題)
東亞協會 昭和四一〇

二六 太 陽 二卷二、二二號 三卷一、一三、二三、二四號 四卷一、三、八號
八卷八號 一〇卷九號 一三卷九號 一七卷五號 二二卷一四號 二五卷一、一四號
三〇卷一號 三一卷八號 三三卷二號 博文館 明治二九—昭和二

二七 智 仁 勇 二三八一—三一〇號 智仁勇社 大正一〇—昭和三
(缺 二四〇、二四七—二五〇、二五四、二五八、二六〇、二七二、二七三、二八四、
二八七、二八八、九〇、九一、九四、九五、三〇八號)

二八 東亞研究 一卷一、二號 二卷一、三一〇號 三卷一號—五卷一一號 六卷二—五、七
—九一〇號 七卷一號—八卷三號 明治四四—大正七 東亞學術研究會

二九 東亞之光 二卷一二號—二四卷四號 東亞協會 明治四〇—昭和四
(缺 三卷一、二、七、一〇號 五卷九號 一六卷一二號 一七卷九號—一八卷六一—二
號)(以下「大東」ト改題)

三〇 日本及日本人 五五四、五九一、六五二、七五四、七六六、七七〇、七八〇、七八七
七九二、七九九、八〇五、八〇八、八二二號(明治四四—大正一〇) 三九、四六、五八
六七、八一、八九、一〇一、一一〇—一一三、一一五、一四三、一四四號(大正一三—
昭和五) 政教社

三一 日本大家論集 二、八一—二編 博文館 明治二〇—二一

三二 奉 公 二八五—三九八號 奉公會 大正一五—昭和一一
(缺 八九—九三、九五、三〇六、三一八、三三六、三五〇、三五三、三五四、三七一
號)

三三 房總及房總人 三卷九號—一〇卷一號 房總社 昭和五—一一
(缺 七卷二號)

三四 神道學雜誌 八、九號 昭和五 神道學會

三五 佛教學雜誌 一卷一號—三卷一〇號 佛敎文學會 大正九—一一

三六 佛書研究 二六、二七、三二、三七、三八、四二—四四、四六—五一、五三、五五、五六
五九號 佛書研究會 大正六—八

三七 東方佛敎 二卷一—一二號 東方書院 昭和二

三八 教育時論 七七〇、七七二、七七四、七七七、七七九、一三八二—一三八五、一三八七
—一四四六、一四五四、一四五六、一四八五、一四八八、一四八九、一四九
三、一四九六—一五一二、一五一四、一五一六、一五一七、一五二一—一五
二八、一五三〇號 明治三九—昭和二
(缺 一三九四、一三九八、一四三六、一四三九、一四四〇、一四九九、一五〇六、一
五〇九—一五一號)

三九 千葉教育雜誌 六五、八二、八四、八六、九四、九五、九九、一〇五號 千葉教育會



明治三〇—三四

一五〇 帝國教育 三六五—六九八號 帝國教育會編

二九〇五二 一

(缺號アリ) 大正元—昭和一一

一五一 哲學年誌 二、四、五卷 早稻田大學文學部編 昭和七—一〇

三〇五二 六

一五二 圖書館雜誌 五三—二〇八號 日本圖書館協會 大正二—昭和一一

一二〇五二 四

(缺 六三、七〇、七二、七五、七六、八一、八二、九四、一〇九、一一一、一二二—一二五、一二二號)

一五三 日本教育 三卷一、四—一二號 四卷一、四、五、七、八、一一號 五卷一、七—九號

八〇五二 二

六卷一、三、七—一二號 七卷二、三、六—九、一二號 八卷一、三—六、一〇—一二號 九卷一、四、六、七、一〇、一二號 南郊社 大正一—三—昭和五 大正一—三—昭和五

〇

一五四 軍事史研究 一卷一—六號 軍事史學會 昭和一一

一〇五三 一

一五五 日露戰役 二、五、八、九號 富山房 明治三七

一〇五三 二

〇

一五六 漢學 一編一、七號 二編一—四、七號 育英社 明治四三—四四

一〇五五 九

一五七 國語と國文學 一卷六號 二卷五號 三卷二號 六卷七號 國語と國文學編輯部編

一〇五五 六

大正一—三—昭和四

一五六 國歌 二〇、三六號 明治四一—四二

一〇五五 四

(缺 二九、三〇、三五號)

一五九 國漢 九—一四號 國漢研究會編 昭和七—一〇

一〇五五 八

(缺 一三號)

一六〇 帝國文學 一卷一、七號 二卷三、五、八號 四卷七—九號 五卷一、二號 七卷

一八〇五五 二

一一號 八卷一、七、九—一二號 九卷一號—一卷四號 一一卷六—一二號 一二卷

一一—一二號 一三卷一—三、七號 二二卷六號—二二卷一二號 帝國文學會 明治二八

—大正五

一六一 筆華 一—五號 文園社 明治二二—二三

一〇五五 七

(「文園」ノ改題)

一六二 文園 二—一二號 文園社 明治二—一二二

一〇五五 七

一六三 文學叢誌 一—一〇號 萬春堂 明治一八—一九

一〇五五 五

一六四 歴史と國文學 四卷一、三—六號 五卷一—三號 七卷二號 九卷三—六號 一〇卷

五〇五五 三

一號—一七卷二號 太平洋社 昭和六—一二

一六五 早稻田文學 一卷二—七號 二卷一號—四卷六號 早稻田文學社 昭和九—一二

一二〇五五 一

〇

一六六 帝國農會報 一六卷三—八號 一七卷三—一二號 帝國農會 大正一五

二〇五七 一

(缺 一六卷六號 一七卷四、五號)

一六七 書苑 一卷一號—四卷一〇號 法書會 明治四四—大正四

四〇五八 一

年鑑雜誌 雜誌

七七

- 一六 鎌倉 倉 一卷一—五號 鎌倉右文社 大正一五
- 一六 鎌倉 倉 一卷一、二號 二卷三—五號 三卷一號 鎌倉文化研究會 昭和一〇—一二
- 一七 考古 古 一編一—七號 考古學會 明治三三
(考古學會雜誌「ノ改題」)
- 一七 考古 古 界 一篇一號—八篇一二號 考古學會 明治三四—四三
(以下「考古學雜誌」ノ改題)
- 一七 考古學會雜誌 一編一號—三編四號 考古學會事務所 明治二九—三三
(以下「考古」ノ改題)
- 一七 考古學雜誌 一卷一號—二卷一二號 考古學會編 明治四三—昭和一一
(「考古界」ノ改題)
- 一七 國史學 一—二九號 國史學會 昭和四—一一
(缺 二三號)
- 一七 最新國史教育 一卷一號—三卷六號 國史教育會 昭和一〇—一二
- 一七 古蹟 一卷一號—二卷五號 帝國古蹟取調會 明治三六
(缺 一卷五號)
- 一七 史苑 一卷一號—一〇卷三號 立教大學史學會編 昭和三一—一一
(缺 七卷一—六號)

- 一六 史學會 一卷一、六、七、九號 史學會 明治三二
- 一六 史學會雜誌 一—三七號 史學會 明治二二—二五
(以下「史學雜誌」ノ改題)
- 一六 史學雜誌 四編一號—四七編一二號 史學會 明治三七—昭和一一
- 一六 史學雜誌總目錄 自第一編 至第二〇編 史學會 明治四三
- 一六 史學雜誌索引 自第一編 至第三〇編 史學會 大正一〇
- 一六 史學雜誌總索引 自第一編 至第四〇編 史學會 昭和四
- 一六 史觀 一—九冊 早稻田大學文學部編 昭和六一—一一
- 一六 下野史談 一卷一號—六卷六號 七卷一、二、六號 八卷一—六號 九卷一、二、三、
五號 一〇卷二號—一三卷六號 下野史談會 大正一三—昭和一一
(缺 一卷四號 二卷三號 三卷一號 五卷四號 一〇卷三號 一一卷五號 一二卷二、
四、五、六號 一三卷一、二、四號)
- 一六 史林 一卷一號—二卷三號 史學研究會編 大正五—昭和一二
- 一六 史林總目索引 自第一卷 至第二〇卷 昭和一〇
- 一六 中央史壇 一卷一號—一四卷六號 國史講習會 大正九—昭和三
- 一六 東北文化研究 一卷一號—二卷四號 東北帝國大學法文學部
部內史料調查部編 昭和三一—五

- 一九〇 民族と歴史 一卷二號—三卷三號 一〇卷四號 日本學術普及會 大正八—一二
(缺 一卷四號)
- 一九一 研究 歷史教育 一卷一號—一卷一〇號 歷史教育研究會 大正一五—昭和一二
(缺 一卷五號 三卷一二號 七卷九號)
- 一九二 歷史公論 一卷一、二號 二卷一—八、一〇 一二號 三卷一—九、一二號 四卷一—
八二〇—一二號 五卷一—一二號 六卷一號 雄山閣 昭和七—一二
- 一九三 歷史地理 一卷一號—六八卷六號 日本歷史地理學會 明治三二—昭和一一
(缺 一二卷七—一二號 三八卷一—六號 四二卷一—六號 四四卷一—六號 五五卷
一一六號 六一卷一—六號 六二卷一—六號)
- 一九四 歷史地理索引 自一卷 日本歷史地理學會編 昭和八
至六〇卷
- 一九五 歷史地理索引 自六一卷 日本歷史地理學會編
至六六卷
- 一九六 歷史地理索引 自一卷 日本歷史地理學會編 昭和一一
至六六卷
- 一九七 賴朝會雜誌 一一—一八號 賴朝會 昭和五—一一

〇六 學會會報

- 一九八 朝風 第三一號 第一高等學校瑞穗會編 昭和三
一〇六二 二

- 一九九 「一高共濟部」部報 第一、七、八號 第一高等學校共濟部編 昭和三一—八
一〇六 二二
- 二〇〇 「一高同窓會」會報 第六、一九號 第一高等學校同窓會編 昭和二—七
一〇六 二五
- 二〇一 大塚先儒墓所保存會報告書 同會編
一〇六 一七
- 二〇二 櫻友會會報 同會編 大正一一
一〇六 二四
- 二〇三 學士會月報 第三八一、三八三、三九七、三九八、四三三、四三九、四五〇
四五一、四五五、四五八、四六〇、五〇〇、五〇一、五一—、五三〇、五三七、五三八
五三九、五四三、五五〇—五九七號 同會編 大正八—昭和一二
(缺 第五七三、五九〇號)
- 二〇四 學士會略史 同會編 昭和三
一〇六 二〇
- 二〇五 學習院輔仁會雜誌 第七〇—七二、七六、七八、八二—八八、九三—九六、一〇三—
一三四號 同會 明治三九—昭和三
(缺 第八七、一〇七、一〇八、一一八、一二二、一二七—一三〇 一三二號)
- 二〇六 元寇弘安役六百五十年紀念會紀要 同會編 昭和九
一〇六 六
- 二〇七 建武中興六百年紀念會事業報告 同會編 昭和九
一〇六 一
- 二〇八 孔子祭典會々報 第一—一二號(第二、四、六號缺) 同會編 明治四〇—大正八
一〇六 一六
- 二〇九 國史回顧會紀要 第一—三一號(第一六號缺) 同會編 昭和四—一一
一〇六 九
- 二一〇 鈴屋祭記念 廣島史神祭典會編 明治四〇
一〇六 一八

三一	〔第一高等中學〕校友會雜誌 第一一八號 同會編 明治二三—二四	一	〇六	一三
三二	〔千葉開府〕八百年祭記 千葉開府八百年記念祭協賛會編 昭和二	一	〇六	五
三三	中等學校 教員協議會議事及講演速記録 中等教育研究会編 大正三	一	〇六	二
三四	帝國教育會講演集 同會編 明治四一	一	〇六	三
三五	〔東京帝國大學文學部學友會〕會報 創刊號、昭和三年度、昭和五年度 同會編 昭和三一六	一	〇六	三三
三六	東斌學堂學則	一	〇六	二七
三七	なよ竹 第一九號 實踐女學校編 昭和五	一	〇六	二八
三八	日本圖書館協會講演集 同會編 昭和一一—一三	一	〇六	一九
三九	乃木會講演集 第一、二、三回 同會編 大正三一五	一	〇六	一五
四〇	花と實 第九號 橫濱實科高等女學校學友會編 大正七	一	〇六	三〇
四一	松井博士 古稀祝賀記 念誌 松井博士古稀祝賀會編 昭和七	一	〇六	四
四二	松風 第一〇號 私立大成中學校大成會雜誌部 大正六	一	〇六	二九
四三	〔宮城縣立仙臺第一中學校〕學友會雜誌 第三七號 同會編 大正一二	一	〇六	三二
四四	明治聖德記念學會々報 同會編 大正一二	一	〇六	二二
四五	明治聖德記念學會紀要 第一九卷 同會編 大正二	一	〇六	一一

三六	護良親王六百年記念講演集 鎌倉宮奉贊會編 (昭和一二序)	一	〇六	二二
三七	山鹿素行子法會及乃木大將追悼會記事 素行會編 大正一	一	〇六	一〇
三八	ゆふづ、 第五號 國學院大學豫科會編 大正一一	一	〇六	三一
三九	早稻田學報 第三七五、三七八、三八〇、三八五、三八九、三九〇、三九四、四二二、四二八、四四七、四六六、四六九、四七〇、四七一—五〇一號(第四七五、四八六、四八七號缺) 早稻田大學校友會編 大正一一—昭和一一	二	〇六	一四
四〇	〔早稻田教育會〕會誌 同會編 昭和二	一	〇六	二六

三三 會員名簿

- 一〔學習院輔仁會〕客員名簿(明治四三、四四) 同會 二册
- 二考古學會會員名簿(大正一一、昭和五) 同會 二册
- 三史學會會員名簿(昭和五) 同會
- 四〔史友會〕會員名簿(昭和一一〇) 同會
- 五帝國文學會會員名簿(明治三八) 同會
- 六〔東京帝國大學文學部〕卒業者名簿(昭和六) 東京帝國大學文學部學友會
- 七日本歷史地理學會會員名簿(明治四一) 同會

一東 〇六 三四

〇七 神奈川縣郷土志料

三三	大島家史と其郷土誌	大島正徳編	昭和八	一	〇七	六
三三	小田原と箱根	日本歴史地理學會編	明治四二	一	〇七	三
三四	小田原の史實と傳説	第三、四、五輯 松隈匡輔編	大正九一—一〇	一	〇七	三
三五	神奈川縣を通ずる東海道の今昔	佐藤善治郎	昭和一一	一	〇七	一
三六	かまくら	大森金五郎	昭和八	一	〇七	二
三七	鎌倉舊蹟地誌	山名留三郎	明治二八	一	〇七	三
三八	震災鎌倉國寶帖	神奈川縣編	大正一四	一	〇七	八
三九	鎌倉社寺めぐり	相澤善三	昭和一〇	一	〇七	五
四〇	鎌倉大觀	佐藤善治郎	明治三五	一	〇七	四
四一	鎌倉大佛略記	轉法輪行念	明治三四	一	〇七	三六
四二	江の島鎌倉名所記	明治二三		一	〇七	八
四三	改正 鎌倉名所記	明治二二		一	〇七	一五
四四	函 山誌	松井鏡三郎	明治三七	一	〇七	一六

四五	奇僧風外道人	松本起	昭和一〇	一	〇七	二
四六	史蹟調査報告 第二	小田原有信會編	昭和六	一	〇七	三四
四七	下曾我田島郷土誌	同誌編纂會編	昭和三	一	〇七	一
四八	逗子案内誌附江島鎌倉案内	高田乙三	明治三六	一	〇七	一〇
四九	相州鎌倉長谷寺觀世音略緣起			一	〇七	三七
五〇	地質學より見たる江ノ島岩屋	脇水鐵五郎	昭和一〇	一	〇七	三五
五一	長興山妙本寺志	刊		一	〇七	三九
五二	箱根	日本歴史地理學會編	明治四三	一	〇七	四
五三	箱根大觀	佐藤善治郎 森丑太郎共著	明治四二	一	〇七	九
五四	三浦大觀	佐藤善治郎	明治四一	一	〇七	七
五五	吉田新田古圖文書	石野瑛	昭和三	一	〇七	一七
五六	義經腰越狀	文政三		一	〇七	四〇

五七	江島一望圖	刊		一枚	〇七	二六
五八	江島鎌倉道中記	景齋英壽畫	刊	一枚	〇七	三三

- 二五九 江之島全圖 桂堂玉華畫 明治二三 一枚 〇七 二四
- 二六〇 海陸御固御場所附 刊 一枚 〇七 一九
- 二六一 鎌倉繪圖 刊(常陸屋伊三郎板) 一枚 〇七 三〇
- 二六二 鎌倉繪圖 刊(大阪屋孫兵衛板) 一枚 〇七 二九
- 二六三 〔古鎌倉圖〕(原題缺) 近藤瓶城編 明治一五 一枚 〇七 二一
- 二六四 鎌倉惣圖江之島金澤遠景 雪頁畫 刊 一枚 〇七 二三
- 二六五 鎌倉鶴岡八幡宮境内真景圖 田村茂太郎 明治三五 一枚 〇七 二八
- 二六六 鎌倉長谷觀音境内全圖 巴渡(東海會主人)畫 明治二八 一枚 〇七 三一
- 二六七 相州江之島全圖 刊 一枚 〇七 二五
- 二六八 相州鎌倉極樂寺村繪圖 明治四一寫 (明治四十一年八月極樂寺所藏ノ地圖ヲ模寫セシム 南應) 一枚 〇七 二〇
- 二六九 相州藤澤山遊行寺境内諸堂社畧繪圖 刊 一枚 〇七 二七
- 二七〇 武陽金澤八景略圖 梅素齋畫 刊 一枚 〇七 二三
- 二七一 信仰叢書 國書刊行會編 大正四 (國書刊行會本第四期) 一 〇三 五
 - 一 寶鏡抄(釋宥法) 二 玄旨壇秘抄 三 了義箭(野呂日講) 四 破鳥鼠論(野呂日講) 五 傳
 - 三 田問答詰難(野呂日講) 六 御袖下 七 法要章 八 天照理(高柳信之) 九 神道鳥傳枝除抄(賀茂規清) 一〇 鎮宅靈符緣起集說 二 太上惠民甲庚秘靈(大江匡弼) 三 修仙靈要

一〇 神祇宗教

二七三 神佛分離史料 上、中、下 村上專精等編 大正一五—昭和二

神祇

- 二七三 伊勢兩宮御傳記 清水廣景 明治二四 一枚 一〇 四六
- 二七四 越中國殖生八幡緣起并願書 寫 一枚 一〇 一九
- 二七五 春日大宮若宮御祭禮圖 上、下 (直保二序) 和 一枚 一〇 三三
- 二七六 神まうで 鐵道院編 大正八 一枚 一〇 五
- 二七七 金鶏の光 久米印武 明治四三 一枚 一〇 四五
- 二七八 皇典講究所五十年史 同所編 昭和七 一枚 一〇 七
- 二七九 古語拾遺 齋部廣成 大正一五 影印 (尊經閣叢刊) 一枚 一〇 三
- 二八〇 金刀比羅宮記 金刀羅宮社務所第一課編 明治四五 一枚 一〇 二

神祇宗教 神 祇

錄(大江匡弼) 三 北辰妙見菩薩靈應編(大江匡弼) 二 不二行者食行錄(食行身祿翁)

一五 富士講唱文獨見秘書 一六 鈴懸衣續編(釋智行)

二八一	祭式摘要	木野戸勝隆	明治一七	和	一〇	一八
二八二	祭天古俗説辨義	宮地嚴夫	明治二五	和	一〇	四九
二八三	三元集	寫		和	一〇	三六
二八四	參考熟田大神宮縁起	伊藤信民	(明和六序)	和	一〇	二八
二八五	三道三欲昇降圖説	大國隆正(野々口隆正)	昭和五	和	一〇	三四
二八六	神學承傳記	岡田正利(譽齋)	刊(「幼學指要」=合本)	和	二〇	一六
二八七	神祇史の研究	宮地直一	大正一三	和	一〇	六
二八八	神祇道と信教の自由	山口鏡之助	昭和五	和	一〇	四八
二八九	神璽辨	多田義俊	寫	和	一〇	三〇
二九〇	神道天瓊矛記	井澤長秀(蛸籠子)	享保五	和	一〇	三三
二九一	神道關係目錄	刊本之部 大倉象馬	昭和五	和	一〇	三五
二九二	神道五部書	天、地、人 度會延佳註	明治六	和	一〇	三二
二九三	神道叢書	中島博光 大宮兵馬共編	明治二九	和	一〇	一〇
		第一 一 神道五部書説辨卷之一(吉見幸和) 二 大嘗會便蒙(荷田在滿) 三 神道大意講談(吉川惟足) 四 廿一社記(北島親房) 五 神道明辨(度會常彰) 六 白川家至譜 七 神道問答(齋藤彦麿)				
		第二 八 神道五部書説辨卷之二(吉見幸和) 九 古事記裏書(卜部兼文) 一〇 戎衣神拜考(小山田				

與清) 二 方術原論(伴信友) 三 吉田家系譜 一 杉山神社神壽歌釋(黒川春村)
 四 大耶麻騰沙汰文(立石垂顯)

二九四

神道叢説 國書刊行會編 明治四四 (國書刊行會本第二期)

一 神道由來記(卜部兼直) 二 神道簡要(度會家行) 三 神道大意(吉田兼俱) 四 日本紀神代卷奥書(船橋國賢) 五 神道傳授(林道春) 六 三輪物語(熊澤伯繼) 七 神宮續秘傳問答(出口延佳) 八 依勸續並高年申加階狀(河邊精長) 九 神道大意註(吉川惟足) 一〇 神道四品緣起(橋三喜) 一一 神家常談(眞野時綱) 一二 藤森弓兵政所記(山崎嘉) 一三 持授抄(山崎嘉) 一四 正親町公通御口訣 一五 吉見宅地書庫記(源誠三) 一六 學規の大綱(大山爲起) 一七 十二支調傳(釋松雲) 一八 與中村垣亭書(谷重遠) 一九 答井澤長秀書(谷重遠) 二〇 神道天瓊矛記(井澤長秀) 二一 玉籤集(玉木正英) 二二 三種神器秘傳(跡部良顯) 二三 神道問答(伴部安崇) 二四 神道初傳口授(伴部安崇) 二五 神道大意(若林進居) 二六 神道學則日本魂(松岡仲良) 二七 神道(谷川士清) 二八 日本學則(上月信敬) 二九 神學納涼問答(小野高潔) 三〇 神路の平引草(増穂賢) 三一 中臣稔再八箇一箇之傳(増穂賢) 三二 神道秘傳抄 三三 神道指要(榮名井廣聰) 三四 神學一口傳 三五 神代卷獨見(伊勢貞丈) 三六 三社託宣考(伊勢貞丈) 三七 神道正統記(藤中溪) 三八 吉田家記文(鹽田兵庫) 三九 神祇伯家學則 四〇 神道通國辨義(森昌胤) 四一 神道傳來系圖(宮内昌興) 四二 神道書目集覽(鈴木行義)

二九五	神道と日本文化	清原貞雄	大正一五	和	一〇	二
二九六	神道の研究	河野省三	昭和五	和	一〇	三
二九七	俗神道大意	第一一四 平田篤胤	萬延一	和	一〇	一七
二九八	國幣神社 低鹿神社略記	鈴木松太郎	大正三	和	一〇	五六
二九九	富士山 北口本宮 富士嶽神社 御縁起略	注連澤興磨	明治三六	和	一〇	五三

三〇〇 倭姫命世記 寫
三〇一 兩部神代一貫
神道立派口決鈔 第一一六 源慶安 享保四

宗 教

三〇二 足利庄鍛阿寺 山越忍空編 大正一
 三〇三 天野山金剛寺伽藍本尊靈寶目錄 刊
 三〇四 永平寺眞景 永平寺編 昭和五
 三〇五 灌頂記 明治三九 影印
 三〇六 行 歷 抄 釋圓珍 昭和九 影印 (古典保存會本)
 三〇七 近世佛教集說 國書刊行會編 大正五 (國書刊行會本第四期)
一 山家學則(釋敬光) 二 續山家學則(釋敬彦) 三 東叡山御建立旨趣並輪王寺御門室由來
 (釋孝泉) 四 大辯才天秘訣(釋淨嚴) 五 寶篋印陀羅尼經和解秘略(釋蓮體) 六 秘密安心
 往生要集(釋蓮體) 七 不動尊愚抄 八 根孔抄 九 實理學捷徑(釋澤庵) 一〇 祖心法語(齋
 藤阿能) 一一 故紙錄(橋梁子) 一二 蓋斯幾 一三 唯稱安心鏡(釋大我) 一四 勸摩念物感應
 編(釋託龍) 一五 德本行者語 一六 蓮門學則 一七 一心常安 一八 千里見草(釋日遠)
 一九 發心即到記(釋日講)

三〇八 黑本尊靈驗記 和 一
 三〇九 元興寺緣起 昭和六 影印 (古典保存會本) 和 一〇
 三〇〇 三 寶 繪 上、中、下 源爲憲 昭和一〇 影印 (尊經閣叢刊) 和 一〇
 三〇一 慈雲尊者の話 長谷實秀 昭和四 和 一〇
 三〇二 地藏菩薩發心因緣十王經 釋藏川 刊 和 一〇
 三〇三 下野國鹽原村妙雲寺本尊釋迦如來假字緣起 和 一〇
 三〇四 沙門勝道歷山水瑩玄珠碑並序 釋客海 影印 和 一〇
 三〇五 「上宮聖德」法王帝說證注 狩谷望之注 長田權次郎校 明治四三 和 一〇
 三〇六 承陽大師聖教全集 永平寺編 明治四二 和 一〇
第一 一 普勸坐禪儀 二 正法眼藏(自辨道話卷至畫餅卷)
 第二 三 正法眼藏(自全機卷至八大人覺卷)
 第三 四 覺道用心集 五 永平清規 六 永平廣錄 七 寶慶記 八 傘松道詠 九 正法眼藏隨聞記
 一〇 光明藏三昧 一一 曹洞教會修證義

三〇〇 上野國世良田山長樂寺什寶目錄 (弘化二序) 和 一

三〇一 高祖遺文錄 上、中、下 釋日明編 小川孝榮校 明治三七 和 三

三〇二 弘法大師誕生所之記 大西鳩居 明治三五 和 一

三〇三 金剛波若經集驗記 一、二 昭和九一—一〇 影印 (古典保存會本) 和 一〇

三〇四 三十三間堂緣起 尾原止靜 明治二四 和 一〇

三〇五 三 寶 繪 上、中、下 源爲憲 昭和一〇 影印 (尊經閣叢刊) 和 一〇

三〇六 慈雲尊者の話 長谷實秀 昭和四 和 一〇

三〇七 地藏菩薩發心因緣十王經 釋藏川 刊 和 一〇

三〇八 下野國鹽原村妙雲寺本尊釋迦如來假字緣起 和 一〇

三〇九 沙門勝道歷山水瑩玄珠碑並序 釋客海 影印 和 一〇

三〇〇 「上宮聖德」法王帝說證注 狩谷望之注 長田權次郎校 明治四三 和 一〇

三〇一 承陽大師聖教全集 永平寺編 明治四二 和 一〇

第一 一 普勸坐禪儀 二 正法眼藏(自辨道話卷至畫餅卷)

第二 三 正法眼藏(自全機卷至八大人覺卷)

第三 四 覺道用心集 五 永平清規 六 永平廣錄 七 寶慶記 八 傘松道詠 九 正法眼藏隨聞記

神祇宗教 宗教

三三	註釋親鸞上人全集	可西大秀 蓮沼文範共編	昭和二	九二
三三	選擇本願念佛集	本、末 釋源空 元祿九	和	一
三四	大日本佛教史 第一	村上專精等 明治三〇	和	一
三五	打聞集	昭和二 影印 (古典保存會本)	和	一
三六	唐招提寺靈像並寶物略目錄	大森覺明 明治二六	和	一
三七	唐大和上東征傳	淡海三船 昭和六 影印 (古典保存會本)	和	一
三八	吞龍上人	佐藤櫻哉 明治四一	和	一
三九	仁王と仁金剛	山越忍堂 昭和七	和	一
四〇	日蓮正宗	荒木清勇 (明治四五序)	和	一
四一	日蓮大聖人御書新集	佐藤慈豐編 昭和四	和	一
四二	日本國靈異記 卷下	釋景戒 昭和六 影印 (尊經閣叢刊)	和	一
四三	日本佛教信仰の心得	金子賀舞 昭和八	和	一
四四	法輪寺創建年代考	會津八一	和	一
四五	法華三卷書	釋日善 享和二 上一三寶限法華抄 中 缺	和	一

下ニ經王護國論

四六	眞人問	一名青年手引草 北島正晉 明治二八	和	一
四七	尾張切支丹年表	森徳一郎 昭和一〇	和	一
四八	無學祖先の臨及俣に就いて	森田義三	和	一
四九	立正安國論私記	釋日遠 寫	和	一
五〇	立正安國論新釋	長瀧智大 大正五 (日蓮主義研究叢書第七編)	和	一
五一	臨濟錄講話	釋宗活 大正一三	和	一
五二	羅馬法王史	レオホルド・フォン・ラレケ著 フエスター英譯 坂本健一重譯	和	一

〇二 哲學教育

哲學

五三	女四書	嘉悅孝子註 明治四四	和	一
五四	大日本皇道大要	高橋雄治 昭和九	和	一
五五	哲學教育	哲 學	和	一

三〇〇	鎌倉室町時代の儒教	足利行述	昭和七	一	二〇	七
三〇一	九經談總論評說	長谷川昭道	明治四二	和	二〇	一四
三〇二	馭戎慨言	上、下 本居宣長	寛政八	和	二〇	二二
三〇三	弘道館記述義	上、下 藤田彪	慶應二	和	二〇	二〇
三〇四	國體真義	杉浦重剛 白鳥庫吉共著 松宮春一郎編	昭和三	一	二〇	一一
三〇五	國體の淵源を教ふる 國生の物語	山田孝雄	昭和一〇	一	二〇	三三
三〇六	國體論附國體と中産黨	遠藤隆吉	大正一二	一	二〇	三
三〇七	古文孝經	太宰彌右衛門(春臺)點	明治一四	和	二〇	一九
三〇八	古文孝經	昭和五 影印 (古典保存會本)		一	〇三	一一
三〇九	士規七則	吉田松陰著 中島靖九郎註	刊	一	二〇	三八
三一〇	支那の孝道殊に法律上より觀たる支那の孝道	桑原隲藏		一	二〇	三四
三一〇	春秋經傳集解宣上第十	昭和七 影印 (古典保存會本)		和	〇三	一一
三一〇	春秋左氏傳校本	晉 杜預集解 秦鼎校	明治四	和	二〇	三三
三一〇	壯丁讀本	田中義一	大正五	和	二〇	三三

三〇九	祖國日本の正しさ姿	加藤玄智	昭和三	一	二〇	一八
三〇〇	聖堂略志	三宅米吉編	明治四一	一	二〇	一七
三〇一	大西郷遺訓	頭山滿評	大正一四	一	二〇	一
三〇二	忠經集註詳解	字部宮由的	文政八	和	二〇	二一
三〇三	千世乃住處	上、下 岡藤區 (天保四跋)		和	二〇	二二
三〇四	通俗格言集	根津嘉一郎	大正六	和	二〇	三九
三〇五	哲學概論	桑本嚴翼	明治四一	一	二〇	八
三〇六	天人論	黒岩周六	明治三九	一	二〇	二七
三〇七	獨語	松平乘完	大正一〇	和	二〇	一五
三〇八	日本朱子學派統表	安井小太郎編 (教育制度改革案)ニ合本		一	二〇	四一
三〇九	人間の自我は錯覺	古谷榮一		一	二〇	四三
三〇〇	武士道叢書	上、中、下 井上哲次郎 有馬祐政共編	明治三八	三	二〇	九

上卷 一 日本實訓 二 日本忠訓 三 文武問答(中江藤樹) 四 集義和書外書抄錄(熊澤蕃山)
 五 武士道(山鹿素行) 六 武教小學(山鹿素行) 七 配所殘筆(山鹿素行) 八 武訓(貝原益軒)
 九 武道初心集(大道寺友山) 一〇 士說(室鳩巢) 一一 駿台雜話抄錄(室鳩巢) 一二 武治提
 要(津輕耕道) 一三 武士訓(井澤蟠龍) 一四 明訓家訓(井澤蟠龍)
 中卷 一五 神皇正統記抄錄(北畠親房) 一六 竹馬抄(斯馬義將) 一七 文明一統記(一條兼良)

- 一八 樵談治要抄錄(一條兼良)
- 一九 兵要錄抄錄(長沼潛齋)
- 二〇 倭忠經(南部立庵)
- 二一 和俗男子訓抄錄(井澤蟠龍)
- 二二 學論抄錄(松宮觀山)
- 二三 武家須知(蟹卷齋)
- 二四 日本傳治亂要決(高山健貞)
- 二五 日本傳守行矩(高山健貞)
- 二六 淇園答要抄錄(皆川淇園)
- 二七 匡正論(本多忠壽)
- 二八 武學啓蒙(力丸東山)
- 二九 尙武論(中村忠隆)
- 三〇 武學拾粹抄錄(星野葛山)
- 三一 練兵說略抄(山鹿素水)
- 三二 武家小學(高林清明)
- 三三 武人訓抄(村井昌弘)
- 三四 武藝訓抄錄(片島武矩)
- 三五 士道要論(齋藤拙堂)
- 三六 明訓一班抄告志篇(徳川景山)

下卷
 三二 現代 大家 武士道叢論 秋山梧庵編 明治三九

三三 武士道の眞髓 副島八十六
 (「教育制度改革案」ニ合本)

三四 松影恩鏡 不章 嘉永一

三五 茗譽典型 明治四五

三六 山鹿語類 第一一四 素行會編 明治四三—四四 (國書刊行會本第二期)

和 一 二〇 四
 一 二〇 四
 一 二〇 四
 (四) 〇 三 五

- 三六 日本魂による論語解釋 學而第一 伊藤太郎 昭和一〇
- 三七 幼學指要 岡田想(寒泉) 刊
- 三八 我が日の本 大橋五郎 (大正五序)

和 一 二〇 二六
 一 二〇 一六
 一 二〇 三七

教 育

- 三九 學習院ニ實施シタル學校衛生 樫田龜一郎 (大正二序)
- 四〇 教育制度改革案 教育改革同志會編 昭和一二
- 四一 向 陵 志 第一高等學校寄宿寮編 大正九
- 四二 國史之教育 喜田貞吉 明治四三
- 四三 中學校教授要目 刊 (文部省訓令第三號)
- 四四 帝國教育會五十年史 帝國教育會編 昭和八
- 四五 帝國六大教育家 附名家叢談 全國教育者大集會編 明治四〇
- 四六 東京帝國大學圖書館復興報告 第三 同館編 大正一五
 (「東洋文庫沿革略」ニ合本)
- 四七 東洋文庫沿革略 東洋文庫編

三八八	南癸文庫概要	南癸文庫編 刊	一	二〇	三一
三八九	藩閥之將來附教育之大計	外山正一 明治三二	一	二〇	三五
三九〇	明治時代小學教育書目録	宮本宥弼 昭和七	一	二〇	二九
三九一	早稻田學園	早稻田大學編 昭和六	一	二〇	二八

三〇 政治 法制 經濟 兵事

政治

三九二	經世秘策補遺並後篇	本多利明 刊	和	一	三〇	五九
三九三	獻 可 錄	天、地、人 室直清(鳩巢)	和	三	三〇	三四
三九四	憲法制定之由來	穗積八東 大正一	一	三〇	六五	
三九五	國際法より觀たる幕末外交物語	尾佐竹猛 大正一五	一	三〇	一一	
三九六	殖 民 史	三輪徳三 (古ニユージーランド物語)ニ合本)	一	五〇	二二	
三九七	大戰後の世界	瀬川秀雄 昭和二	一	三〇	七四	

三九八 對米問題の真相及其善後策 華州日本人會編 明治四〇

三九九 帝國憲法皇室典範義解 伊藤博文 明治二二

四〇〇 南北開拓意見 刊

四〇一 日本國體論 澤田五郎 昭和七

四〇二 日本國家學談 一名公爵會談話 宮地嚴夫 明治二六

四〇三 日本の南進政策 煙山專太郎 (「普選案返上論」ニ合本)

四〇四 普選案返上論 板倉勝憲

四〇五 北地危言 大原小金吾 刊

四〇六 明治巳酉政論 成瀬正雄 明治四四 (「普選案返上論」ニ合本)

四〇七 明治庚戌政論 成瀬正雄 明治四四

四〇八 明治戊辰祭政一致の御制度 一、二、三號 山口鏡之助

四〇九 リットン報告書 英文併記 中央公論社編 昭和七

(「中央公論」第四七年第一、二號別冊附録)

法制

四一〇	監獄則刊	和	一	三〇	五五
四〇九	監獄則圖式 刊	和	一	三〇	七六
四〇八	官制沿革略史 小中村清矩 明治三三		一	三〇	七
四〇七	刑法總論(講義案) 牧野英一 明治四一		一	三〇	六三
四〇六	拷問 佐久間長敬 明治二六		一	三〇	三七
四〇五	思想小史 岡村司 明治四一		一	三〇	三六
四〇四	諸罰則一覽表 刊	和	一	三〇	七七
四〇三	法律獨逸刑法論 總則編 フォン リスト著 吾孫子 勝共譯 明治四一		一	三〇	九
四〇二	法律と宗教との關係 名尾玄乘 (明治三五序)		一	三〇	七三

古代法制

四一九	江戸時代制度の研究 上卷 松平太郎 大正九		一	三〇	一〇
四一〇	延喜式 藤原忠平等奉勅撰 源齋恒校 (文政一一序)	和	五〇	三〇	一三

四一三	延喜式考異 第一一七 附錄上、中、下 源齋恒編		一	三〇	一四
四一四	官職要解 和田英松 明治三五		一	三〇	三
四一五	寛保年中禁裏年中行事 寛保元寫	和	一	三〇	五一
四一六	建武年中行事註解 和田英松註 (明治三六序)	和	二	三〇	二一
四一七	交替式 朝田由豆流校 天保九	和	一	三〇	四二
四一八	水言鈔 卷四、五 大江匡房 大正一四 (古典保存會本)	和	一	三〇	一一
四一九	江談抄 大江匡房 昭和五 (古典保存會本)	和	[一]	三〇	一一
四二〇	公武大鉢畧記 空藏 明治三六寫 (延久四年五年日次記ニ合本) 奥(明治三十六年四月一日近衛家藏本ヲ謄寫ス南應子)	和		九一	三四
四二一	故實叢書 今泉定介編 明治三二—三九	和	一三五	三〇	三九

一 冠朝國會 二 軍用記(伊勢貞丈) 三 安齋隨筆(伊勢貞丈) 四 輿車圖考(松平定信)
 五 御代始抄 六 裝束集成 七 安齋雜考(伊勢貞丈) 八 尙古鍔色一覽 九 中古京師内外地圖 一〇 中昔京師地圖 一一 織文圖繪(松岡辰方著 本間百里補) 一二 大内裏圖 一三 大内裏圖考證(裏松岡禪編) 一四 服色圖解(小杉楓郎校) 一五 武家名目抄(塙保巳一編) 一六 尊卑分脈(洞院公定編) 一七 禮服用圖(小杉楓郎校) 一八 裝束着用品圖(小杉楓郎校) 一九 舞樂圖 二〇 拾芥抄(藤原實照) 二一 鏡着用次第 二二 歷世服飾考(田中尙房編) 二三 本朝軍器考(新井君美) 二四 禁秘抄考註(幸田橋泉) 二五 建武年中行事略解(谷村光義著 壺井義知校) 二六 裝束織文圖會(松岡辰方著 本間百里補) 二七 近代女房裝束抄 二八 女官裝束

四〇〇	御成敗式目	上、下	天明七寫	和	一	三〇	五二
四〇一	御成敗式目	刊		和	一	三〇	五三
四〇二	御成敗式目	昭和五	影印 (古典保存會本)	和	一	三〇	五一
四〇三	御成敗式目	昭和六	影印 (尊經閣叢刊)	和	一	三〇	五一
四〇四	御成敗式目研究	植木直一郎	昭和五	和	一	三〇	八
四〇五	殊號事略	新井君美	寫	和	一	三〇	七一
四〇六	莊園目錄	八代國治編	昭和五	和	一	三〇	四一
四〇七	職官秘要志	寫		和	一	三〇	二七
四〇八	塵芥集	作並清亮	明治二七	和	一	三〇	二八
四〇九	心記	建久三年 同四年	樋口定能 明治三三寫	和	一	三〇	三〇
四一〇	大嘗祭儀通覽	伊能類則	大正二	和	一	三〇	二四
四一一	大正四年大禮參列記	三上參次		和	一	三〇	三八
四一二	丹鶴圖譜	水野忠央	大正三	和	一	三〇	五
四一三	南朝公卿補任	弘化三寫		和	一	三〇	五四

四一四	增日中行事略解	大石千引著	和田英松補	明治三六	和	一	三〇	二六
四一五	年中行事秘抄	昭和六	影印 (尊經閣叢刊)		和	一	三〇	二二
四一六	武家懷寶	刊			和	三	三〇	二九
四一七	武家事紀	上、中、下	山鹿高興著	大正四一七	和	一	三〇	二二
四一八	舟法度書	大正一五寫			和	一	三〇	三三
一 船法度之次第 二 廻船之定法用之事 三 諸廻船法令條々								
〔船法度之次第〕奥								
〔大正十五年四月神戸市住田正一氏ニ依頼シテ謄寫ス 原本ハ松江市ニテ得タリト云フ 南隱子〕								
〔廻船之定法用之事〕奥								
〔大正十五年四月神戸市住田正一氏ニ依頼シテ謄寫ス 原本ハ大阪市ニテ得タリト云フ 南隱子〕								
〔諸廻船法令條々〕奥								
〔大正十五年五月相田二郎氏寫本ニヨリテ謄寫ス 南隱〕								
四一九	平城宮大内裏跡坪割之圖	北浦重政	刊	(古典保存會本)	和	一	三〇	七二
四二〇	法曹類林	卷第九十七	大正一四	影印 (古典保存會本)	和	一	三〇	一一
四二一	法曹類林	第九十七卷頭	昭和三	影印 (古典保存會本)	和	一	三〇	一一
四二二	呼子鳥	寛政二寫			和	一	三〇	二五

政治 法制 經濟 兵事 經 濟

四三	琉球書翰式	寫本 (延久四年五年日次記ニ合本)	和	一〇四	九一	二四
四四	令義解	第一一〇 清原夏野等撰 (寛政一二跋) 堀保己一校	和	一〇	三〇	一五
四五	類聚三代格	第一一六 (安政二跋)	和	一六	三〇	一八

經 濟

四六	座の意義及びその發生	銅直勇 (『經濟集志』一卷三號抜刷)	和	一	三〇	八〇
四七	徳川幕府の米價調節	本庄榮治郎 大正一三	和	一	三〇	六
四八	奈良朝時代民政經濟の數的研究	附 諸國人口 量 衣食住 澤田吾一 昭和二	和	一	三〇	四
四九	日本經濟史概要	内田銀藏	和	一	三〇	五
五〇	寶氏經濟學	第一一五 寶節德著 永田健助譯 明治一〇	和	五	三〇	一六

兵 事

六一	一ノ谷附近ノ源平戦闘	久保茂一郎 米田吉之助共著 明治四三	和	一	三〇	六九
六二	一騎用法	寫	和	一	三〇	四九
六三	小笠原流三禮并躰方唯授一人極傳目錄	寫	和	一	三〇	四六

四四	海軍力一覽	海軍省編 昭和三 (『海軍々事講演資料』其五)	和	一	三〇	七九
四五	軍艦夜戦卷	上 寫	和	一	三〇	二〇
四六	軍詞乾坤之傳記	寫	和	一	三〇	五〇
四七	軍禮傳記	寫	和	一	三〇	四八
四八	源平俱利伽羅合戦一班	彌波山舊跡保存會編 大正二	和	一	三〇	三五
四九	鈴 錄	第一一二〇 荻生雙松 安政四	和	二〇	三〇	一九
五〇	甲陽一騎用法	寫	和	一	三〇	四七
五一	甲陽傳一騎用法	上、下 寫	和	一	三〇	二二
五二	古今の兵器	佐竹元二 大正七 (科外教育叢書第一期)	和	一	三〇	六一
五三	士鑿用法	北條氏長 (承應二跋)	和	一	三〇	三一
五四	鐵炮傳來錄	西村時彦 明治二四	和	一	三〇	六六
五五	長篠城本末	山田角次郎 明治三〇	和	一	三〇	五六
五六	日本兵制沿革誌	陸軍文庫編 明治一二	和	一	三〇	四〇
五七	日本兵制史	日本歴史地理學會編 大正一五	和	一	三〇	六四
五八	野島流海賊古法	寫	和	一	三〇	三二

政治 法制 經濟 兵事 兵 事

政治 法制 經濟 兵事 兵 事

四九 八陣圖說甲之卷 山脇重顯編 (寛文七序) 寫

一〇六

和 一 三〇 二二

四八 馬法禮 寫

和 一 三〇 四三

四七 馬法禮 寫

和 一 三〇 四四

四六 馬法禮 寫

和 一 三〇 四五

四三 武術叢書 國書刊行會編 大正四 (國書刊行會本第四期)

一 〇三 五

一本朝武藝小傳(江夏繁高) 二日本中興武術系譜略(志賀義言編) 三新撰武術流祖錄(羽鳥龍清等) 四擊劍叢談(源德修輯) 五不動智(釋澤庵) 六大阿記 七兵法三十五箇條(宮本武藏) 八五輪の書(宮本武藏) 九圓明流劍法書 一〇劍法夕雲先生相傳 一一刀齋先生劍法書(古藤田俊定) 一二柳生流新秘抄(佐藤勝舊) 一三天狗藝術論(佚齋樗山子) 一四本識三問答 一五劍術不識篇(木村久甫) 一六劍說(平山潛) 一七劍微(平山潛) 一八常靜子劍談 一九劍攷 二〇劍法略記(附副言)(窪田清音) 二一劍法擊刺論(森景鎮)

四四 山鹿兵學全集 梶康郎編 佐々木新太郎校 大正五―六

四 三〇 一

第一 兵法典義 二兵法或問

第二 三戰律

第三 四武備

第四 五城制 六陣原秘訣

四五 兵要錄 長沼宗敬 嘉永七

和 五 三〇 一七

四〇 社會 民俗

社會

四六 近世々相史 齋藤隆三 明治四二

一 四〇 三

四七 現下の社會問題と思想問題 加藤玄智編 大正一二

一 四〇 六

四八 社會學講義 浮田和民著 帝國教育會編 明治四一

一 四〇 四

四九 社會主義と自由思想 レゼイ著 教學研讀和佛協會譯 明治四四

一 四〇 八

五〇 社會問題十五講 神代峻通編 大正一二

一 四〇 二

五一 泰西の新思潮 青柳定吉 昭和四二

一 四〇 一

五二 日本社會事彙 上、下 經濟雜誌社編 明治三四―三五

一 四〇 九

五三 訂重日本帝國形勢總覽 細川廣世編 明治一九

一 四〇 二

民俗

四四 蝦夷地に於ける和人傳説攷 深瀬春一 昭和一一

社會民俗 社 會

一〇七

一 四〇 一

四九五

近世風俗見聞集 國書刊行會編 大正元—二 (國書刊行會本第三期)

第一一 一そらる物語(木算入道) 二むかし(物語(新見正朝)) 三久夢日記 四元祿寶永珍話

五月堂見聞集(本島知辰)

第二 六月堂見聞集 七享保世話 八元文世説雜錄

第三 九寛保延享江府風俗志 一〇寶曆現來集(山田桂翁) 一一豐芥子日記(石塚豐芥子)

第四 一二巷街實説(塵哉翁) 一三 天弘錄 一四 花吹雪限手通塵(想堂閑人)

一〇八
〔四〕 〇三 五

四九六

滑稽雜談 第一—二 四時堂其談編 大正六 (國書刊行會本第五期)

四九七

傳説の堺 松本壯吉 昭和三

四九八

日本風俗史 上 藤岡作太郎 平山鏗二郎共著 明治二八

四九九

日次紀事 黒川玄逸 第一—五 (大正五序) (珍書同好會本)

五〇〇

民間年中行事略 大森金五郎 昭和一〇

五〇一

民間風俗年中行事 國書刊行會編 大正五 (國書刊行會本第五期)

一 諸國年中行事(操厄子) 二 増補江戸年中行事 三 東都歳時記(石井蕪) 四 山城四季物語(坂内直頼) 五 案内者(中川喜雲) 六 問里歳時記(川野邊寛) 七 北里年中行事(花樂散人) 八 芝居年中行事 九 おとしばなし年中行事(林屋正藏) 一〇 正月揃(白眼居士) 一一 民間時令(山崎美成) 一二 年中故事(玉田永教)

〔一〕 一 五 一 一 〔二〕 〇三
〇三 四〇 四〇 四〇 四〇 一〇 五
五 一三 七 五 一〇 五

五〇 文學語學

五〇一

葵 草 菊池義清 大正元

五〇二

伊勢物語 昭和四 影印 (古典保存會本)

五〇三

伊勢物語 昭和六 影印 (古典保存會本)

五〇四

浮世花鳥風月 際寫版 (珍書同好會本)

五〇五

詠史句集 搦田東臯 昭和三

五〇六

江戸時代文藝資料 國書刊行會編 大正五 (國書刊行會本第五期)

第一 一列仙傳 二寸南破良意(南錄堂一片) 三當世左様候 四風俗問答 五中洲雀 六淨瑠璃稽古風流 七十八大通百手枕 八大通秘密論 九伊賀越増補合羽之龍 一〇龍虎問答 (河野歸橋) 一一四季物語(河野歸橋) 一二深川新話(大田覃) 一三多佳餘字辭 一四咲分論 一五舌講油通汚(窪田俊滿) 一六世界の幕なし(本膳亭坪平) 一七突富富魂短 一八通人の寝言立川馬馬) 一九登美賀遠住(豊川里舟) 二〇浮世の四時(窪田俊滿) 二一角鴉卵(伊庭可笑) 二三深川手習草紙(十方茂内) 二四吉原楊枝(山東京傳) 二五一目土堤(小林新太郎) 二六一向不通替善運 二七廓の大帳(山東京傳) 二八廻し枕(山手山人左英) 二九面美多勤身 三〇傾城買四十八手(山東京傳) 三一富岡八幡鐘 三二大通契語(大浦鈴成) 三三文選臥座 三三學通三客(内新好) 三四南品傀儡(青海舎主人) 三五うかれ草紙 三六廓通遊子 三七仲街艶談(戲家山人) 三八品川楊枝(芝竹文) 三九玉の蝶(振鷲亭) 四〇商内神(十返舎一九)

和 和 和 和
〔一〕 〔一〕 一 一
五〇 〇三 〇三 〇三
八七 一一 一一 九〇
五 二 五

- 第二 四一五箇の津餘情男(都の花風) 三 傾城仕送大臣 四 立身大福帳 四 風流敗毒散 四 新色三ツ巴 四 野傾友三味線(西澤一風) 四 商人職人懐日記 四 色縮緬百人後家(西澤一風) 四 猿源氏色芝居
- 第三 吾忠孝永代記(森本東馬) 五 本朝濱千鳥(永井正流) 五 風流比翼鳥(東の紙子) 五 風流門出加増藏 五 關東名残の袂(忍岡やつがれ) 五 百姓盛衰記 五 千代袖そろばん 五 咲分五人娘(江島其廣) 五 筆の初ぞめ 五 武道繼德梅(石川流宣)
- 第四 空たきつけ草 六 もえくひ 六 けしきみ 六 諸分店蔵 六 吉原鑑 六 五きのはけふの物語 六 犬つれづれ 六 七よだれかけ 六 かぶきのさうし 六 古今役者物語 七 吉原戀之道引 七 錦木 七 戀慕水鏡 七 三鳥曆 七 好色文傳受(由之軒政房) 七 當流雲のかけ橋 七 薄紅葉
- 第五 七 浮世榮華一代男 七 色里三世帯 七 眞實伊勢物語 八 好色小柴垣 八 忘花 八 新色五卷書 八 元祿太平記 八 風流吳竹男 八 野傾旅葛籠 八 和漢遊女容氣

五〇八 宴曲十七帖附詠曲末百番 國書刊行會編 大正一 (國書刊行會本第三期)

五〇九 中古歌謡宴曲全集 吉田東伍編 大正六

五〇 艶道通鑑 明治二四

五二 大鏡 卷六一八 久米幹文校 明治二三—二四

五三 大鏡 大正一四 影印 (古典保存會本)

五三 大鏡 昭和一〇 影印 (古典保存會本)

五四 大鏡詳解 落合直文 小中村義象共著 明治二九

和	和	和	和	和	和	和	和	和	和
一	〔一〕	〔一〕	三	一	一	〔一〕	一	一	一
五〇	〇三	〇三	五〇	五〇	五〇	〇三	五〇	五〇	五〇
二三	一一	一一	五九	一一	一一	五	九	九	五

五二五 奥の細道新釋 荻原井泉水 大正一四 (芭蕉文庫第一編)

五二六 近古溫 和叢書 第一編 岸上操編 明治二四

一 奴師勞之(大田覃) 二 老の樂(市川柏建) 三 洞房語園(莊司勝富) 四 東海道名所記 (淺井了意)

五二七 女用文千歲姬松 安永五

五二八 歌苑連署事書 (珍書同好會本) (爲兼卿和歌抄ニ合本)

五二九 下學集 上、下 東麓破衲 寛永二〇

五三〇 月山遺稿 高橋作衛 大正一一

五三一 神代物語 佐藤小吉 明治四三

五三二 漢文大系 富山房編 明治四三—四四

- 第一 一 大學說(安井衡) 二 大學章句(宋朱熹) 三 中庸說(安井衡) 四 中庸章句(宋朱熹)
- 五 論語集說(安井衡) 六 孟子定本(安井衡)
- 第二 七 箋解古文眞寶後集 八 增註三體詩(斐庚) 九 箋註唐詩選(戶崎九明)
- 第三 一〇 唐宋八家文讀本上(清 沈德潛編) 三 島毅評)
- 第四 二 唐宋八家文讀本下(清 沈德潛編) 三 島毅評) 三十八史略(元 曾先之編) 三 小學纂註(明高愈) 四 御註孝經(唐玄宋注) 一五 弟子職
- 第六 一六 史記列傳上
- 第七 一七 史記列傳下(明凌雅陸校) 李光緒補)
- 第八 一八 韓非子翼(太田方)
- 第九 一九 老子翼(明焦竑) 三〇 莊子翼(明焦竑)
- 第二〇 三 左氏會箋上(竹添進三郎)

和	和	和	和	和	和	和	和	和	和
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
二四	二二	七三	七九	四二	八〇	九〇	二五	九	五

- 第二 三左氏會箋下(竹添逸一郎)
- 第三 三毛詩(漢鄭玄箋) 宋朱熹集註 二 尚書(漢孔安國傳)附集傳(宋蔡沈)

五三 曲亭遺稿

瀧澤解(馬琴) 明治四四 (國書刊行會本第二期)

一 吾佛の記 二 後の爲の記 三 六郷山雙子寺大縁起 四 雙子寺略縁起 五 風月庵主に答ふる文 六 論蜀解編 七 漢行傳 八 國兩談 九 日記第二册佛語百員卷
 中老鳥庵評批言の辨 一〇 五色題發句合の評餘 一一 夢見草 一二 笠の露 一三 夢の秋
 一四 羅文居士七回忌追薦之佛誦連歌 一五 辨難 一六 おこのすさみ 一七 をかめ八目 一八 本朝水滸傳を讀む並批評 一九 神說虎之卷 二〇 增補神史外題鑑批評 二一 與鈴木牧之書 二二 著作堂雜記抄

〔一〕 〇三 五

五四 藤原定家金槐和歌集

源實朝 昭和五 影印

和 一 五〇 一〇九

五五 琴歌譜

昭和二 影印 (古典保存會本)

和 〔一〕 〇三 一一

五六 近世文藝叢書

國書刊行會編 明治四三—四五 (國書刊行會本第二期)

〔一〕 〇三 五

- 第一 名 所 記 (一) 一 江戸雀 二 増補江戸唄 三 京童(中川喜雲) 四 京童跡退(中川喜雲) 五 京雀 六 難波鑑釋道治
- 第二 名 所 記 (二) 七 鎌倉物語(中川喜雲) 八 高野山通念集(釋道治) 九 南都名所集(太田敏親 村井道弘) 一〇 河内國名所鑑(三田淨久) 一一 有馬名所鑑 一二 長崎蟲眼鏡 一三 三河雀

- 第三 小 說 (一) 一 伽婢子(淺井了意) 二 根之介 三 七人比丘尼 四 二人比丘尼(鈴木正三) 五 八四人比丘尼 六 角田川物語 七 一本菊 八 貧人太平記 九 水鳥記(茨木春朝) 一〇 三あだ物語(三浦爲春) 一一 薄雲物語 一二 薄雲物語 一三 他我身の上(山岡元隣)

第四 小 說 (二)

一 傾城武道樓(西澤與四) 二 武道張合大鏡(北條剛水) 三 當世乙女織(錦文流)

四 心中大鑑 五 世の是沙汰(西樂) 六 風流日本莊子(穴戸鐵舟) 七 今様二十四孝(月尋堂) 八 風流今平家(西澤與四) 九 亂原三本鏡(西澤一風) 一〇 傾城風流杉孟

第五 小 說 (三)

一 女大名丹前能 西澤一風 二 元本朝藤原比事 三 元千尋日本織 四 近代長者鏡(落月堂操庵) 五 難波みやげ 六 美景蒔繪松 七 傾城野群談(安藤自笑) 八 傾城太々神樂 九 風流源氏物語(穴戸鐵舟)

第七 擬 物 語

一 仁勢物語 二 伊勢物語ひら言葉 三 仁勢物語通補抄(志水燕十) 四 おきな源氏(野々口立剛) 五 紅白源氏物語 六 尤の雙紙 七 おちくぼ物語 八 大方丈記 九 寛潤平家物語 一〇 吉原つれづれ草 一一 新つれづれ草 一二 茶人つれづれ草

第八 川 柳 (一)

一 天俳風柳多留 上 二 天俳風柳多留 下

第九 川 柳 (二)

一 天俳風柳多留 下 二 好色由来揃 三 籠の色(飯袋子) 四 あづま物語 五 吉原大全(澤田麟) 六 北里見聞録(寛閑樓佳孝) 七 笠柳花通話(秀山人) 八 かくれざと(石橋眞國) 九 鳥原大和曆 一〇 一目千軒(斜天吞獅) 一一 充瀝標(吟古山人) 一二 廓中一覽 一三 柳巷方言 一四 秘事眞告

第二 俚 談

一 中古雜唱集(伴信友) 二 陸奥國田歌解(黒川春村) 三 閑吟集 四 悲話編(鹿持雅澄) 五 御船唱留 六 吉原はやり小歌總まくり 七 津村即 八 都おどりくとき 九 色竹歌祭文揃 一〇 二見眞砂 一一 尾張國船歌集 一二 童謡集 一三 御笑草 一四 諸國の歌 一五 浮れ草(松井讓屋) 一六 地方用文章 一七 朝來考(村田了阿) 一八 潮來風 一九 小歌志業集(小寺玉晃) 二〇 小唄のちまた(小寺玉晃) 二一 庄内鶴岡御町々盆踊文句

第三日 記

九四 全樂堂日記(渡邊完靜) 九五 戊子日記(瀧澤解) 九六 柳亭日記(橫手知久) 九七 花鳥日記(村田了阿) 九八 市隱月令(村田了阿) 九九 楠書樓日記(小山田與清) 一〇〇 一立齋廣重旅日記(歌川廣重) 一〇一月 岑日記(齋藤幸成) 一〇二 甲寅紀略(鈴木鐸) 一〇三 加藤枝直日記

五七	近代文藝之背景	内ヶ崎作三郎	大正四	(教育講座ノ内)	和	一	五〇	一
五八	空華遺稿	吉光長一	明治三九		和	一	五〇	四
五九	敬宇詩集	中村正直(敬宇)	大正一五		和	三	五〇	八五
六〇	經子史千絶	高橋敬十郎(白山)	明治四三		和	一	五〇	七四
六一	擊蒙句法	關白一翁	(大正六序)	膠寫版	和	一	五〇	四三
				(珍書同好會本)				
六二	還城樂物語	膠寫版			和	一	五〇	四八
六三	源注餘滴	石川雅望	明治三九	(國書刊行會本第一期)	和	一	〇三	一七
六四	源平盛衰記	上	大正元	(通俗日本全史第三卷)	和	一	五〇	一七
六五	講筵餘吟	元田永学著 落合爲誠編	(明治一六序)	膠寫版	和	一	五〇	三八
				(珍書同好會本)				
六六	古今訓點抄	昭和一一	影印	(古典保存會本)	和	一	〇三	一一

六七	古今和歌集注	天地人	四條教長	(大正五序)	膠寫版	和	三	五〇	六〇
				(珍書同好會本)					
六八	古ニユージラント物語	香山美雪譯			和	一	五〇	二二〇	
六九	後撰和歌集	第一、二、三	昭和七—八	影印	和	三	〇三	一一	
				(古典保存會本)					
七〇	古狀揃	刊			和	一	五〇	八三	
七一	〔古狀揃〕	(原題缺)	刊		和	一	五〇	八四	
七二	五樂園詩鈔	元田永学著 落合爲誠編	膠寫版	(珍書同好會本)	和	一	五〇	三七	
七三	天治本催馬樂抄	大正一五	影印	(古典保存會本)	和	一	五〇	一一	
七四	更科日記新註	玉井幸助	昭和四		和	一	五〇	八	
七五	參考太平記	第一、二	今井弘濟共著	大正三		二	〇三	五	
				(國書刊行會本第四期)					
七六	參考保元平治物語	大正三	(國書刊行會本第四期)		和	一	〇三	五	
七七	三草集	高橋徹一編	大正四		和	一	五〇	二二六	
七八	七十一番歌合	上、中、下	刊		和	三	五〇	九一	
七九	十字街路	青雨吟社編	膠寫版		和	一	五〇	一一八	
					和	一	五〇	一一八	

松雲詩草 松雲 (明治三三序)

和 一一六
一 五〇 八二

白井北窓先生詩集 白井北窓 昭和八

一 五〇 一九

新群書類從 國書刊行會編 明治三九一 [國書刊行會本第一期]

四 〇三 五

第一輯 演劇 (一)

一 西澤一風小傳(水谷不倒) 二 傳奇作書(西澤一風) 三 皇都午睡(西澤一風)

第二輯 演劇 (二)

四 濱松歌國小傳(水谷不倒) 五 脚色餘錄(西澤一風) 六 讚佛乘(西澤一風) 七 綺語文章(西澤一風) 八 南水漫遊(濱松歌國)

第三輯 演劇 (三)

九 役者論說(八文字屋自笑編) 一〇 古今いろは評林(八文字屋自笑編) 一一 芝居乗合話(中村重助) 一二 作者店おろし(三升屋二三治) 一三 並木正三代咄 一四 岩井半四郎さとい物語 一五 市正徳追善會我實本忠臣物語 一六 梅幸論 一七 中山文七一代狂言紀 一八 眠彌選(八文字屋自笑) 一九 傳奇作書追加(西澤一風) 二〇 娘孝行記(富永平兵衛) 二一 熊野山開帳(富永平兵衛) 二二 葉平河内通(富永平兵衛) 二三 御曹司初寅詣(近松門左衛門) 二四 傾情一張弓 二五 傾城三鱗形 二六 京ひながた 二七 一谷さかおとし 二八 當麻中將姫まんだらの由来 二九 箱傳授 三〇 今川假名手本

第四輯 演劇 (四)

三一 花江都歌舞伎年代記續編

第五輯 歌 曲 (一)

三二 四天王高名物語ばんざらんほうやぶり 三三 頼義金剛山合戦并ひやぶ物語 三四 しやか八さう記附傳母まや婦人 三五 善どう記 三六 日本王代記并神武天皇のゆかり 三七 玉津島の御本地 三八 四天王大田合戦 三九 なすの奥市竹生島詣附母いこんの事 四〇 頼光あともろん 四一 津戸三郎 四二 義經追善女舞 四三 愛染明王影向松 四四 酒天童子 四五 念佛往生記 四六 清水利生物語 四七 八をぐりの判官 四八 隅田川 四九 善光寺 五〇 あこぎの平次 五一 出世太平記 五二 名古屋山三郎 五三 西京四條おくに歌舞妓 五四 土佐日記 五五 對面會我

五 芳野の内裏 天源氏六條通 六 定家 七 三世二河白道 八 源氏花鳥大金
九 雙色頼政 一〇 和國女眉間尺 一一 通俗傾城三國志 一二 博多露左衛門色傳授

第六輯 歌 曲 (二)

一三 糸竹初心集 一四 松の葉 一五 若みどり 一六 堀松の落葉 一七 淋敷座の慰 一八 諸國盆
一九 唱歌 二〇 難波土産 二一 珊瑚天狗 二二 今昔操年代記 二三 笠竹豐故事 二四 歌系圖

第七輯 書 目

二五 江戸狂歌書目(野崎左文編) 二六 俳諧書籍目録(阿誰軒編) 二七 浮世草子目録(大久保
豊編) 二八 好色本目録(柳亭種彦編) 二九 吉原書籍目録(柳亭種彦編) 三〇 續吉原書籍目
録(大久保豊編) 三一 増補青本表(大久保豊編) 三二 前期青本書目 三三 増補續青本
表(大久保豊編) 三四 合巻外題集 三五 草雙紙書目 三六 笑話書目(大久保豊編) 三七 洒落
本目録(大久保豊編) 三八 中本書目(大久保豊編) 三九 人情本目録(大久保豊編) 四〇 讀
本年表 四一 外題年鑑

第八輯 舞 曲

四二 入鹿 四三 大職冠 四四 百合若大臣 四五 志田 四六 満仲 四七 硫黄が島 四八 築島
四九 鎌田 一〇〇 伏見常盤 一〇一 常盤問答 一〇二 文覺 一〇三 伊吹 一〇四 夢合せ 一〇五 馬揃
一〇六 木曾願書 一〇七 敦盛 一〇八 那須與一 一〇九 未來記 一一〇 笛之巻 一一一 鞍馬出
一二 烏帽子折 一二三 腰越 一二四 堀川夜討 一二五 四國落 一二六 静 一二七 富樫 一二八 笠さか
一二九 八島 一三〇 清重 一三一 高館 一三二 演田 一三三 景清 一三四 切兼會我 一三五 元服會
我 一三六 和田酒盛 一三七 小袖會我 一三八 劍讀歌 一三九 夜討會我 一四〇 十番切 一四一 新曲
一四二 張良

第九輯 歌 曲 (三)

一四三 清原右大将 一四四 四天王若さかり 一四五 四天王女大力手捕車 一四六 京今宮本地
一四七 日本兩武將始 一四八 源平武將論 一四九 敵討のいこん 一五〇 四天王筑紫實 一五一 末武
印問答 一五二 ささきあらそひ 一五三 天狗羽打 一五四 王むしや執行 一五五 桐金時最後
一五六 頼光蜘蛛切 一五七 子北國合戦 一五八 四天王最後 一五九 公平誕生記 一六〇 流根悪太
郎 一六一 公平芝だんやぶり 一六二 公平化生論 一六三 公平關やぶり 一六四 公平末春いくさ
ろん 一六五 公平天句問答 一六六 八幡太郎誕生記 一六七 渡邊智略討 一六八 やはき合戦
一六九 勇金平 一七〇 渡邊三田合戦 一七一 菅原親王 一七二 公平つるさきのりつくわ 一七三 公平

武者執行 一六六 公平入道山めぐり 一六七 いかつち論 一六八 殿上女袖鑑 一六九 よりまさ
 一七〇 頼朝三鶴話 一七一 こぼん忠信 一七二 義經地獄破 一七三 あさひなしまわたり
 第十輯 狂 歌
 一七四 古今夷曲集 一七五 後撰夷曲集 一七六 狂言鶯蛙集 一七七 徳和歌後萬載集 一七八 吾吟我
 集 一七九 ト養狂歌集 一八〇 狂歌鳩杖集 一八一 家土産 一八二 狂歌醉竹集 一八三 六樹園家集
 一八四 朱樂館家集 一八五 滄洲樓家集 一八六 狂歌酒百首 一八七 めでた百首夷歌 一八八 仙臺百
 首 一八九 夷歌百鬼夜狂 一九〇 飲食狂歌合

五三三	神習舎歌文集	逸見伸三郎編 大正一四	〔神習舎王薙目錄〕ニ合本)	和	一	〇一	六
五三四	水屋集	久米幹文 明治二八		和	一	五〇	五四
五三五	清溪先生遺集	山井幹六(清溪)	昭和四	和	一	五〇	六三
五三六	征清詩史	高橋白山著 高橋作衛校	明治三〇	和	一	五〇	五三
五三七	白正文文章軌範	河村定靜校	明治四一	和	一	五〇	六九
五三八	正文文章軌範評林註釋	伊東龜年(藍田)補	文政九	和	三	五〇	二七
五三九	禪月樓集	乾坤 竺宗暉 (大正四序)	謄寫版	和	一	五〇	九四
		(珍書同好會本)					
五六〇	點續文章軌範	明 都守益編 宮脇通赫補	明治一三	和	三	五〇	二六
五六一	續文章軌範評林註釋	伊東龜年(藍田)補	文政九	和	三	五〇	二七
五六二	太平記	神田本 明治四〇	(國書刊行會本第一期)	[一]	三	〇三	五

五五三	竹取翁物語	刊 (群書類從卷第三〇九)		和	一	五〇	九八
五五四	七夕の由來	謄寫版 (珍書同好會本)		和	一	五〇	四四
五五五	訂校種彦傑作集	博文館編 明治三五	(帝國文庫ノ内)	和	一	五〇	一五
五五六	民行遺詠	東條民行 昭和六		和	一	五〇	九五
五五七	爲兼卿和歌抄	藤原爲兼 謄寫版 (珍書同好會本)		和	一	五〇	四二
五五八	瑠玉集	卷第一二、一四 昭和八	謄寫版	和	[二]	〇三	一一
		(古典保存會本)					
五五九	校訂增補勅撰作者部類	附新纂集作者部類 國學院編	明治三五	和	一	五〇	五
五六〇	塵塚物語	第一一六		和	六	五〇	三〇
五六一	知連抄並梵灯連詞	昭和七 影印 (古典保存會本)		和	[一]	〇三	一一
五六二	樛舎歌集	黒木茂矩 明治四二		和	一	五〇	七五
五六三	校訂徒然草	増田千信校 明治二三		和	一	五〇	七
五六四	庭訓往來	釋獻惠 弘化四		和	一	五〇	七八
五六五	陶淵明集	天、地 晋 陶潜(淵明)著 近藤元粹訂	明治二九	和	二	五〇	一〇八
五六六	東關紀行詳解	鳥野幸次 明治三五		和	一	五〇	四九

五七

唐詩選 明李攀龍編 刊

五八

唐宋八家文法明辨 岡三慶評点 明治一五

五九

藤葉盛衰記 上、中、下 刊 (史籍集覽ノ内)

六〇

徳川文藝類聚 國書刊行會編 大正三一五 (國書刊行會本第四期)

第一 事實小説

- 一 福壽物語 二 風流夢浮橋(雨滝庵松林) 三 京籠鎖帷子(森本東島) 四 御入部伽羅女(湯濱瓶水) 五 富富富 六 諸國心中女 七 忠義太平記大合 八 女敵高麗茶碗 九 雲州松江の鱈 一〇 掃草紙 一一 金唐革 一二 川童一代斷 一三 觀延政命談

第二 教訓小説

- 一 可笑記 二 爲愚癡物語(曾我自体) 三 浮世物語(釋了意) 四 古今堪忍記(青木鶯水) 五 孫大黒柱(月尋堂) 六 庭訓梁句車(松代柳枝)

第三 遍歴小説

- 一 西鶴冥途物語 二 小夜嵐 三 續小夜嵐 四 新小夜嵐 五 三千世界色修行 六 珍術器業散國(其風) 七 和莊兵衛(遊谷子) 八 和莊兵衛後編 九 笑註烈子 一〇 東唐洞見術 一一 成仙玉一口玄談(大江文城) 一二 三千世界見て来た咄 一三 満手で栗

第四 怪談小説

- 一 百物語評判(山岡元隣) 二 新百物語(佛林子) 三 狗張子(釋了意) 四 玉簪木(林義端) 五 拾遺御伽婢子(柳絲堂) 六 怪談夜光魂 七 太平百物語(市中散人祐佐) 八 御伽厚化粧 九 御伽空穂猿(靜觀堂好阿) 一〇 怪談登志男(靜觀堂好阿) 一一 萬世百物語

第五 洒落本

- 一 異素六帖 二 聖遊廓 三 廓中奇談 四 辰巳之園 五 遊子方言(多田屋利兵衛) 六 南門雜話(河野歸橋) 七 婦美車紫鹿子 八 契國策 九 賣花新譯(朱樂管江) 一〇 妓者呼子鳥(田螺金魚) 一一 南江驛話(比左農山人) 一二 一事千金(田螺金魚) 一三 大抵御

一一〇

和 一

五〇

五六

和 八

五〇

二九

和 一

五〇

九二

二三

〇三

五

第六

脚 本 (上)

- 一 豐(朱樂管江) 二 美地の蠶殼(河野歸橋) 三 芳深交話 四 誰が袖日記 五 世説新語(大田草) 六 新宿穴學問(秩都紀南子) 七 月花餘情(獻笑閣主人) 八 喜夜來大根(梨白山人) 九 眞女意題(森島中良) 一〇 山下珍作(志水燕十) 一一 惠世物語(止働堂馬存) 一二 富賀川拜見(河野歸橋) 一三 二日醉厄解(森島中良) 一四 和唐珍解(唐來三和) 一五 無駄酸辛甘(千差萬別) 一六 短草葉 一七 古契三娘(山東京傳) 一八 新宗玄々經(鐘西翁) 一九 假里擇中州之華美(内田新好) 二〇 自德鏡(振鷲亭) 二一 錦之裏(山東京傳) 二二 北華通情 二三 猫謝羅子(東西庵南北) 二四 南門鼠 二五 嘉話美多里 二六 甲子夜話(梅暮里谷峨) 二七 惠比良濃梅(十返舎一九) 二八 やまあらし(柳亭種彦)

第七

脚 本 (下)

- 一 參會名護屋 二 兵根元曾我 三 和國御翠殿(三升屋兵庫) 四 三世道成寺(宮崎傳吉) 五 小栗鹿目石(藤本兵右衛門) 六 小栗十二段(三升屋兵庫) 七 凱陣十二段(藤本兵左衛門 光島七郎左衛門) 八 傾城伊豆日記(津打九平次等) 九 傾城金秤目(増山金八) 一〇 名歌德三升玉垣(櫻田治助) 一一 當秋八幡祭(鶴屋南北)

第八

淨 瑠 璃

- 一 四天王十寸鏡 二 傾城曉の鐘 三 傾城山崎通 四 傾城天の羽衣 五 お花半七京羽二重新雛形 六 傾城黃金鱈 七 桑名屋徳藏入船断 八 霧太郎天狗酒宴 九 たかだち五段 一〇 むらまつ 一一 小袖そが 一二 しんとく丸 一三 しののけつま 一四 さんせう大夫 一五 阿彌陀胸割 一六 風流和田酒宴 一七 瀧口横笛 一八 石川五衛門 一九 甲賀三郎 二〇 藍染川 二一 源氏六十帖 二二 あふひの上 二三 平安城 二四 三井寺狂女 二五 傾城八花形 二六 西行法師墨染櫻 二七 傾城二河白道 二八 傾城淺間獄 二九 後藤伊達目貫 三〇 今川了俊

第九

俗 曲 (上)

- 一 舊刻都羽二重柏子扇 二 宮古路月下の梅 三 新版宮古路窓の梅 四 常勢種三九 櫻草集 一〇 柏葉集 一一 新内節正本傳 一二 増補宮園集都大全

第一〇

俗 曲 (下)

- 一 色竹園曲集 二 半太夫節正本集 三 十寸見聲曲集 四 歌撰集 五 萩江節正本 六 常勢友前集 七 常勢友後集 八 歌澤節正本

第一 雜 俳

(四) 俳諧武玉川(紀逸編) (二) 三 金砂子 (三) 新撰猿蓑玖波集(谷素外) (四) 俳諧高天宮
 (鶴壽軒真弘) (五) 難波土產 (六) 江戸土產 (七) 若えびす(青木鷺水) (八) 冠獨步行
 (九) 俳諧萬人講 (一〇) 俳諧三尺のむち (一一) 俳諧あづまからげ (一二) 青木賊 (一三) 歌羅
 木(丹頂齋一聲)

第二 評 判 記

(一) 戲作評判花折紙 (二) 繪草紙評判記(菊壽草(大田覃)) (三) 稗子評判目八目(大田
 覃) (四) 江戸土產 (五) 三題斷作者評判記 (六) 樂屋興吉鳴久者評判記(惡文舍他笑)
 (七) 大夷評判記(機亭金魚) (八) 風流眞顯記 (九) 評判筆果報 (一〇) 評判登宿梅
 (一一) 浪花其末葉 (一二) 能評判うそ咄 (一三) 新版歌仙すまふ評林 (一四) 當世名家評判記
 (一五) 冬至梅實評記 (一六) 充學者角力勝負付評判記 (一七) 諸宗評判記 (一八) 評判千種聲
 (一九) 蜂萬舍自盡 (二〇) 富貴地座位 (二一) 京都名物水の富貴寄 (二二) 五十三次江戸土產
 (二三) 寶貨備 (二四) 娘評判記あづまの花軸 (二五) 赤烏帽子 (二六) 吉原丸鑑

五八一 土佐日記 紀貫之 昭和九 影印 (古典保存會本)

五八二 土佐日記 紀貫之 刊 (群書類從卷第三二七)

五八三 土佐日記讀本 鈴木弘恭注 明治一八

五八四 梨壺の五歌仙 尾上八郎(榮舟) 明治三五

五八五 涙 草 京極少將忠高女 刊

五八六 日本詩紀 市川世寧(寬齋)編 明治四四 (國書刊行會本第二期)

五八七 日本振袖始 近松門左衛門 明治二二

五八八 丹羽文虎先生文集 丹羽文虎 大正四

五八九 人情本傑作集 山崎麓校 昭和三 (帝國文庫第十九篇)

五九〇 俳諧書籍目錄 上、下 阿誰軒編 (大正四序) 隱寫版 (珍書同好會本)

五九一 白氏文集 卷第三、四 昭和二一四 影印 (古典保存會本)

五九二 馬琴日記 天保二年 瀧澤解(馬琴)著 和 大正一三

五九三 白山詩集 高橋敬十郎著 明治四三

五九四 白山文集 高橋敬十郎著 明治三五

五九五 八代集抄 上、下 北村季吟 明治三五

五九六 扶桑拾葉集 上、中、下 首卷 源光圀編 明治三十一

五九七 扶桑鐘銘集 天、地、人 岡崎信好編 (安永七序)

五九八 夫木和歌抄 藤原長清 明治三九 (國書刊行會本第一期)

五九九 夫木和歌抄索引 國書刊行會編 明治四〇 (國書刊行會本第一期)

六〇〇 文學一斑 内田貢 明治二五

六〇一 文學思想研究 第三一〇卷 早稻田大學文學部會編 大正一五一昭和四

六〇二 文學思想研究 第一輯 早稻田大學文學部編 昭和七

六〇三 文學思想研究 一九三四年版 早稻田大學文學部編 昭和九

六〇四 文鏡秘府論 地 釋空海 昭和一〇 影印 (古典保存會本)

六〇五 文藝百科全書 早稻田大學社編 大正四

六〇六 白文章軌範 河村定靜校 明治三九

六〇七 平家劔卷 (大正五序) 謄寫版 (珍書同好會本)

六〇八 平家物語考 國語調査委員會編 刊

(國語史料 鎌倉時代之部 平家物語につきての研究 前編)

六〇九 平治物語 第一—三

六一〇 瓶城翁遺文 近藤瓶城著 大正四

六一一 芳雲餘情 第一輯 小野諄三編 明治一七

六一二 方丈記 鴨長明 大正一四 影印 (古典保存會本)

六一三 方丈記 鴨長明 謄寫版 (珍書同好會本)

六一四 北條時賴記 第一—一〇 岡本爲竹 元祿四

六一五 寶物語 平康賴 昭和四 影印 (古典保存會本)

六一六 慕夏堂文集 朝鮮 金忠善 (崇禎四序) 朝鮮刊本

和 一 五〇 三二

和 一 五〇 六八

和 一 五〇 四七

和 一 五〇 二二

和 三 五〇 三四

和 一 五〇 四五

和 一 五〇 四六

和 一 五〇 一一

和 一 五〇 一一

和 一 五〇 三三

和 一 五〇 四六

和 一 五〇 三三

韓 一 五〇 七七

六一七 校註 保元平治物語 鳥野幸次校 大正一四

六一八 保元物語 第一—三

六一九 保元物語評釋 鳥野幸次 大正二

六二〇 正 本朝文粹 大正七 (國書刊行會本第六期)

六二一 萬葉集訓義辨證 木村正辭 明治三七

六二二 萬葉集古義 第一—九 首卷 鹿持雅澄 明治四五—大正三 (國書刊行會本第三期)

六二三 萬葉集字音辨證 木村正辭 明治三七

六二四 萬葉集代匠記 第一—六 釋 契冲著 木村正辭校 明治三三—三四

六二五 萬葉集代匠記 第四—一二 輯 釋 契冲著 木村正辭校 明治三五—三八

六二六 萬葉集代匠記惣釋首卷 雜說 釋 契冲著 木村正辭校 明治三三

六二七 萬葉集目錄代匠記 釋 契冲著 木村正辭校 明治三六

六二八 萬葉集文字辨證 木村正辭 明治三七

六二九 みともの旅 松平乘統 大正一一

六三〇 湊のさかえ 上、下 曉鐘成 天保二

六三一 紫式部日記 紫式部 刊 (群書類從卷第三二一)

和 一 五〇 九七

和 一 五〇 七六

和 一 五〇 八八

和 一 五〇 一〇六

和 一 五〇 一〇四

和 一 五〇 一〇一

和 九 五〇 一〇三

和 六 五〇 一〇二

和 一 五〇 一〇七

和 一 五〇 〇三

和 一 五〇 〇三

和 一 五〇 〇三

和 一 五〇 一三

和 一 五〇 三五

和 一 五〇 六

六三三	明治天皇御集研究	三井甲之	昭和三	一	五〇	一〇			
六三三	唯心房集	釋寂然	(大正五序)	影寫版	(珍書同好會本)	一	五〇	二八	
六三四	悠久遺芳	上、下	矢吹活禪	昭和六	和	二	五〇	六四	
六三五	校 正幽 囚 錄	(吉田矩方)	刊	和	一	五〇	五七		
六三六	遊 仙 窟	唐張文成	大正一五	影印	(古典保存會本)	和	(一)	一一	
六三七	吉野拾遺	上、下	松翁	昭和一一	(群書類從卷第四八五)	和	一	五〇	九三
六三八	連詞新式	昭和六	形印	(古典保存會本)	和	(一)	〇三	三一	
六三九	連理秘抄	(二條良基)	昭和三	影印	(古典保存會本)	和	(一)	〇三	一一
六四〇	朗詠要集	(大正四序)	影寫版	(珍書同好會本)	和	一	五〇	四〇	
六四一	和詞會作法	(大正六序)	影寫版	(珍書同好會本)	和	一	五〇	三九	
六四二	和歌體十種	昭和九	影印	(古典保存會本)	和	(一)	〇三	一一	
六四三	和歌庭訓	二條爲世	(爲兼卿和歌抄)	合本	和	一	五〇	四二	
六四四	和漢兼作集	(大正五序)	影寫版	和	一	五〇	四一		
六四五	和漢朗詠集	貞享元	和	一	五〇	五五			

語 學

六四六	色葉字類抄	上、中、下	大正一五	昭和三	影印	(古典保存會本)	和	(三)	〇三	一一
六四七	色葉字類抄攷略	山田孝雄	昭和三	影印	(古典保存會本)	和	(一)	〇三	一一	
六四八	和蘭文學略考	青木敦書(昆陽)	(大正六序)	影寫版	(珍書同好會本)	和	一	五〇	三六	
六四九	各國語に於ける馬	渡邊良	(明治三八序)	和	一	五〇	六七			
六五〇	草野氏日本文法	草野清民	明治三四	和	一	五〇	一一			
六五一	語彙活語指掌	(文部省)編輯寮編	明治四	和	一	五〇	五〇			
六五二	語彙別記	(文部省)編輯寮編	明治二〇	和	一	五〇	五一			
六五三	康熙字典	清	康熙中編	立野胤政校	明治一四	和	一	五〇	六二	
六五四	國語學研究史	花岡安見	明治三五	和	一	五〇	一四			
六五五	詞乃栞打聽	黒川眞頼著	鈴木弘恭編	明治二三	和	一	五〇	五八		
六五六	最新國文讀本	卷二	佐々木信綱	武田祐吉共編	昭和八	和	一	五〇	一〇	
六五七	サンダー氏第四讀本直譯並解釋	矢野安三郎譯	明治一七	和	一	五〇	二四			
六五八	昭和新聞國文讀本	卷二	高野辰之編	昭和六	和	一	五〇	一一		

六五九 世界文字論 古谷榮一

六六〇 節用文字 昭和七 影印 (古典保存會本)

六六一 續新日本文典 上田萬年 福井久藏 共著 明治三九

六六二 中學國文讀本 第三一〇 (第六缺) 弘文館編 明治三五

六六三 てに遠波紐鏡 本居宜長 明治一七

六六四 東 雅 第一一四 目錄 新井君美 明治三六

六六五 日本文彙 卷一 久米幹文編 明治二二

六六六 修正 日本文法教科書 上、下 大槻文彦 明治三五—三六

六六七 日本文法史 福井久藏 明治四〇

六六八 滿字隨筆 高橋景保 (大正七序) 際寫版

六六九 明治時代文範 大日本圖書株式會社編 (珍書同好會本) 明治三四

一 五〇 一一三

和 一 [一] 〇三 一一

和 一 五〇 一一三

和 一 五〇 一二七

和 一 五〇 一二五

和 [五] 〇二 四

和 一 五〇 八九

和 二 五〇 一一五

和 一 五〇 一〇〇

和 一 五〇 一一一

一 五〇 一一三

六〇 自然科學

六七〇 三正綜覽 上、下 內務省地理局編 明治一三

和 二 六〇 五

六七二 植學淺解 初篇 リントレイ著 小野職愨譯 明治一四

六七三 新式化學 第一一〇 太田雄寧譯編 明治九

六七四 增訂 新撰物理學教科書 本田光太郎 明治四四

六七五 人類學叢話 坪井正五郎 明治四〇 (學藝叢書第一)

六七六 人類自然史 礪原政職 大正一二

六七七 眞 曆 考 本居宜長 天明九

六七八 百科全書 地 文 學 關藤成緒譯 明治一五

六七九 朝鮮のカササギと其の巢 大正三 (動物學雜誌第二六第三〇五號「抜刷」)

七八〇 內洋經緯記 佐藤信淵著 大久保融校 明治一三

七八一 普通教育算術教科書上卷 附答式 横山三平編 明治二一

七八二 化文人類學 西村眞次 大正一三 (人類概論第一篇)

七八三 房總數學年表 三上義夫 昭和一一 (千葉縣圖書館叢書第七輯)

七八四 日本民族概論 喜田貞吉 大正七 (國史講習錄科外講義「抜刷」)

和 一 六〇 九

和 一〇 六〇 四

一 六〇 一〇

一 六〇 一

和 一 六〇 八

和 一 六〇 一

一 六〇 一三

和 一 六〇 七

和 一 六〇 六

一 六〇 二

一 六〇 一四

一 六〇 一五

七〇 産業交通

六八四	足利織物沿革誌	荒川宗四郎編	明治三五				
六八五	勸農固本録	上 萬屋時春 (享保一〇序)		和			
六八六	木曾山	徳川義親	大正四				
六八七	小作争議と南洋の農業に就て	武田信	大正一二				
六八八	諸外國ニ於ケル農業團體ニ關スル調査	農商務省農務局編	大正一四				
六八九	徳川商業叢書	國書刊行會編	大正二一三 (國書刊行會本第三期)				
	第一 一 絲亂記 二 奈良曝布古今俚諺集 (三枚散人古道) 三 町人考見録 (三井高房) 四 江戸町						
	方書上 五 後藤庄三郎山緒書 六 日本橋魚市場沿革紀要 (坂本二三郎)						
	第二 七 堂島舊記 八 延米商濫觴記 九 八木龍之卷 (見幾館主人) 一〇 八木虎之卷 (猛虎軒主人)						
	第三 二 大阪商業習慣録 (近藤芳樹) 一三 問屋沿革小誌 一四 十組問屋取詰書 一五 諸問屋再興						
	調 一五 古着問屋舊記 一六 兩替商舊記 一七 町人考見録追加 一八 八木豹之卷						
六九〇	徳川初期の海外貿易家	川島元次郎	大正六				
六九一	徳川幕府の米價調節	本庄榮次郎	大正一三				
六九二	日英交通史料	二、三 武藤長藏	昭和四一七 (「日歐交通年表略」ニ合本)				
六九三	嘉永以前 日歐交通年表略	東京帝室博物館編	明治三九				

六九四	日本交通史論	日本歴史地理學會編	大正一四				
六九五	日本商人五百年史	河瀬蘇北	大正一三				
六九六	日本鐵道史	上、中、下 鐵道省編	大正一〇				

八〇 美術諸藝

六九七	明石人丸像	刊					
六九八	「一休和尚書簡」	刊					
六九九	梅のおち葉	(明治四四序)					
七〇〇	オリンピックタを東京へ	寺部頼助	昭和九				
七〇一	音樂概論	田邊尙雄	大正一四 (音樂叢書第一篇)				
七〇二	近世繪畫史	藤岡作太郎	明治四三				
七〇三	全蘭集	高橋作衛編	明治三〇				
七〇四	國士の聲	前編 有田音松編	大正一〇				

七〇五 雜藝叢書 國書刊行會編 大正四（國書刊行會本第四期）

- 第一 一 揚弓射禮差矢抄同追考 二 遊花小言 三 投扇式 四 抛入花傳書 五 清少納言智惠板
- 六 口あひ指南 七 四喜きはつり 八 拳獨稽古 九 格五新譜 一〇 象棋六種之圖式（鶴峰茂申） 一一 中將棋指南抄 一二 洞簫曲 一三 裁菊玉手箱 一四 萬年青種蒔（牧島某） 一五 金魚養玩草（安達喜之） 一六 河美錄（津輕采女） 一七 料理物語 一八 復古印要（釋微）
- 第二 一九 古今俄選 二〇 座鋪狂言早合點 二一 茶番狂言早合點（式亭三馬） 二二 籠の塵 二三 香曲鼻毛拔 二四 鞠指南大成（飛鳥井政光） 二五 小弓肝要抄（藤原基盛） 二六 投壺指南（田中應清） 二七 擊毬談（觀德齋好騎） 二八 貝合次第 二九 盆登傳書（隣柳庵山樂） 三〇 盆山之書 三一 盆山秘言 三二 紙寫全書（古川碧璋） 三三 喚子鳥 三四 百千鳥 三五 養鷄辨（丸屋萬藏） 三六 花壇養菊集 三七 陶工秘傳彙 三八 水練早合點 三九 菓子話船橋 四〇 謎語彙抄 四一 昔紙 四二 秘事指南車 四三 古今物忘れの記 四四 物覺秘傳 四五 千里善走傳（岡伯敬） 四六 萬藝問合袋（幡桃合線柳） 四七 諸藝小鑑（彈松軒閑意）

七〇六 集古十種 第一一四 松平定信 明治四一（國書刊行會本第一期）

- 七〇七 縮寫集古十種 第六卷 同附錄 明治三六

七〇八 菘翁楷書千字文 第一一六 刊

- 七〇九 菘翁行書唐詩七絕 刊

七一〇 菘翁書初步習字法帖 刊

- 七一 聖德太子奉讀展號 第二回 昭和五（朝日グラフ臨時増刊號）

七一二 書畫名鑑 共進書畫會部編 明治四三

七一三 世界印刷通史 三秀舍編 昭和五

第一 一 世界印刷通史（中山久四郎） 二 日本印刷史（龍肅） 三 明治大正日本印刷術史（郡山幸男 馬場力共編）
第二 四 支那印刷史（中山久四郎） 五 朝鮮印刷史（中山久四郎）

七一四 雪舟研究 長谷川三郎 昭和四

七一五 船首王後墓志銅版拓影 昭和一〇 影印

七一六 仙臺古名家真蹟書畫 明治二七

七一七 先哲遺芳 孔子祭典會編 明治四三

七一八 泰西名作集目錄 東京美術學校文庫編 明治三六

七一九 大日本畫家名鑑 大日本繪畫講習會代理部編 昭和八

七二〇 大日本美術史 第六 黒田鶴心 大正一一（趣味講座叢書第十三篇）

七二一 淡交會圖錄 第四回 昭和二

七二二 唐銀鋌影印 昭和一〇 影印

七二三 特別保護建造物及國寶帖 解説

七二四 那須國造碑考 三田稱平（地山） 明治一一

七二五 南畫史要 梅澤和軒 大正一一（文化叢書第七編）

七二六 日本書畫苑 國書刊行會編 大正三一四（國書刊行會本第四期）

一三三 〇三 五

〔四〕 〇三 五

一 八〇 二四

一 八〇 二四

一 八〇 二二

一 八〇 二二

一 八〇 二二

二 八〇 一六

二 八〇 一八

一 八〇 一七

一 八〇 三九

一 八〇 二三

一 八〇 四五

一 八〇 四九

一 八〇 一八

一 八〇 九

一 八〇 二〇

一 八〇 四〇

一 八〇 二五

一 八〇 四七

一 八〇 七

〔一〕 〇三 五

- 第一 一 弘法大師書法系圖 二 麒麟抄 三 金玉積傳集諸額次第 四 筆法才葉集 五 夜鶴書札抄 六 書法式 七 書道訓(森尹祥) 八 入木傳書目錄 九 筆道秘傳抄(小鹽剛照) 一〇 能書事蹟(穗積保) 二 執筆撥書法(細井知慎) 三 觀鷲百源(細井知慎) 四 觀鷲百源批考(中山延冲) 二 書法發揮(河原保壽) 三 泥上漫草 四 墨道私言(細井知文) 一七 學書捷徑(鳩谷孔平) 一八 東江先生書話(橋本圭橋) 一九 米家書訣(市河三亥) 二〇 狩谷披書手簡 二一 協池清談
- 第二 三 畫論傳授秘事口訣 三 畫巧潛覽抄(大岡愛翼) 二 畫法彩色法卷(西川祐信) 三 畫則雜話(櫻井雪館) 三 畫道金剛杆(中林成昌) 三 畫道傳授口訣(狩野彰信) 三 畫法小論(清 李漁) 元 三 曉庵隨筆(木村時員) 三 繪事部言(桑山嗣榮) 三 文晁畫談(谷文晁) 三 輪翁畫譚(屋代弘賢) 三 山中入饒舌(田能村孝憲) 三 本朝畫史(猿野永納) 三 續本朝畫史(檜山義慎) 三 丹青若木集(狩野重良) 三 狩野五家譜(小林自閑齋) 三 國畫考(齋藤彦磨) 元 夢のたゞち(堀直格) 四 養德錦顯文鈔(堀直格)

- 七〇 日本書畫年契 優美館人編 明治二六 一 一 八〇 四八
- 七〇 稿 日本帝國美術略史 東京帝國博物館編 大正五 一 一 八〇 五
- 七〇 日本版畫史 ザイドリッツ著 蘇武謙郎譯 大正一二 一 一 八〇 三
- 七〇 日本名寶展畫集 第一、二 庄田良編 昭和四一五 二 二 八〇 二
- 七〇 日本名寶物語 第一、二 讀賣新聞社編 昭和四一五 二 二 八〇 一
- 七〇 〔箱根關所圖〕 寫彩色 一軸 一 八〇 三七
- 七〇 槃澗餘香 昭和七 一 一 八〇 一九
- 七〇 文 机 談 第一—三 釋隆圓 (大正六序) 騰寫版 (珍書同好會本) 和 三 一 八〇 一〇

- 七〇 文徵明朝下帖 刊 和 一 一 八〇 二六
- 七〇 法起寺塔婆露盤銘文考 會津八一 刊 一 一 八〇 五〇
- 七〇 豐公遺寶圖略 吳景文 岡本豐彦畫 天保三 和 一 一 八〇 一一
- 七〇 水戸先哲遺墨帖 孔子祭典會編 大正五 一 一 八〇 四四
- 七〇 蘭崖畫譜 三宅陶崖畫 刊 和 一 一 八〇 一五

拓本

- 七〇 尾高忠藏之碑 一枚 一 八〇 五三
- 七〇 尾高忠藏君碑陰記 大森金五郎撰文 木村宗吉書 明治四〇 一枚 一 八〇 五一
- 七〇 〔開懸表彰碑〕 (原題缺) 有栖川宮熾仁親王 明治一四 一枚 一 八〇 六一
- 七〇 〔開懸表彰碑〕 (原題缺) 有栖川宮熾仁親王 明治一五 一枚 一 八〇 六一
- 七〇 行幸堤記 近藤芳樹撰文 岡守節書 明治一〇 一枚 一 八〇 五五
- 七〇 行幸堤之碑 一枚 一 八〇 五五
- 七〇 〔元弘三年碑〕 (原題缺) 元弘三 一軸 一 八〇 三三
- 七〇 白河城外南湖詩二十韻並和歌 二枚 一 八〇 五七

- 七八 墨沱梅莊記 亀田興(鶴齋) 撰文並書 文化一一 一枚 八〇 五六
- 七九 西山山莊記 野口勝一(河北) 撰文 明治三八 一枚 八〇 五九
- 八〇 前興國寺城主天野君碑 三島毅撰文 石川英書 明治二九 一枚 八〇 五八
- 八一 「大日本地名アトイヤ標木」 (原題缺) 一軸 八〇 三六
- 八二 忠魂碑 白井嘉右衛門書 一枚 八〇 五四
- 八三 「東大寺大佛寶殿碑」 (原題缺) 源吉貴 寛文六 一軸 八〇 三〇
- 八四 「勿來關碑」 (原題缺) 筒井憲 嘉永四 一軸 八〇 三三
- 八五 「勿來關碑」 (原題缺) 文政五 一軸 八〇 三四
- 八六 「那須國造碑」 (原題缺) 一軸 八〇 三五
- 八七 楠公首塚碑 篠崎端 撰文並書 弘化二 一軸 八〇 二八
- 八八 濃州養老泉碑銘 近藤篤 一軸 八〇 三八
- 八九 梅里先生墓誌銘 二枚 八〇 六〇
- 九〇 常陸國海雲山長勝禪寺鐘銘並序 一軸 八〇 四一
- 九一 常陸國海雲山長勝禪寺鐘銘並序 四枚 八〇 六二
- 九二 「湊川碑陰記」 (原題缺) 一軸 八〇 二九

七三 矢澤文齋先生墓碣 島田鈞一撰文 齋藤利恆書 明治三二 一枚 八〇 五二

九〇 歴史 傳記 地誌

九〇〇 歴史

- 七四 增新撰年表 清宮秀堅著 安藤一郎補 明治二五 和 一枚 九〇〇 五
- 七五 西力東侵史 齋藤阿具 明治三五 一枚 九〇〇 三
- 七六 世界讀史地圖 依田雄甫編 明治三一 一枚 九〇〇 四
- 七七 統合歴史教科書 年表 齋藤斐章 大正三 一枚 九〇〇 七
- 七八 萬國大年表 棚橋一郎 小川銀次郎共編 明治三六 一枚 九〇〇 二
- 七九 明治以後に於ける歴史學の發達 歴史教育研究會編 昭和七 一枚 九〇〇 一
- 八〇 「早稻田大學歴史講座」 (原題缺) 早稻田大學出版部編 一枚 九〇〇 六

一 南北朝時代史(久米邦武) 二 奈良朝史(重野安釋) 三 東洋史參考書解題(高桑駒吉)
 四 南北アメリカ史(野々村成三) 五 印度史(高桑駒吉) 六 安土桃山時代史(渡邊世祐)
 七 北狄史(高桑駒吉) 八 古文書學講義(久米邦武) 九 英國史(野々村成三) 一〇 佛蘭西

九一〇 日本史

七二	詠史句集	橋田東阜	昭和三		
七三	改元物語	林恕 刊	〔幼學指要〕ニ合本	和	〔一〕 五〇
七四	鏡と劔と玉	高橋健自	明治四四		二〇 一六
七五	記録雜抄	大森金五郎編	謄寫版		一 九二〇 二〇
七六	記録抄本	一、二 大森金五郎編	謄寫版		二 九二〇 六〇 六一
七七	正 皇朝史略字引	佐野多氣雄編	明治一一	和	一 九二〇 四八
七八	國史教育の改善	中村孝也	昭和一一	〔啓明會紀要第二〇號〕	一 九二〇 五八
七九	國史之教育	喜田貞吉	明治四三		〔一〕 二〇 六
八〇	國史便覽	重田定一等編	明治三一		一 九二〇 二二
八一	修史餘課	徳富猪一郎(蘇米)	昭和六		一 九二〇 一七
八二	莊 園 考	栗田寛	明治二一		一 九二〇 一五

八三	昭和十年の國史學會	代々木會編	昭和一一		一 九二〇 六三
八四	史 論	上、下 安積覺(良齋)	明治一三	和	一 九二〇 四七
八五	新國史論叢	大森金五郎	昭和一一		一 九二〇 二
八六	祖 志	岡本監輔	明治二三		一 九二〇 三一
八七	日韓古史斷	吉田東伍	明治二六		一 九二〇 一九
八八	日本海上史論	日本歴史地理學會編	明治四四		一 九二〇 一

一 日韓交通の概要(幣原坦) 二 古代日支の交通(喜田貞一) 三 王朝の海賊(喜田貞一)
 四 日宋の交通(黒板勝美) 五 源平二氏の交戦(大森金五郎) 六 文永弘安の役(大森金五郎)
 七 海賊と開港(久米邦武) 八 日明の交通と海賊(渡邊世祐) 九 江戸時代初期の海外交通(辻善之助) 一〇 領國とは何ぞや(内田銀藏) 一一 世界大勢の推移と開國(内田銀藏)
 一二 江戸時代の海運事業(藤田明) 一三 幕末海防論の發達(横山達三) 一四 四國聯合艦隊下關砲撃見講話(栗屋正臣) 一五 海の歴史と日本海々戦(小笠原長生) 一六 日本群島(小川琢治) 一七 人文地理學上より見たる島帝國(寺田貞次)

八八	日本樂府	頼襄(山陽)	明治四三	和	一 九二〇 五五
八九	日本文化史概論	西村眞次	昭和五		一 九二〇 一三
九〇	日本歴史及地理要覽	堀田瓊左右	明治三六		一 九二〇 一四
九一	〔日本歴史講義草稿〕	一—一五回分	大森金五郎稿		一 九二〇 八七
九二	日本歴史地理之研究	吉田東伍	大正一三		一 九二〇 二一

- 歴史 傳記 地誌 日本史
- 幕府衰亡論 福地源一郎(櫻痴) 明治二五
- 歴史談その折々 大森金五郎 明治三九 (史學叢書第一編)

一四〇

一九一〇 一六
一九一〇 五一

年表辭典

- 改訂 維新後大年表 妻木忠太(碧峯)編 大正一四
- 江戶年代記 繁瀬玄策編 明治四二
- 改正年代記 岩井久廣編 明治八
- 合戰年表稿 寫本
- 國史辭典 重田定一 明治三二
- 國史年表 (明治四〇序)
- 最新國史年表 大森金五郎 高橋昇造共編 明治四五
- 補 最新日本歴史年表 大森金五郎 高橋昇造共編 昭和一一
- 史籍解説 大森金五郎編 昭和一二
- 史籍年表 伴信友編 (文政一一序)
- 拾芥抄 上、中、下 藤原實熙

和 一九一〇 三
和 一九一〇 四
和 一九一〇 八三
和 一九一〇 五六
和 一九一〇 七
一九一〇 六二
一九一〇 五九
一九一〇 五
一九一〇 三四
和 一九一〇 四九
和 一九一〇 四二

- 泰平年表 忍屋隱士(大野廣城)編 (天保一二序)
- 日本史籍年表 前編 自仁和四年 小泉安次郎編 明治三七
至慶長七年
- 日本讀史年表 大森金五郎編 昭和九
- 日本歴史辭典 歴史及地理講習會編 明治三四
- 日本歴史年表 鳥田增平編 大正一四
- 明治大年表 小川多一郎編 大正三

叢書

- 菅政友全集 菅政友 明治四〇 (國書刊行會本第一期)
 - 一 南山皇胤譜 二 古事記年紀考 三 淤能基呂島考 四 漢籍倭人考 五 任那考 六 藤原氏擅權考 七 熊澤蕃山陶居始末 八 雜考
- 國史講習錄 國史講習會編 大正一三一—一四
 - 第一 一 日本古代史(堀田璋左右)
 - 第二 二 平安朝史(川上多助)
 - 第三 三 鎌倉時代史(龍肅)
 - 第四 四 南北朝史(牧野純一)
 - 第五 五 室町時代史(長沼賢海)
 - 第六 六 安土桃山時代史(花見朝己)
 - 第七 七 江戸時代史前編(栗田元次)

(一) 〇三 五

二〇 九一〇 五四

一四一

- 第八 八江戸時代史後編(龍居松之助)
- 第九 九幕末維新史前編(岡部精一)
- 第一〇 一〇幕末維新史後編(藤井甚太郎)
- 第一一 一明治史(時野谷常三郎)
- 第一二 一二國史研究法(大類伸)
- 第一三 一三日本最近外交史(齋藤文藏)
- 第一四 一四古文書學(伊木壽一)
- 第一五 一五國史の周圍觀(久米邦武)
- 第一六 一六日本朝鮮比較史話(吉田東伍)
- 第一七 一七日本美術史(藤懸靜也)
- 第一八 一八日本法制史(堀田璋左右)
- 第一九 一九日本考古學(柴田常惠)
- 第二〇 二〇科外講義

八四

國史講習錄 第二期第一一六號 國史講習會編 大正八一九

六九一〇 五四

八五

國史大系 經濟雜誌社編 明治三〇一三四

一七九一〇 三六

- 第一 一日本書紀
- 第二 二續日本紀
- 第三 三日本後紀(藤原冬嗣等)
- 第四 四三代實錄(藤原時平等)
- 第五 五日本紀略
- 第六 六日本逸史(鴨祐之)
- 第七 七古事記(太安萬侶)
- 第八 八本朝世紀(藤原通憲)
- 第九 九一公卿補任
- 第一〇 一〇令義解
- 第一一 一一延曆交替式
- 一二 一二類聚三代格
- 一三 一三貞觀交替式
- 一四 一四類聚符宣抄
- 一五 一五續左丞抄
- 一六 一六延喜交替式
- 一七 一七貞觀交替式
- 一八 一八延喜交替式
- 一九 一九類聚符宣抄
- 二〇 二〇續左丞抄
- 二一 二一類聚三代格
- 二二 二二類聚符宣抄
- 二三 二三類聚符宣抄
- 二四 二四類聚符宣抄
- 二五 二五類聚符宣抄
- 二六 二六類聚符宣抄
- 二七 二七類聚符宣抄
- 二八 二八類聚符宣抄
- 二九 二九類聚符宣抄
- 三〇 三〇類聚符宣抄
- 三一 三一類聚符宣抄
- 三二 三二類聚符宣抄
- 三三 三三類聚符宣抄
- 三四 三四類聚符宣抄
- 三五 三五類聚符宣抄
- 三六 三六類聚符宣抄
- 三七 三七類聚符宣抄
- 三八 三八類聚符宣抄
- 三九 三九類聚符宣抄
- 四〇 四〇類聚符宣抄
- 四一 四一類聚符宣抄
- 四二 四二類聚符宣抄
- 四三 四三類聚符宣抄
- 四四 四四類聚符宣抄
- 四五 四五類聚符宣抄
- 四六 四六類聚符宣抄
- 四七 四七類聚符宣抄
- 四八 四八類聚符宣抄
- 四九 四九類聚符宣抄
- 五〇 五〇類聚符宣抄
- 五一 五一類聚符宣抄
- 五二 五二類聚符宣抄
- 五三 五三類聚符宣抄
- 五四 五四類聚符宣抄
- 五五 五五類聚符宣抄
- 五六 五六類聚符宣抄
- 五七 五七類聚符宣抄
- 五八 五八類聚符宣抄
- 五九 五九類聚符宣抄
- 六〇 六〇類聚符宣抄
- 六一 六一類聚符宣抄
- 六二 六二類聚符宣抄
- 六三 六三類聚符宣抄
- 六四 六四類聚符宣抄
- 六五 六五類聚符宣抄
- 六六 六六類聚符宣抄
- 六七 六七類聚符宣抄
- 六八 六八類聚符宣抄
- 六九 六九類聚符宣抄
- 七〇 七〇類聚符宣抄
- 七一 七一類聚符宣抄
- 七二 七二類聚符宣抄
- 七三 七三類聚符宣抄
- 七四 七四類聚符宣抄
- 七五 七五類聚符宣抄
- 七六 七六類聚符宣抄
- 七七 七七類聚符宣抄
- 七八 七八類聚符宣抄
- 七九 七九類聚符宣抄
- 八〇 八〇類聚符宣抄
- 八一 八一類聚符宣抄
- 八二 八二類聚符宣抄
- 八三 八三類聚符宣抄
- 八四 八四類聚符宣抄
- 八五 八五類聚符宣抄
- 八六 八六類聚符宣抄
- 八七 八七類聚符宣抄
- 八八 八八類聚符宣抄
- 八九 八九類聚符宣抄
- 九〇 九〇類聚符宣抄
- 九一 九一類聚符宣抄
- 九二 九二類聚符宣抄
- 九三 九三類聚符宣抄
- 九四 九四類聚符宣抄
- 九五 九五類聚符宣抄
- 九六 九六類聚符宣抄
- 九七 九七類聚符宣抄
- 九八 九八類聚符宣抄
- 九九 九九類聚符宣抄
- 一〇〇 一〇〇類聚符宣抄

八六

續國史大系 經濟雜誌社編 明治三五一三七

一五九一〇 三七

- 第一 一續日本紀
- 第二 二日本後紀(藤原冬嗣等)
- 第三 三日本後紀(藤原良房等)
- 第四 四日本三代實錄(藤原時平等)
- 第五 五日本三代實錄(藤原時平等)
- 第六 六類聚國史前後篇(菅原道真等)
- 第七 七古事記(太安萬侶)
- 第八 八先代舊事本紀(蘇我馬子等)
- 第九 九神道五部書
- 第一〇 一〇日本書記私記
- 第一一 一一日本書記私記
- 第一二 一二日本書記私記
- 第一三 一三日本書記私記
- 第一四 一四日本書記私記
- 第一五 一五日本書記私記
- 第一六 一六日本書記私記
- 第一七 一七日本書記私記
- 第一八 一八日本書記私記
- 第一九 一九日本書記私記
- 第二〇 二〇日本書記私記
- 第二一 二一日本書記私記
- 第二二 二二日本書記私記
- 第二三 二三日本書記私記
- 第二四 二四日本書記私記
- 第二五 二五日本書記私記
- 第二六 二六日本書記私記
- 第二七 二七日本書記私記
- 第二八 二八日本書記私記
- 第二九 二九日本書記私記
- 第三〇 三〇日本書記私記
- 三一 三一日本書記私記
- 三二 三二日本書記私記
- 三三 三三日本書記私記
- 三四 三四日本書記私記
- 三五 三五日本書記私記
- 三六 三六日本書記私記
- 三七 三七日本書記私記
- 三八 三八日本書記私記
- 三九 三九日本書記私記
- 四〇 四〇日本書記私記
- 四一 四一日本書記私記
- 四二 四二日本書記私記
- 四三 四三日本書記私記
- 四四 四四日本書記私記
- 四五 四五日本書記私記
- 四六 四六日本書記私記
- 四七 四七日本書記私記
- 四八 四八日本書記私記
- 四九 四九日本書記私記
- 五〇 五〇日本書記私記
- 五一 五一日本書記私記
- 五二 五二日本書記私記
- 五三 五三日本書記私記
- 五四 五四日本書記私記
- 五五 五五日本書記私記
- 五六 五六日本書記私記
- 五七 五七日本書記私記
- 五八 五八日本書記私記
- 五九 五九日本書記私記
- 六〇 六〇日本書記私記
- 六一 六一日本書記私記
- 六二 六二日本書記私記
- 六三 六三日本書記私記
- 六四 六四日本書記私記
- 六五 六五日本書記私記
- 六六 六六日本書記私記
- 六七 六七日本書記私記
- 六八 六八日本書記私記
- 六九 六九日本書記私記
- 七〇 七〇日本書記私記
- 七一 七一日本書記私記
- 七二 七二日本書記私記
- 七三 七三日本書記私記
- 七四 七四日本書記私記
- 七五 七五日本書記私記
- 七六 七六日本書記私記
- 七七 七七日本書記私記
- 七八 七八日本書記私記
- 七九 七九日本書記私記
- 八〇 八〇日本書記私記
- 八一 八一日本書記私記
- 八二 八二日本書記私記
- 八三 八三日本書記私記
- 八四 八四日本書記私記
- 八五 八五日本書記私記
- 八六 八六日本書記私記
- 八七 八七日本書記私記
- 八八 八八日本書記私記
- 八九 八九日本書記私記
- 九〇 九〇日本書記私記
- 九一 九一日本書記私記
- 九二 九二日本書記私記
- 九三 九三日本書記私記
- 九四 九四日本書記私記
- 九五 九五日本書記私記
- 九六 九六日本書記私記
- 九七 九七日本書記私記
- 九八 九八日本書記私記
- 九九 九九日本書記私記
- 一〇〇 一〇〇日本書記私記

八七

新訂 國史大系 黑板勝美編 昭和四一三一

四六九一〇 三八

- 第一 一續日本紀
- 第二 二日本後紀(藤原冬嗣等)
- 第三 三日本後紀(藤原良房等)
- 第四 四日本三代實錄(藤原時平等)
- 第五 五日本三代實錄(藤原時平等)
- 第六 六類聚國史前後篇(菅原道真等)
- 第七 七古事記(太安萬侶)
- 第八 八先代舊事本紀(蘇我馬子等)
- 第九 九神道五部書
- 第一〇 一〇日本書記私記
- 第一一 一一日本書記私記
- 第一二 一二日本書記私記
- 第一三 一三日本書記私記
- 第一四 一四日本書記私記
- 第一五 一五日本書記私記
- 第一六 一六日本書記私記
- 第一七 一七日本書記私記
- 第一八 一八日本書記私記
- 第一九 一九日本書記私記
- 第二〇 二〇日本書記私記
- 第二一 二一日本書記私記
- 第二二 二二日本書記私記
- 第二三 二三日本書記私記
- 第二四 二四日本書記私記
- 第二五 二五日本書記私記
- 第二六 二六日本書記私記
- 第二七 二七日本書記私記
- 第二八 二八日本書記私記
- 第二九 二九日本書記私記
- 第三〇 三〇日本書記私記
- 三一 三一日本書記私記
- 三二 三二日本書記私記
- 三三 三三日本書記私記
- 三四 三四日本書記私記
- 三五 三五日本書記私記
- 三六 三六日本書記私記
- 三七 三七日本書記私記
- 三八 三八日本書記私記
- 三九 三九日本書記私記
- 四〇 四〇日本書記私記
- 四一 四一日本書記私記
- 四二 四二日本書記私記
- 四三 四三日本書記私記
- 四四 四四日本書記私記
- 四五 四五日本書記私記
- 四六 四六日本書記私記
- 四七 四七日本書記私記
- 四八 四八日本書記私記
- 四九 四九日本書記私記
- 五〇 五〇日本書記私記
- 五一 五一日本書記私記
- 五二 五二日本書記私記
- 五三 五三日本書記私記
- 五四 五四日本書記私記
- 五五 五五日本書記私記
- 五六 五六日本書記私記
- 五七 五七日本書記私記
- 五八 五八日本書記私記
- 五九 五九日本書記私記
- 六〇 六〇日本書記私記
- 六一 六一日本書記私記
- 六二 六二日本書記私記
- 六三 六三日本書記私記
- 六四 六四日本書記私記
- 六五 六五日本書記私記
- 六六 六六日本書記私記
- 六七 六七日本書記私記
- 六八 六八日本書記私記
- 六九 六九日本書記私記
- 七〇 七〇日本書記私記
- 七一 七一日本書記私記
- 七二 七二日本書記私記
- 七三 七三日本書記私記
- 七四 七四日本書記私記
- 七五 七五日本書記私記
- 七六 七六日本書記私記
- 七七 七七日本書記私記
- 七八 七八日本書記私記
- 七九 七九日本書記私記
- 八〇 八〇日本書記私記
- 八一 八一日本書記私記
- 八二 八二日本書記私記
- 八三 八三日本書記私記
- 八四 八四日本書記私記
- 八五 八五日本書記私記
- 八六 八六日本書記私記
- 八七 八七日本書記私記
- 八八 八八日本書記私記
- 八九 八九日本書記私記
- 九〇 九〇日本書記私記
- 九一 九一日本書記私記
- 九二 九二日本書記私記
- 九三 九三日本書記私記
- 九四 九四日本書記私記
- 九五 九五日本書記私記
- 九六 九六日本書記私記
- 九七 九七日本書記私記
- 九八 九八日本書記私記
- 九九 九九日本書記私記
- 一〇〇 一〇〇日本書記私記

- 第二七 元新抄格勅符抄 三 法曹類林(藤原通憲編) 三 類聚符宣抄 三 續左丞抄 三 別
- 第二八 三 政事要略
- 第三一 一 日本高僧傳要文抄(釋宗性) 二 元亨釋書(釋師鍊)
- 第三二 一 三三 三 吾妻鏡前後篇
- 第三四 一 三七 三 後鑑第一一四篇
- 第三八 一 四七 三 德川實紀第一一〇篇
- 第四八 一 五二 三 德川實紀第一一五篇
- 第五一 一 五七 三 公卿補任第三一五篇

史籍雜纂

圖書刊行會編 明治四四一四五

[五] 〇三 五

(圖書刊行會本第二期)

- 第一 一 關東往還記 二 高山寺明惠上人行狀 三 竹むきが記(日野竹向) 四 天文法胤松本問答記 五 宗法門答(釋賴慶 釋貞安) 六 貞女問答(釋賴慶 釋貞安) 七 品川問答記 八 冷泉族譜 九 大村記 一〇 大村家秘錄 一一 應仁私記 一二 加越問諍記 一三 房總里見誌(岡島成邦) 一四 日向記
- 第二 一 五 當代記 二 六 駿府記 三 七 有斐錄(三村永忠) 一八 松のさかえ
- 第三 一 九 大系圖評述中抄(建部實助) 二 諸由緒家傳資料(大田草) 三 地頭名義考(黒川春村) 三 於多海(猪飼房續) 三 關城書考(中山信名)
- 第四 一 二 相述編年(伊知地貞馨) 三 世子奉勅東下記(兼重藏) 三 了卯日記(中根節實) 三 戊辰日記(中根節實) 三 水戸藩黨爭始末
- 第五 一 三 靜寛院宮日記 三 嵯峨實愛手記 三 藤の茨(勝海舟) 三 不愠錄(徳川齊昭) 三 有村家文書 三 會津藩文書 三 岡山春秋(平井義比) 三 海西雜記(中岡慎太郎) 三 行々筆記(中岡慎太郎) 三 指華入京日記

史籍集覽

近藤城編 明治三三—三六

- 第一 一 校本扶桑略記(釋皇國) 二 校本一代要記

三三 九一〇 二六

- 第二 一 校本愚管抄 二 神明鏡 三 神皇正統錄 六 宇多天皇實錄(林信勝) 七 校本續世繼(今鏡) 八 月のゆく(荒木田麗子)
- 第三 一 九 池の藻屑(荒木田麗子) 一〇 櫻雲記 一一 南方紀傳 一二 菊池傳記(井澤長秀) 一三 浪合記 一四 信濃宮傳附系譜 一五 十津川之記 一六 底倉之記 一七 應仁前記 一八 應仁廣記 一九 應仁後記 二〇 續應仁後記
- 第四 一 三 南山巡狩錄(大草公弼)
- 第五 一 三 北條九代記(三浦茂信) 三 鎌倉大草紙 三 鎌倉九代後記 三 關八州古戦録(駒谷散入) 三 北條五代記(三浦茂信)
- 第六 一 三 淺井三代記 三 朝倉始末記 三 太閤記(小瀬市庵)
- 第七 一 三 南海通記(香西成資) 三 豐薩軍記(長林樵隱) 三 安西軍策
- 第八 一 三 奧羽永慶軍記(戸部正直)
- 第九 一 〇 校本今昔物語(源隆國) 一 古今著聞集(橋成季)
- 第一〇 一 〇 校本古事談 三 今物語(藤原信實) 三 塵塚物語 三 老人雜談(江村孝齊) 四〇 備前老人物語 四一 武功雜記(松浦鎮信) 四二 見聞集(三浦淨心) 四三 落穂集(大道寺重祐)
- 第一一 一 〇 志士清談(南條八郎) 一 神書(新井君美) 二 著書待聞(小宮山昌秀) 三 七 介壽筆叢(山地介壽) 四 列公問話(池田光政) 五 武藝小傳(江夏繁高) 六 以貴小傳 五 中外經緯傳(伴信友) 三 明良帶錄(山形豐寛) 三 恩榮錄(小田彰信) 五 廢絶錄(小田彰信)
- 第一二 一 〇 校本大織冠公傳(藤原仲滿) 一 武智麻呂傳(釋延慶) 一 和氣清麻呂傳 一 和氣清麻呂參字佐輪詞 一 田村麻呂傳記 二 叡山大師傳 二 傳教大師行業記 六 傳教大師行狀 三 延曆寺故内供奉和上行狀 四 慈覺大師傳 五 空海僧都傳(釋眞濟) 六 贈大僧正空海和上行狀 七 高野贈大僧正傳 六 大師御行狀集記 六 西行一生涯草紙 七 上杉略譜(近藤守重) 七 東海一休和尚年譜記 七 定西法師傳 七 法隆寺古今目錄拔萃 七 山門三井確執起 七 熊野河當代々記 七 仁和寺御門跡 七 大覺寺門跡次第 七 安井門跡次第 七 勤修寺長史次第 八 文覺四十五箇條 八 高尾山神護寺宮符 八 高尾山中興記 八 那須雲巖寺舊記 八 武州陽雲寺記 八 諸寺塔供

養記 六八 興福寺英俊法印記 六九 南嶽寺興慶記同附錄 八八 雅實公記(源雅實) 八九 番
 具通公記 九〇 寶院殿將軍軍宣下記 九二 陸奥朝記(藤原隆盛) 九三 七卷册子 九四 久世相國
 七五 奉衡征伐物語 九六 承久兵亂記 九七 弘長記 一〇〇 竹崎五郎繪詞(蒙古襲來繪卷物の
 詞書) 一〇一 舟上記 一〇二 和田系圖裏書 一〇三 永享記 一〇四 永享後記 一〇五 湘山星移
 集(應永廿二年上杉禪秀亂) 一〇六 松陰私語(釋松陰)

第一三

一〇七 嘉吉物語 一〇八 長祿記 一〇九 應仁亂消息 一一〇 細川勝元記 一一一 官地論 一一二 長
 享年後畿内兵亂記 一一三 細川大心院記 一一四 今井軍記 一一五 瓦林政頼記 一一六 足利季
 世記(島山記) 一一七 舟岡記 一一八 高國記 一一九 三好記 一二〇 勝軍地蔵軍記 一二一 久米
 田軍記 一二二 義秋公方記 一二三 野田福島合戰記 一二四 道家祖看記 一二五 立入左京亮入
 道隆佐記 一二六 佐柿國吉之城栗屋越中以下龍城次第 一二七 瀬尾舊記 一二八 太閤素生記
 一二九 祖父物語(朝日物語) 一三〇 惟任退治記(大村由己) 一三一 賤岳合戰記 一三二 志津ヶ
 嶽合戰小須賀九兵衛記 一三三 佐久間軍記 一三四 太閤紀州發向記(大村由己) 一三五 四國
 發向并北國御動座記(大村由己) 一三六 任官之記(大村由己) 一三七 豐太閤大阪城中壁書
 (文祿四) 一三八 豐内記 一三九 利家夜話(村井勘十郎) 一四〇 立花朝鮮記(大野貞成記)
 一四一 朝鮮陣古文(慶長四) 一四二 大和軍記 一四三 關岡家始末記 一四四 伊勢國司傳記
 一四五 勢州記事 一四六 清須合戰記 一四七 名古屋合戰記 一四八 湯淺甚助眞宗傳記 一四九 長
 篠合戰物語(小幡勘兵衛覺書) 一五〇 高天神小笠原家譜 一五一 今川記 一五二 富籠記(齋
 藤道齋) 一五三 富山記追加 一五四 深澤城矢文 一五五 反町大膳訴狀 一五六 蘆田記(依田
 記) 一五七 松山岩村記事 一五八 里見代々記 一五九 里見九代記 一六〇 國府臺戰記(鴻臺前
 記) 一六一 鴻臺後記 一六二 土氣古城再興傳來記 一六三 長倉追討記(永享七) 一六四 園部
 狀 一六五 常陽四戰記 一六六 水谷蟻龍記 一六七 頓化原合戰記 一六八 老士雜談
 一六九 土岐累代記 一七〇 堂洞軍記 一七一 鎌山記 一七二 一柳家記(一柳圖書) 一七三 中村一
 氏記 一七四 渡邊勘兵衛武功覺書(渡邊勘兵衛) 一七五 飛騨國治亂記 一七六 飛州軍覽記
 一七七 飛州三澤記(釋玄海) 一七八 飛州千光寺記(釋玄海) 一七九 大塔軍記(釋亮深)
 一八〇 壽齋記(二木壽齋) 一八一 松岡夜話 一八二 川中島五度合戰次第 一八三 新田老談記
 一八四 館林盛衰記 一八五 眞田記 一八六 眞田氏大阪陣略記 一八七 加澤平次左衛門覺書(加
 澤平次左衛門) 一八八 唐澤老談記(佐野宗綱記) 一八九 那須記 一九〇 藤葉榮衰記

第一四

一九一 氏郷記 一九二 蒲生氏郷記(神戸道門補) 一九三 蒲生飛騨守氏郷書狀之寫(杉原親清)
 一九四 會津陣物語(杉原親清)

第一五

一九五 雲州軍話(多々良一龍) 一九六 丹羽三家物語 一九七 細川忠興軍功記 一九八 細川興齋
 覺書 一九九 大内多々良氏譜牒 二〇〇 備前文明亂記 二〇一 妙善寺合戰記 二〇二 毛利元就
 記 二〇三 老翁物語 二〇四 高松城攻之物語(佐柿常國記) 二〇五 清水長左衛門尉平宗治由
 來覺書 二〇六 備中兵亂記 二〇七 太田水賣記 二〇八 若州湯川彦右衛門覺書 二〇九 脇坂家
 傳記 二一〇 長曾我部譜 二一一 長曾我部覺書 二一二 福富平右衛門親政法名淨安學書(福
 富親政) 二一三 藤堂家覺書 二一四 宗像軍記 二一五 菅氏世譜(具原好古) 二一六 高橋相運
 記(九州兵亂記又九州相運記又相運記原題立花字之記) 二一七 肥陽軍記 二一八 有馬晴信
 記(有馬傳記) 二一九 清正記(古橋又玄) 二二〇 朝鮮國王稱加藤清正文 二二一 加藤肥後守
 忠廣之事 二二二 本山豐前守安政父子軍功覺書 二二三 島津家譜 二二四 島津家元祖之事
 二二五 島津家代々軍記

第一六

二二六 田中兵部殿關ヶ原覺書(高坂半齋話) 二二七 片桐家秘記 二二八 冬夏難波深祕錄(む
 かし物語) 二二九 龜田大隅守高綱泉州櫻井表合戰覺書(龜田鐵齋) 二三〇 長澤開書(長澤
 九郎兵衛) 二二二 大久保彦左衛門覺書(大久保彦左衛門) 二二三 大阪陣之時御觸書
 二二四 若州開書 二二五 建康棟御物語筆記附御貝足 二二六 諸士軍談 二二七 岡田竹右衛門覺
 書 二二八 本多越前守利長家之覺書 二二九 水野日向守覺書(水野勝成) 三〇〇 松永道齋開
 書 三〇一 渡邊幸庵對話(杉本義隆) 三〇二 立花立齋島原戰之覺書(立花宗茂) 三〇三 天草
 土賊城中之話(山口右衛門佐) 三〇四 三時三彌介書上之寫 三〇五 山井正雪召捕之次第
 三〇六 戸木林以下黨徒一件書付 三〇七 越後家一件 三〇八 赤城土話(東城守拙) 三〇九 廣澤
 記(細井知慎) 三一〇 義夫理兵衛記(和角維幹) 三一〇 繪島罪斷事略 三一三 山縣大貳御仕
 置一件 三一四 近藤重藏甲冑石像之儀に付申開書 三一五 渡邊華山口書 三一六 無人島一件
 申渡 三一七 奥州淺川亂民記事 三一八 森岡貢物語(馬文耕) 三一九 羽州山形領徒黨一件
 二五八 紀州一揆覺書 二五九 邪徒決獄 二六〇 大鹽平八郎檄文 二六一 野里口傳(野口四郎左
 衛門) 二六二 由良氏書上 二六三 吉岡傳 福住道祐) 二六四 柳生流秘書 二六五 本阿彌次郎
 左衛門家傳 二六六 彈左衛門由緒書 二六七 錢座鳴見平藏書 二六八 相撲行司家傳 二六九 四
 座系圖 二七〇 田樂法師由來之事 二七一 田樂考(伊勢貞文) 二七二 髮結職由緒之事(北小
 路藤四郎) 二七三 乞胸頭家傳 二七四 公人朝夕人士田氏由緒 二七五 方長老朝鮮物語并柳

第一七

- 川始末(林春齋) 三六六 朝鮮風俗記(小田四郎兵衛) 三七七 通事留書 三八八 曹洞宗書簡和譯 三九〇 山田仁左衛門事跡 三九〇 異國へ通商の御朱印寫 三九一 渡天之説(天竺德兵衛) 三九二 琉客談記(赤崎植幹) 三九三 琉人奏樂之記 三九四 蠻人漂着 三九五 對島の家來朝鮮國にて獲虎之次第 三九六 義經記奥州本(衣川合戦の事) 三九七 足利治亂記
- 三八八 法曹類林逸文 三九八 建武二年記 三九九 新篇追加 四〇一 新御式目 四〇二 年中恒例記(高橋兼秀) 四〇三 諸大名出仕記 四〇四 廻船之式目 四〇五 長曾我部元親式目 四〇六 因禮式(伊勢貞文) 四〇七 御代々武家諸御法之事 四〇八 諸家業記 興山吉從 四〇九 月山之記 四一〇 熱田講式 四一一 駿府政事錄脫漏 四一二 林氏異見(林春齋) 四一三 唐律疏義訂正上書(荻物惣七) 四一四 兼貞齋筆記 四一五 安閑天皇紀錯簡考(伊勢貞丈) 四一六 文忌寸彌麻呂墓誌考(三宅公輔) 四一七 日置郡公墓誌銅版考(高木季順) 四一八 石川年足朝臣之墓誌銘 四一九 佐々良峰書翰 四二〇 姓序考(細川貞雄) 四二一 新國史逸文考(源俊房) 四二二 養和帝逸事(二期)(山崎美成) 四二三 はなきく松(堀保己一) 四二四 室町殿屋形私考(伊勢貞春) 四二五 將軍家裝束考(坂田諸遠) 四二六 嘉定考(屋代弘賢) 四二七 續神皇正統記考(天野信景) 四二八 三河記異本考(釋覺齋) 四二九 人國記 四三〇 大和逸事 四三一 法隆寺寶物(歌) 四三二 東寺雜記 四三三 曆延寺及仁和寺再興 四三四 京都の故事 四三五 太田和泉守覺(太田手一) 四三六 玉音抄(林大學頭) 四三七 承應遺事 四三八 犬追物御覽記(林恕) 四三九 吹上御苑炮技上覽之記(成島司直) 四四〇 櫻田御殿之古事(岡部長雅) 四四一 古筆鑑定神田氏由緒外六則(西村兼文) 四四二 山崎英生二先生事實 四四三 荒木彦四郎村英先生之茶話 四四四 正徳以來開書 四四五 野木瓜亭隨筆 四四六 耳囊抄 四四七 藻蘭草(成島良讓) 四四八 手島塔蓋社約(手島塔蓋) 四四九 大成殿土梁の私記(藤原安辰) 四五〇 上杉家近來政事大略 四五二 金銀米穀之事(太宰純) 四五三 本朝寶貨通用之事略(新井君美) 四五四 正徳年中金銀吹替覺書 四五五 富士山燒之事 四五六 信州淺間燒 四五七 關東洪水 四五八 天明七年江戸飢饉騷動之事 四五九 炎上之記(町尻東林) 五〇〇 京大佛殿火災 五〇一 後見草(杉田玄白) 五〇二 颯風記事 五〇三 己丑記(麻谷老人) 五〇四 京都方廣寺三十三間堂通矢數 五〇五 紫野澤庵和尚鎌倉之記 五〇六 肥後國五箇庄覺書 五〇七 伊豆七島調書 五〇八 松前若狭守へ被仰渡候御書付 五〇九 江戸人口小記 五〇九 戊戌夢物語(高野長英) 五〇九 番衆狂歌
- 六一 校本歷代皇記(洞院公賢) 六一 朝野群載(三善爲康)
- 第一八 六一 校本歷代皇記(洞院公賢) 六一 朝野群載(三善爲康)
- 第一九 三三 皇年代私記 三三 續皇年代私記 三三 信長公記(太田資房) 三三 川角大開記(西

第二〇

- 川原角左衛門) 三六七 備戰家系 三七八 本朝神仙傳(大江匡房) 三八九 日本名僧傳 三九〇 後拾遺往生傳(三善爲康) 三九一 三外往生傳(沙彌蓮禪) 三九二 本朝新修往生傳(藤宗友)
- 三一 異稱日本傳(松下見林)
- 三一 善隣國寶記(釋周鳳) 三一 續善隣國寶記 三一 續善隣國寶外記 三七 外蕃通書(近藤守重)
- 二 山城名勝志(大島武好)
- 二 二 中歴 二〇 藤中抄(藤原資隆) 二一 今昔物語殘缺(源隆國) 二二 發心集(鴨長明) 二三 盤蛇抄並附錄(堀保己一)
- 二 大臣補任(松岡明善補) 二五 古今攝政關白補任 二六 典藥頭補任次第 二七 尾張國郡司百姓等解文 二八 安部泰親朝臣記 二九 夜鳥羽院宸記 三〇 殿記(後京極攝政真經公記)附別記 三一 五條爲長卿記 三二 順德院別記 三三 左大史小槻季繼記 三四 經光卿記(藤原經光) 三五 龜山院御内事記(西園寺公衡) 三六 龜山院崩御記(西園寺公衡) 三七 嘉元記 三八 日野大納言俊光卿記 三九 鈴鹿家記 四〇 細川賴之記 四一 仲光卿記(廣橋仲光) 四二 北面源康成記(北面假名記又北面始記) 四三 教言卿記 四四 經嗣公記(一條經記) 四五 在盛卿記 四六 資益王記 四七 長興宿禰記(小槻長興) 四八 拾芥記(菅原爲學) 四九 隆康私記(左少將隆康) 五〇 後奈良院宸記
- 二 鶴岡社務記録 二二 鶴岡事書日記 二三 塔寺長帳 二四 碧山日錄(釋碧山) 二五 嚴助往年記(釋嚴助) 二六 永正十七年記(釋嚴助) 二七 經厚法印日記(釋經厚) 二八 信長公阿彌陀寺由緒之記録 二九 宇野主水記(貝塚天滿御移位之記) 三〇 豐太閣入御相第記 三一 胸井日記(胸井重勝) 三二 勢州兵亂記(神戸良政) 三三 朝鮮日々記 三四 面高連長坊高麗日記 三五 戸川記 三六 寒山入道筆記 三七 左大史考亮記(小槻孝亮) 三八 左大史小槻忠利記
- 二 關原始末記(林道春) 四三 慶長年中卜齋記(板坂卜齋) 四四 信綱記(大島豊長) 四三 微妙公御夜話(山本基庸) 四三 別當左衛門覺書 四四 島原記 四五 石道夜話(道川道是) 四六 忠秋公御意覺書(阿部喬記) 四七 元和日記 四八 醫學天正記(曲直瀬道三) 四九 桂川地蔵記 五〇 五山傳 五一 鎌倉五山記 五二 鎌倉五山記孝異附住

- 持籍 四三 參天台五臺山記(釋成尋)
- 第二七 四四 播磨風土記 四五 越中國官舍納穀交替記 四六 建久圖田帳 四七 能登國田數帳
- 四八 丹後國田數目録帳 四九 律書殘篇 五〇 法曹至要鈔解 五一 執政所抄 五二 後水尾院年中行事 五三 桃花葉附名目抄胡曹抄(一條兼良) 五四 御元服和抄(滋野井公麗) 五五 亮間和抄(滋野井公麗) 五六 姓名錄抄 五七 扶桑神林書目逸書(藝井貞幹編) 五八 阿不幾乃山陵記 五九 調背 六〇 鎌倉殿中間答記錄(釋日靜) 六一 平政連諫草 六二 職掌錄 六三 伊達康芥集 六四 和簡禮經(曾我尙祐) 六五 藤元長記 六六 是稱院贈内府記 六七 室町家御内書案 六八 當道要集 六九 當道新式目(杉山和)
- 編外 七〇 西宮記(源高明) 七一 政事要略(惟宗允亮) 七二 參考源平盛衰記

續史籍集覽

近藤瓶城編 明治二六—二八

和 六〇 九一〇 四四

- 一 空華老師日用工夫略集(釋周信) 二 新抄(中原師榮) 三 臥雲日件錄(釋北禪) 四 細本要記(金勝院實嚴) 五 義殘後學(愚軒) 六 國分寺志科 七 慶元古文書 八 相京職鈔
- 九 妙法寺記(源興清) 一〇 喜連川判鑑 二一 沙汰未練書 二二 室町家成敗 二六 寺社御教書 二七 武政軌範
- 二八 新加制式 二九 沙汰未練書 三〇 室町家成敗 三六 寺社御教書 三七 武政軌範
- 三九 正慶亂離志(平高時) 四〇 碧山日錄 四一 人鏡論 四二 秀柳流藤原氏諸家系圖 四三 戊子入明記 四四 策彦入唐記 四五 九瀨入唐記 四六 下行價銀帳並釋程錄 四七 峰相記 四八 大傳法院本願聖人御傳 四九 足利時代法制 五〇 鳩巢小抄(室直清) 五一 松雲大師奮忠舒難錄 五二 長元物語(立石正賀) 五三 紀伊國物語 五四 續日本紀問答(渡邊壽生等問) 寺村成相答) 五五 舊事本紀刺傷(伊勢貞丈) 五六 奥州葛西實記 五七 故實拾要 五八 駿河土產(大道寺友山) 五九 釋門事始考 六〇 好古小錄(下橋經寬) 六一 語學自在(權田直助) 六二 南京遺響(飛鳥井雅澄) 六三 寬永小說(林信篤) 六四 徒然草拾遺(釋徹雲洞) 六五 金澤文庫考(杉山精一) 六六 足利學校考 六七 飛花落葉 六八 堀内傳右衛門覺書 六九 文會雜記 七〇 續扶桑拾葉集 七一 武功雜記 七二 歌舞品目(藤原守中) 七三 池底叢書
- 要目 七四 番外雜書解題(戶田氏德) 七五 附錄雜書撰者小傳

文科大學史誌叢書

東京帝國大學編 明治三〇—三二

和 一五 九一〇 五

- 一校 一 松平日記(松平家忠) 二 三河物語(大久保忠教) 三 晴豐記(勸修寺晴豐)
- 四 晴右記(勸修寺晴右)
- △三 歷史講座 日本學術普及會編 大正四—八
- 一 帝都(喜田貞吉) 二 城郭之研究(大類伸) 三 田沼時代(辻善之助) 四 庄園制度之大要(吉田東伍) 五 鎌倉武士と神(鷺尾順敬) 六 豊太閤と其家族(渡邊世祐)

參考圖

- △三 大日本讀史地圖 吉田東伍著 蘆田伊人補 昭和一〇 一九一〇 五七
- △四 中等國史地圖 原秀四郎 明治四〇 一九一〇 七四
- △五 日本國史地圖附日本國史地理 原秀四郎 明治三九 一九一〇 一一
- △六 新編 日本讀史地圖 吉田東伍 大正六 一九一〇 五三
- △七 沿革 日本讀史地圖並圖說 河田羅等編 明治三〇 一九一〇 八〇
- △八 日本文化史講義資料 大野法瑞編 大正一四 一九一〇 一〇
- △九 日本歷史圖錄 第一輯 解說共 昭和二 一九一〇 八一

教科書

△言	國史讀本 上、中、下 大森金五郎編 明治三一—三五	三	九一〇	七〇
△三	甲表 新體國史教科書 第一、四、五學年用 大森金五郎編	二	九一〇	六四
△三	訂新體國史教科書 ^{甲表} 教授參考書 第四、五學年用 大森金五郎編	二	九一〇	六六
△三	中等 新體國史教科書 上、下 上級用 大森金五郎編 昭和二—五	三	九一〇	六五
△三	新體國史教科書教授參考資料 下 大森金五郎編 昭和三	一	九一〇	六七
△三	女子 新體國史教科書 上、下 上級用 大森金五郎編 昭和二—九	六	九一〇	七二
△三	女子 新編日本歴史教科書 上 上級用 大森金五郎編 大正四—五	二	九一〇	七一
△三	中等日本歴史 大森金五郎編	一	九一〇	八二
△三	中等日本歴史教科書 下 大森金五郎編 大正一二	一	九一〇	六九
△三	中等 日本歴史 下 荻野由之 明治二四	一	九一〇	三二
△三	新訂 日本歴史教科書 上 大森金五郎編 大正六	一	九一〇	六八
△三	日本歴史教科書 上級用 大森金五郎編 大正二	一	九一〇	六八
△三	女子 日本歴史教科書 下、上級用 大森金五郎編 大正一三	二	九一〇	七三

考古學

△三	奥羽地方に於ける蝦夷の文化と藤原氏の文化 喜田貞吉	九	一〇	八五
△三	(奥羽北部の石器時代文化に於ける古代支那文化の影響に就いて)ニ合本)			
△三	奥羽北部の石器時代文化に於ける古代支那文化の影響に就いて 喜田貞吉 (『ドルメン』第四卷第六號抜刷)	一	九一〇	八五
△三	考古學上より見たる蝦夷 喜田貞吉 (『民族』第二卷第二號抜刷)	九	一〇	八五
△三	日本考古學 後藤守一 昭和二	一	九一〇	九
△三	石器時代 平井稻荷山 葵尋常高等小學校編 大正五	一	九一〇	八四

通史

△三	國史概説 大森金五郎 明治四三	一	九一〇	二三
△三	稿本 國史眼 第一—七 重野安釋等 明治二四	和	七九一〇	四一
△三	國史略 石村貞(桐陰) 明治一〇	和	七九一〇	四〇
	第一 國常立尊至醍醐天皇			
	第二 朱雀天皇至仲恭天皇			
	日本史 考古學			

日本史 通史

一五四

- 第三 後堀河天皇至後柏原天皇
- 第四 後奈良天皇至明正天皇
- 第五 後光明天皇至後桃園天皇
- 第六 光格天皇至孝明天皇
- 第七 今上天皇

增補 國史略 第一—五 巖垣松苗 明治九

訂 國民日本歷史 高橋俊乘 昭和五

合 日本史大系 内外書籍株式會社編 昭和四—五

- 第三 一平安朝史 上(川上多助)
- 第八 二安土桃山時代史(花見朝己)

大日本史 第一—五五、志表、索引 德川光圀 明治三三—大正七

大日本時代史 早稻田大學出版部編 明治四〇—四一

- 第一 一日本古代史(久米邦武)
- 第二 二奈良朝史(久米邦武)
- 第三 三平安朝史(池田晃淵)
- 第四 四鎌倉時代史(三浦周行)
- 第五 五南北朝時代史(久米邦武)
- 第六 六室町時代史(渡邊世祐)
- 第七 七安土桃山時代史(渡邊世祐)
- 第八 八德川幕府時代史(池田晃淵)
- 第九 九幕末史(小林庄次郎)
- 第二〇 維新史(本多辰次郎)

和 五七 九一〇 三九

一〇 九一〇 三五

和 五 九一〇 四三

一 九一〇 二七

二 九一〇 二九

大日本史讀例 前篇 蘆澤元龍 明治七

大日本通史 上 荻野由之 明治四〇

大日本帝國史 松井廣吉 明治二三

大日本歷史 上、下 有賀長雄 明治四三

通俗國史略 一名通俗日本外史 前篇 青木輔清 (明治二〇序)

二千五百年史 竹越與三郎 明治四〇

日本新歷史 上 乙黒直方編 明治二四 (普通學全書 第一五篇)

日本文明史略 第一—三、首卷 物集萬見 明治一九—二〇

本朝通鑑 第一—一七、首卷 林恕 大正七—九 (圖書刊行會第七期)

類聚國史 菅原道眞 昭和七—九 影印 (尊經閣叢刊)

本朝六國史 伴信友訂 明治一六

- 一 日本書紀 二 續日本紀 三 日本後紀 四 文德實錄 五 續日本後紀 六 三代實錄

一 九一〇 七七

一 九一〇 三〇

一 九一〇 一八

二 九一〇 二八

一 九一〇 七五

一 九一〇 二四

一 九一〇 七八

和 四 九一〇 四五

一八 〇三 五

四 〇三 二二

九一〇 七六

九一—史 料

阿波國板野郡用上郷延喜二年戶籍 明治三九寫

日本史 史料

和 一 九一— 三三

一五五

奥

〔右史料編纂掛藏本ヲ借り謄寫ス 明治三十九年一月二十一日 南隠〕

- △六 家忠日記 松平家忠〔文科大學史誌叢書ノ内〕 (一) 九二〇 五〇
- △七 右武衛殿朝鮮渡海之雜藁 釋天荆 (大正四序) 謄寫版 (珍書同好會本) 一 九二一 一四
- △八 〔越中國〕埴生八幡縁起并願書 寫本 一 九二一 一九
- △九 延久四年五年日次記 明治三六寫 和 一 九二一 二四

奥

〔明治三十六年四月一條家藏本ヲ謄寫ス 大森金五郎〕

- △十 加賀藩史料 第一一〇編、編外 侯爵前田家編輯部編 昭和四一 一 九二一 一六
- △十一 香取文書纂 第一一五 卷首 伊藤泰歳編 明治三九一四一 一六 九二一 一〇
- △十二 官武通紀 第一一二 玉蟲左太夫 大正二 (國書刊行會本第三期) (二) 九二一 五
- △十三 吉 記 永安三、治承元 卷和二、壽永二 吉田經房 寫本 (心記ニ合本) (三) 〇三 〇三〇
- △十四 玉 葉 第一一三 藤原兼實 明治三九一四〇 (國書刊行會本第一期) (一) 〇三 〇三〇
- △十五 楠木合戦注文正慶二年分並博多日記 釋良覺寫 昭和一一 影印 (尊經閣叢刊) 和 五 九二一 二二
- △十六 迎陽記 菅原秀長 寫本 和 五 九二一 三三
- △十七 皇年代記 後冷泉、後三條、白川、堀川、鳥羽、崇徳 明治三三 和 一 九二一 二〇

奥

〔明治三十三年十二月井上頼因翁藏書ヲ謄寫ス 南隠子謙〕

- △十八 光明院宸記 寫本 (花園院御記ニ合本) 九二一 一五
- △十九 高野山金石圖説 上、中、下 補遺 水原堯榮 大正三 和 四 九二一 二八
- △二十 後白河院以下御落傍記 明治三九 寫 和 一 九二一 二一
- △二十一 後白河院御落傍記 一 鳥羽院御出家記 二 後嵯峨院御出家以後年中公事相違事 四 文 永五年御落傍記 五 龜山院御出家事 六 伏見院御落傍事
- △二十二 後深草院御記 明治三九 (順徳院御記ニ合本) 和 一 九二一 一九
- △二十三 古文書鑒 黒木安雄 昭和三 一 九二一 三九
- △二十四 古文書時代鑑 上 並解説 東京帝國大學史料編纂掛編 大正一四 二 九二一 三五
- △二十五 古文書選 第一 古文書研究会編 昭和六 一 九二一 三六
- △二十六 古文書類纂 武藤虎太 岡部精一共編 明治二七 一 九二一 一
- △二十七 西園寺家傳來秘記 寫本 和 五 九二一 三一
- △二十八 西園寺代々記 安政二寫 和 二 九二一 三〇
- △二十九 第一 一 公衡公記 二 實躬卿記 第二 三 公名公記 四 公藤公記 和 三 九二一 二六
- △三十 史徵墨寶考證 第二 帝國大學編年史編纂掛編 明治二二 和 三 九二一 二六

八九 實錄彙編 高野真通編 明治一九

一五八

一九二一 四〇

八九 春 記一名資房卿記 藤原資房 (大正六序) 謄寫版 (珍書同好會本)

和

一九二一 一九

九〇 順徳院御記 明治三九寫

奥書

(明治三十九年六月二十七日謄寫セシメテ合本ス 南隱子)

九一 成恩寺關白記 一名荒曆 一條經嗣 寫

和

一九二一 二三

九二 燒亡せる家藏史料 栗田元次 刊 (史學研究第七卷第二號) 抜刷

和

一九二一 四一

九三 白川家記 寫本

和

一九二一 三三

九四 史料綜覽 東京帝國大學史料編纂所編 大正二一昭和一一

九 九

第一三 平安時代第一至三 仁和三年至文治元年
第四一五 鎌倉時代第一、二 文治元年至元弘三年
第六一七 南北朝時代第一、二 元弘三年至南朝元中九年北朝明德三年
第七一九 室町時代第一至三 明德三年至天文五年

九五 史料大觀 高頭忠造編 明治三一—三三

四 九二一 三

第一上 一 台記(藤原賴長)

第一下 二 台記別記 三 字槐記抄 四 台記抄

第二 五 扶桑名畫傳(堀直格)

第三 六 槐記

九六 史料通信協會叢誌 近藤瓶城編

一四 九二一 四

九七 史料通覽 笹川種郎編 大正四—七

一八 九二一 五

第一 一 小右記一—二(藤原實資)

第二 三 左經記(源賴經)

第三 四 中右記一—七(藤原宗忠)

第四 一 水左記(源俊房) 五 帥記(源經信)

第五 二 山槐記一—三(藤原忠親)

第六 五 一 六 七 勤仲記一—二(藤原兼仲)

第七 七 一 八 兵範記一—二(平信範)

九八 晴右記 勸修寺晴右 (文科大學史誌叢書)ノ内

〔一〕 九二〇 五〇

九九 西宮記 源高明 影印 (尊經閣叢刊)

〔軸〕 〇三 一一

一〇〇 晴豊記 勸修寺晴豊 (文科大學史誌叢書)ノ内

〔三〕 九二〇 五〇

一〇一 大日本古文書 東京帝國大學史料編纂所編 明治三四—昭和九

八二 九二一 八

第一一六 大寶二年至寶龜十一年

第七(追加一)一—二〇(追加一四) 和銅二年至寶龜三年

家わけ

第一 一 高野山文書第一—一八

第二 二 淺野家文書

第三 三 伊達家文書第一—一〇

第四 四 石清水文書第一—一六

第五 五 相良家文書第一—二

第六 六 觀心寺文書

第七 七 金剛寺文書

第八 八 毛利家文書第一—四

日本史 史料

- 第九 九吉川家文書第一一二 別集
- 第一〇 〇東寺文書第一一三
- 第一一 二小早川家文書第一一二
- 第一二 三上杉家文書第一一二
- 第一三 三阿蘇文書第一一三
- 一四 幕末外國關係文書
- 第一一三 嘉永六年—安政三年
- 附錄 第一一三

九五

大日本史料 東京帝國大學史料編纂所編 明治三四—昭和一一

- 第一編
 - 第一 一—二 宇多天皇 仁和三年—寬平九年
 - 第二 二—六 醍醐天皇 寬平九年—延長八年
 - 第三 六—八 朱雀天皇 延長八年—天慶九年
 - 第四 八—九 村上天皇 天慶九年—天曆七年
- 第二編
 - 第一 一—五 寬和二年—寬弘四
- 第三編
 - 第一 一—七 堀河天皇 應德三年—長治二年
- 第四編
 - 第一 一—五 後鳥羽天皇 文治元年—建久九年
 - 第二 五—一〇 土御門天皇 建久九年—承元四年
 - 第三 一〇—一五 順德天皇 承元四年—承久三年
 - 第四 一五—一六 仲恭天皇 承久三年
 - 第五 一六—一八 建久四年—建仁三年
- 第五編
 - 第一 一—八 後堀河天皇 承久三年—貞永元年

- 第六編
 - 第一 一—五 四條天皇 貞永元年—曆仁元年
 - 第二 五—一〇 後醍醐天皇 元弘三年—延元四年
 - 第三 一〇—一五 光明天皇 建武三年—貞和四年
 - 第四 一五—一八 後村上天皇 延元四年—正平九年
 - 第五 一八—二一 崇光天皇 貞和四年—觀應二年
 - 第六 二一—二五 後光嚴天皇 文和元年—文和三年

- 第七編
 - 第一 一—五 後小松天皇 應永二年—應永九年
- 第八編
 - 第一 一—七 後土御門天皇 應仁元年—文明六年
- 第九編
 - 第一 一—四 後柏原天皇 永正六年—永正十年
 - 第二 四—一〇 正親町天皇 永祿十一年—元龜元年
 - 第三 一〇—一四 正親町天皇 永祿十一年—元龜元年
 - 第四 一四—一五 正親町天皇 天正十年—天正十二年
- 第十編
 - 第一 一—七 後陽成天皇 慶長八年—慶長十六年
 - 第二 七—一二 後水尾天皇 慶長十六年—元和元年

九六

太政官日誌 第三一—四九 (第四〇、四八缺) 慶應四

九七

竹橋餘筆 大田草 大正六 (國書刊行會本第六期)

九八

徵古文書 甲乙 黑板務美 下村三四吉共編

九〇九 鶴岡八幡宮古文書集

九一〇 都 記一名陣記 經信卿記 源經信 寫本

九一一 日露戰爭新聞記事切抜 大森金五郎編

九一二 日本各時代古文書寫真集

九一三 日本國丞相藤原公捨經之記 寫本 (延久四年五年日次記ニ合本)

奧(明治三十六年四月一日近衛家藏本ヲ謄寫ス 南總)

九一四 仁部 記 日野資宣 明治六寫

九一五 花園院御記並別本 寫本

奧(本文朱ヲ以テ一符ヲ附ケタルハ原本消シ書キノ所ナリ明治三十八年十二月二十四日校正ス 南總)

九一六 日吉神社文書 寫本 (成恩寺關白記ニ合本)

九一七 伏見院御記 寫本

九一八 伏見宮御記錄 元一―二八下 寫本

元一 奧 (明治卅九年十一月五日校了 南總子)

元三 奧 (明治卅九年四月廿五日謄寫セシメテ一校ス 南總子)

元四 奧 (明治卅九年四月廿二日謄寫セシメテ一校ス 南總子)

一 九二一 三八

和 一 九二一 三四

二三 九二一 四二

一 九二一 三七

九二一 二四

和 一 九二一 一八

和 一 九二一 一五

和 二六 九二一 二九

和 一 九二一 二二

和 一 九二一 一六

和 二六 九二一 二九

元五 奧 (明治卅九年四月廿三日謄寫セシメテ一校ス 南總子)

元六、七 奧 (明治三十九年十一月一日校了 南總子)

元一六 奧 (明治三十九年五月十日謄寫セシメテ校合ス 南總子)

元一七 奧 (明治三十九年五月五日謄寫セシメテ校合ス 南總子)

元一八、一九 奧 (明治三十九年五月廿八日謄寫セシメテ校合ス 南總子)

元二二 奧 (明治三十九年五月七日謄寫セシメテ校合ス 南總子)

元二三 奧 (明治三十九年十月十日校了 南總子)

元二四 奧 (明治卅九年五月卅日謄寫セシメテ校合ス 南總子)

元二六、二七 奧 (明治三十九年十月十五日校了 南總子)

元二八上 奧 (明治三十九年十月十六日校了 南總子)

元二八 奧 (明治三十九年十一月十五日校了 南總子)

九一九

伏見宮御記錄 寫本

一行幸行啓部類記寫 奧(明治三十九年十一月廿一日校了 南總子)

和 一〇 九二一 二九

- 二 仁和寺御入寺御出家部類記
 - 三 上皇御錫紵類記
 - 四 御深草院崩御以下之記
 - 五 白河院崩御以下之記
 - 六 龜山院崩御後御佛事記寫
 - 七 仙洞御移徙部類記第一
 - 八 同第二十四
 - 九 文明六年雜記 寫本
 - 十 將門記 大正一四 影印 (古典保存會本)
 - 十一 「松平義行所藏文書」 (原題缺) 明治三三寫
 - 十二 民部省圖帳 寫本 (成恩寺關白記ニ合本)
 - 十三 村越道伴覺書 大正六寫
- 奧(明治三十九年七月井上頼閉翁ノ藏書ヲ謄寫シ且校正スルトコロ也 南隱子)
- 奧(大正六年村越成子所藏本ニツキ謄寫ス 南隱子)

- 九四 明月記 第一一三 藤原定家 明治四四一四五 (國書刊行會本第二期)
- 九五 神佛分離史料 上、中、下 村上專精等編 大正一五一昭和二
- 九六 言繼卿記 第一一四 山科言繼 大正三一四 (國書刊行會本第四期)
- 九七 吉見莊注進目錄 寫本 (成恩寺關白記ニ合本)
- 九八 留魂錄 [吉田矩方]
- 九九 令集解 第一一二 惟宗直本 大正一一二 (國書刊行會本第三期)

九一二 時代史

- 一〇〇 足利時代史 田中義成 大正一二
 - 一〇一 安土桃山時代 花見朝己 大正一一 (日本文化史第九卷)
 - 一〇二 安土桃山時代史論 日本歷史地理學會編 大正四
 - 一〇三 井伊大老と開港 中村勝麻呂 明治四二
 - 一〇四 維新史研究資料索引 日本歷史地理學會編 大正八
- (歷史地理臨時增刊)

九六〇	維新史八講	吉田東伍	明治四三	一	九二二	一〇
九六〇	維新史八講と徳川政教考	吉田東伍	大正七	一	九二二	四
九六一	江戸時代史論	日本歴史地理學會編	大正四	一	九二二	二
九六二	遠近橋	高橋多一郎	大正元 (國書刊行會本第三期)	〔一〕	〇三	五
九六三	織田時代史	田中義成	大正一三	一	九二二	二三
九六四	開國五十年史	上、下 大隈重信	明治四〇—四一	二	九二二	四四
九六五	鎌倉時代史論	日本歴史地理學會編	昭和六	一	九二二	一三
九六六	鎌倉時代の研究	史學地理學同致會編	大正一四	一	九二二	一五
九六七	近世日本國民史	徳富猪一郎編	昭和五	一	九二二	八
	第三五 公武合體篇					
九六八	近世の日本	内田銀藏	大正八	一	九二二	三
九六九	元寇國難の懷古	元寇弘安役六百五十年記念會編	刊	一	九二二	三八
九七〇	元寇の新研究	一、二 池内宏	昭和六	二	九二二	二九
九七一	現代日本史	大森金五郎		一	九二二	四八
九七二	建武中興	建武中興六百年記念會編	昭和九	一	九二二	七

九七三	國史紀事本末	第一—一〇 青山延光編	明治四	和	一〇	九二二	三四
九七四	國史綜覽稿	第一—一〇 重野安釋	明治三九	和	一〇	九二二	三五
九七五	古訓古事記	本居宣長	明治七	和	一	九二二	四〇
九七六	古事記	上、中、下 昭和一一四 影印 (古典保存會本)		和	〔三〕	〇三	一一
九七七	古事記	上、中 昭和一一一 影印 (古典保存會本)		和	〔二〕	〇三	一一
九七八	古事記	上、中 昭和一一一 影印 (古典保存會本)		和	〔一〕	〇三	一一
九七九	春瑜本古事記	上 昭和五 影印 (古典保存會本)		和	〔一〕	〇三	一一
九八〇	古事記	上卷 昭和一一 影印 (古典保存會本)		和	〔一〕	〇三	一一
九八一	古事記考	井上頼岡	明治四二	和	一	九二二	三七
九八二	古事記上卷抄	大正一四 影印 (古典保存會本)		和	〔一〕	〇三	一一
九八三	古事記論	中澤見明	昭和四	和	一	九二二	一四
九八四	三代實錄	第一—一〇 藤原時平等著 伴信友校	明治一六 (「本朝六國史」ノ内)	和	〔一〕	九二〇	七六
九八五	續日本紀	第一—一〇 藤原眞房著 伴信友校	明治一六 (「本朝六國史」ノ内)	和	〔一〕	九二〇	七六
九八六	續日本紀考證	松村元融	明治三	和	〔一〕	九三〇	四九
九八七	續日本後紀	第一—一六 藤原眞房等著 伴信友校	明治一六 (「本朝六國史」ノ内)	和	〔六〕	九一〇	七六
九八八	神武天皇大和御討入地理考	大西源一	明治四三	和	一	九二二	四一

九五	聖代四十五年史 前後 物集高量等編 大正元	二	九二二	二
九六	續徳川實紀 第一一五 經濟雜誌社編 明治三八一四〇	五	九二二	三三
九七	大日本維新史 重野安釋 明治三二	一	九二二	四五
九八	大日本建國史 木村鷹太郎 明治四二	一	九二二	九
九九	倒叙日本史 吉田東伍 大正二	四	九二二	二七
	第一 一 明治國勢發展編			
	第二 二 明治憲法制定編			
	第三 三 明治大勢維新編			
	第四 四 江戸幕府衰亡編			
一〇〇	徳川幕府時代史講義 池田晃潤	一	九二二	三三
一〇一	豊臣時代史 田中義成 大正一四	一	九二二	二五
一〇二	奈良時代史論 日本歴史地理學會編 大正三	一	九二二	一六
一〇三	楠氏研究 藤田精一 大正四	一	九二二	二六
一〇四	南北朝時代史 田中義成 大正一一	一	九二二	二二
一〇五	日本紀分類 地理志 上、下 寫本	和	九二二	三九
一〇六	日本近世史 第一卷上册一 内田銀藏 明治三六	一	九二二	四三
一〇七	日本近古史説 花見朝己 大正一五	一	九二二	一七

九八	日本後紀 第一一四 藤原冬嗣著 伴信友校 明治一六 (「本朝六國史」ノ内)	和	九二〇	七六
九九	日本書紀 第一一六 伴信友校 明治一六 (「本朝六國史」ノ内)	和	九二〇	七六
一〇〇	應永本日本書紀私記 昭和八 影印 (古典保存會本)	和	〇三	一一
一〇一	日本書紀私鈔 釋聖同著 明治聖徳紀念學會編 大正一〇	一	九二二	二〇
一〇二	日本書紀神代合解 第一一一二 清原國賢 寛文四	和	九二二	三六
一〇三	日本中世史 第一 原勝郎 明治三九	一	九二二	三一
一〇四	武家時代之研究 第一、三 大森金五郎 大正一一一昭和一二	二	九二二	三〇
一〇五	増訂 武江年表 齋藤幸成(月岑)編 大正元 (國書刊行會本第一期)	〔一〕	〇三	五
一〇六	日本國民性の研究 文化より見たる鎌倉時代 隈爾惠端 大正七	一	九二二	一
一〇七	文祿慶長の役 正編第一 池内宏 大正三	一	九二二	二八
一〇八	平安朝史 星野恒	一	九二二	四七
一〇九	明治維新史研究 史學會編 昭和八	一	九二二	一九
一一〇	明治維新史講話 藤井甚太郎 大正一五	一	九二二	一一
一一一	明治時代思想史 清原貞雄 大正一〇	一	九二二	一八
一一二	明治年表 偉人史叢編輯部編 明治三四	一	九二二	四二
	日本史 時代史	一六九		

日本史 時代史
 九三三 文德實錄 第一—四 藤原基經等著 信友校 明治一六 (「本朝六國史」ノ内)

一七〇
 和 [一] 九二〇 七六

九一三 地方史

- 九四四 會津資料叢書 第二 菊地研介編 大正六 和 一九二三 一四
- 九四五 賀名生略記 和 一九二三 二三
- 九四六 阿波國徵古雜抄 小杉樞編 大正二 一九二三 一三
- 九四七 伊豆國史蹟研究第一報告書摘要 三島通真 大正六 一九二三 二四
- 九四八 伊豆半島 日本歴史地理學會編 大正二 一九二三 二二
- 九四九 奥羽沿革史論 日本歴史地理學會編 大正五 一九二三 二五
- 一〇〇〇 奥洲高館沿革志 一名平泉史蹟研究 高崎清賢編 明治四一 一九二三 七
- 一〇〇一 地理 近江 號 日本歴史地理學會編 明治四五 (歴史地理臨時増刊) 一九二三 二
- 一〇〇二 吉備高島考 濱本清一 明治四五 一九二三 一
- 一〇〇三 古代奥羽地方開發の歴史について 喜田貞吉 大正一四 九二三 二四
- 一〇〇四 下野國考古學 田代黑瀧 大正一四 一九二三 二

- 一〇〇五 西藩野史 鹿兒島縣私立教育會編 明治二九 一九二三 二
- 一〇〇六 攝津郷土史論 日本歴史地理學會編 大正八 一九二三 八
- 一〇〇七 朝鮮歴史地理 第一—二 津田左右吉 大正二 一九二三 一
- 一〇〇八 徳川時代之武藏本庄 諸井六郎 明治四五 一九二三 九
- 一〇〇九 長崎三百年間 外交變遷事情 福地源一郎編 明治三五 一九二三 六
- 一〇一〇 新田氏郷土史論 日本歴史地理學會編 大正四 一九二三 一八
- 一〇一一 尾參遠郷土史論 日本歴史地理學會編 大正六 一九二三 三
- 一〇一二 平泉 志 上、下 附録 高平眞藤編 明治二一 一九二三 一七
- 一〇一三 福原の都 淺井虎夫 大正四 一九二三 二〇
- 一〇一四 武相郷土史論 日本歴史地理學會編 大正六 一九二三 四
- 一〇一五 房總小觀 一名房總歴史要覽 林壽祐 明治四〇 一九二三 一六
- 一〇一六 房總叢書 房總叢書刊行會編 大正一一—三 一九二三 一〇

第一—古語拾遺抄 二將門記 三吾妻鏡抄 四鎌倉大草紙抄 五千學集抄 六千葉家盛衰記
 七總業概録 八結城戰場物語 九里見九代記 一〇里見代々記 一一房總里見軍記 一二房
 總軍記 一三房總治亂記 一四管子落草紙 一五國府臺戰記 一六鴻臺後記 一七小弓御所
 様御討死物語 一八土氣古城再興傳來記 一九萬石騒動日録 二〇下總國小金中野牧御處
 狩一件兩度之書留 二一眞菰寺文書 二二市兵衛記 二三千葉系圖 二四千葉系圖別本
 二五千葉上總系圖 二六千葉系圖 二七千葉支流系圖 二八里見系圖(房州) 二九里見系圖

別本 三 里見系國書院本 三 古河公方系圖 三 結城家譜 三 酒井家譜 三 上總國植生郡龜南城主武田氏系圖
 第二 三 上總國誌稿(上) 五 萬葉集抄 七 延喜式抄 八 倭名類聚抄 九 日本總國風土記抄 一〇 さらしな日記抄 一一 回國雜記抄 一二 東路の津登抄 一三 椿新田記 一四 房總志料續篇 一五 金ヶさく紀行 一六 香取の日記 一七 佐倉風土記 一八 相馬日記抄 一九 南遊雜記 二〇 南總往來 二一 中山まふで 二二 南總紀行旅眼石 二三 東金記録 二四 東金城明細記 二五 房總遊覽誌 二六 植生郡開見漫錄 二七 浪淘集 二八 南總珍 二九 枕山詩鈔 三〇 房總雜記

1014 房總文庫 房總文庫刊行會編 昭和五—七

第一 一 測量日誌一、二(伊能忠敬) 二 佐倉風土記全(磯部昌言) 三 安房古事志一(嶺田楓江) 四 力爾之河ふね全(安川柳溪) 五 成田黄金の胸全(赤須賀米)
 第二 六 香取志上(小林重規) 七 春夢獨談上(澤近嶺) 八 雜著全(宇佐美清水) 九 安房古事志(嶺田楓江) 一〇 測量日誌三、四(伊能忠敬)
 第三 一一 訂補註孝經全(窪木清淵) 一二 春夢獨談下(澤近嶺) 一三 安房古事志三(嶺田楓江) 一四 香取志下(小林重規) 一五 測量日誌五(伊能忠敬)
 第四 一六 房總戰記全(太政官編纂) 一七 相馬日記全(高田與清) 一八 總業概錄全(磯邊昌言) 一九 安房古事志四、五(嶺田楓江) 二〇 笠森娘錦笈摺全(山東京傳著)(歌川國重)

四 九一三 一九

1015 琉球國事略 新井君美 寫本

和 一九一三 一五

五三四 雜 史

1016 赤穂 記 寫本 (「里見記」ニ合本)

和 一九一四 三四

1017 赤穂義士實話 重野安釋著 西村時彦編 明治二二

和 一九一四 二〇

1011 赤穂義人纂書 第一、二 補遺 鍋田三善編 明治四三—四四 (國書刊行會本第二期)	(三)	〇三	五
1012 赤穂義人錄 室直清(鳩巢) 昭和一〇 影印 (尊經閣叢刊)	和	(一)	〇三
1013 吾妻 鏡 第一—一〇 高桑駒吉等校補 明治二九	和	一〇	九一四 一一
1014 吾妻 鏡 吉川本 第一—三 大正四 (國書刊行會本第四期)	(三)	〇三	五
1015 吾妻鏡集解 第一、二 高桑駒吉等編 明治二九	和	二	九一四 一一
1016 吾妻鏡抄 大森金五郎編 膠寫版	和	一	九一四 二二
1017 吾妻鏡の研究 八代國治 大正二	和	一	九一四 二五
1018 吾妻鏡備考 第一—三 高桑駒吉等編 明治三二	和	三	九一四 一三
1019 吾妻鏡物語 芝野六助 大正二	和	一	九一四 七
1020 南北朝 阿利氏勤王事蹟 附參考文書 刊	和	一	九一四 二六
1021 尼子と毛利 松江市教育會編 大正二	和	一	九一四 三〇
1022 大石良雄十八箇條申開實錄 松下鐵之助編 明治二八	和	一	九一四 三六
1023 王政復古當 蕪州藩國事盡力の實歴談 淺野長勳 昭和二	和	一	九一四 二八
1024 時に於ける 懷往事談附新聞紙實歴 福地源一郎 明治二七	和	一	九一四 二五
1025 元寇史論 佐藤善治郎 昭和六	和	一	九一四 二四

1056	元寇と松浦黨	佐藤獨嘯	昭和六	一	九二四	二九
1057	元寇の梗概	武谷水城 (昭和六序)	〔元寇と松浦黨〕=合本)	一	九二四	二九
1058	講演速記録	昭和七 監寫版		一	九二四	二七
	第三七 山陰道鎮撫使巡國の始末	衣笠健雄				
1059	元寇 護國美談	紫山居士著 中洲居士補	明治二五	一	九二四	二三
1060	明治廿七八年 在韓苦心錄	杉村濤	昭和七	一	九二四	二
1061	薩英戰爭	東幸治(孤竹)	大正六	一	九二四	三
1062	里見記	寫本		和	九二四	三四
1063	聖德太子と大日本の建設	黑板勝美		一	九二四	二八
1064	成吉思汗は源義經也	小谷部全一郎	大正一三	一	九二四	九
1065	成吉思汗は源義經にあらず	國史講習會編	大正一四	一	九二四	八
1066	壬午鷄林事變	諸新聞雜誌所載錄 宮武外骨編	昭和七	一	九二四	一
1067	東京奠都の真相	岡部精一	大正六	一	九二四	六
1068	讀史餘論	新井君美 明治九		和	九二四	一七
1069	忠不	南朝 史話 忠不 忠附北畠親房の思想一斑 藤田精一	大正一五	一	九二四	四

1070	日清日露の役	煙山專太郎 (岩波講座日本歴史)		一	九二四	三三
1071	日本外史古戰場榮圖	河村與一郎編	明治一四	和	九二四	一八
1072	日本海上史論	日本歴史地理學會編	明治四四	〔一〕	九二〇	一
1073	日本政記	第一一八 頼襄 明治一七		和	九二四	二五
1074	信長公記	上、中、下 太田牛一(和泉守) 刊		和	九二四	一九
1075	百練抄	文政五寫		和	九二四	一六
1076	伏敵	靖方朝源 蒙古襲來繪詞 山田安榮編	明治二五	二	九二四	三二
1077	豊公遺寶圖略	吳景文 岡本豊彦共編	天保三	和	〔一〕 八〇	一一
1078	北條九代記	第一一二 淺井了意 延寶三		和	一二 九二四	一四
1079	保建大記	上、下 栗山愿 正徳六		和	一 九二四	三五
1080	摩耶合戦記	附 赤松則村略傳 赤松則村系譜 摩耶城址考 桃木武平編	明治四一	一	九二四	三一
1081	蒙古寇紀	長村鑾編	昭和六	和	一 九二四	二一
1082	野史	第一一五 飯田忠彦著 飯田文彦調	明治三七一三九	六	九二四	一〇
1083	列侯深秘録	國書刊行會編 大正三 (國書刊行會本第四期)		〔一〕	〇三	五
	一 盤井物語(關岡良英) 二 黒田斐守書付 三 粟山大膳記 四 西木子紀事 五 内山家藏古					

文書 六西木紹山居士碑銘 七栗山大膳記事(坂田諸遠) 八福岡夢物語 九天和乘訟記
 一〇松平越後守家來裁決書 一一柳澤家秘藏實記 一二遊女濃安却 一三播州色夫錄
 一四倭村書龜山訓(松平乘邑) 一五見語 一六政隣記抄本(津田政隣) 一七久留米騷動
 一八記實曆國民歌詠記 一九寶曆四甲戌歲騷動御制詞 二〇秋田杉直物語 二一秋田治亂記
 實錄 二二田沼主殿頭殿へ被仰渡書 二三田沼狂言蚊や火 二四出石侯内亂記之事
 二五濱松侍從春間封書 二六濱の松風 二七籠の宮夢物語

九二〇 外國史

- 1084 漢書食貨志 昭和三 影印 (古典保存會本) 和 〇三 一一
- 1085 新刻 漢書評林 明 凌雅隆編 明治 和 五〇 九二〇 一七
- 1086 新刻 元明清史略 第一一五 石村貞一編 明治一〇 和 五 九二〇 一一
- 1087 高麗史 第一一三 朝鮮 鄭麟趾 明治四一四二 (國書刊行會本第一期) 和 五〇 九二〇 一五
- 1088 新刻 史記評林 明 凌雅隆編 李光緒補 明治 和 一〇〇 九二〇 一六
- 1089 資治通鑑 宋 司馬光編 明治 和 一〇〇 九二〇 一六
- 1090 支那疆域沿革略說 重野安釋 河田 羅 明治二九 和 一 九二〇 二六
- 1091 支那史 市村瓊次郎 瀧川龜太郎 共著 明治二八 和 一 九二〇 一
- 1092 十八史略沿革圖 河村與一郎編 明治一三 和 一 九二〇 三三

- 1093 首書 十八史略字類大全 上 河村與一郎 (明治一三序) 和 一 九二〇 二一
- 1094 新刻 十八史略備考 第一一七 奥野精一標記 明治一二 和 七 九二〇 一三
- 1095 清朝史 矢野仁一 刊 (「古ニニューシーランド物語」ニ合本) 五〇 一一
- 1096 西洋文化史講話 古代中世篇 佐藤堅司 昭和三 一 九二〇 五
- 1097 西洋略史 其作元八 共著 明治三七 一 九〇二 四
- 1098 西洋史綱 其作元八 共著 明治三二 一 九二〇 三
- 1099 西洋通史 附圖 瀧川秀雄 明治三七 二 九二〇 六
- 1100 西洋史關係文獻目錄 邦文史學關係雜誌所載論文の部 早稻田大學史學會西洋史部會編 (昭和七序) 一 九二〇 三三
- 1101 增補 西洋全史 附錄 瀧川秀雄 一 九二〇 三〇
- 1102 中等教科 西洋歷史 瀧川秀雄 明治三八 一 九二〇 二四
- 1103 新體 西洋歷史參考書 本多淺治郎 明治三三 一 九二〇 二
- 1104 中等東洋史 上、下 桑原隲藏編 明治三一 一 九二〇 三三
- 1105 歷史地理 朝鮮 號 日本歷史地理學會編 明治四三 (歷史地理臨時增刊) 一 九二〇 二八
- 1106 朝鮮史 第一一五 林泰輔 明治二五 和 五 九二〇 一一

107	懲 苾 錄	韓柳成龍著 山口 昂譯	明治二七	一九二〇	三三
108	獨 逸 史	阿部秀助 (古ニユーゾーランド物語ニ合本)		五〇	二二
109	東洋史教程	陸軍中央幼年學校豫科 及陸軍地方幼年學校用	石田 照共編	大正二	二五
110	東洋史講座	國史講習會編	大正一四—一五	一六	九二〇
111	東洋分國史	上、下 大槻如電	明治二九	和	一九二〇
112	中等 東洋歷史地圖	中等學科教授法研究會編	明治三一	和	一九二〇
113	露西亞 侵略者 拔都大王并金黨史	酒卷眞一郎	明治二九	和	一九二〇
114	萬國史畧	卷一、二 師範學校編	明治二七	和	一九二〇
115	米 國 史	澁江保編 山田脩校	明治五	和	一九二〇
116	滿洲國安東省輯安東高句麗遺蹟	池内宏著	昭和一一	一	九二〇
117	滿洲の文化と遺跡の史的考察	伊東忠太	昭和八 (啓明會第五一回講演集)	一	九二〇
118	滿洲歷史地理	第一—二 箭内互等	大正二	二	九二〇
119	滿鮮地理歷史研究報告	東京帝國大學文科大學編	大正四—七	四	九二〇
	第一 一 勿吉考(津田左右吉) 二 室韋考(同) 三 安東都護府考(同) 四 渤海考(同) 五 契丹勃 興史(松井等) 六 契丹可敦城考附阻卜考(同)				
	第二 七 遼代烏吉敵烈考(津田左右吉) 八 遼盛古考(同) 九 金の兵制に關する研究(箭内互)				

100	蒙古史	河野元三		一九二〇	九
101	羅馬法王史	レオホルド フォン ランケ著 フエスター 英譯 坂本健一重譯		[一] 一〇	一一

九三〇 傳 記

九三一 叢 傳 系 譜

1101	京都御所拜觀案内	猪熊淺麻呂		一九三一	三六
1102	御諡號年號讀例	松浦詮編	明治二六	和	一九三一
1103	後西院天皇の御諡號改廢に就いて	藤山復雄	昭和九	一	九三一
1104	皇 陵	日本歷史地理學會編	大正二	一	九三一
	外國史			一七九	三〇

1108 山陵の祭祀を國家祀典となすべきの議 (歴史地理臨時増刊) 山口銳之助

(内地に於ける蝦夷の末路)ニ合本)

〇四 三八

1107 明治大帝と明治節 伊川謙 昭和二

(内地に於ける蝦夷の末路)ニ合本)

〇四 三八

1106 明治十 明治大帝北海道御巡幸史料集 函館師範學校學友會 昭和五

1105 列聖至尊皇居御舊趾尊重保存資料一班 木村一郎編 明治三二

(御西院天皇の御諡號改廢に就いて)ニ合本)

九三一 三五

1104 増訂 連光聖蹟錄 兒玉四郎編 昭和七

和 一九三一 二四

〇

1103 雲上示正鑑 乾坤 御園憲澄編 明治元

和 一九三一 一六

1102 花押 藪 丸山可澄編 (元祿三序)

和 五九三一 一一

1101 續花押叢 丸山可澄編 (寶永五序)

和 五九三一 一一

1100 華族明鑑 前田長善編 大正二

一 九三一 二

1099 華族名簿 明治四十五年四月調 華族會館編 明治四五

一 九三一 二七

1098 漢學者傳記集成 竹林貫一編 昭和三

一 九三一 四

1097 寛政重修諸家譜 第一一八 總索引 堀田正敦等編 大正六一七

九 九三一 一〇

1188 系 圖 重田定一編 明治三二

和 一九三一 三四

1187 系圖綜覽 第一一二 國書刊行會編 大正四 (國書刊行會本第四期)

(二) 〇三 五

1186 系譜精表 佐藤小吉 昭和八

一 九三一 一

1185 教授 國 旗 石川榮司編 明治三五

一 九三一 五

1184 酒井下野守様御分限帳 元祿十六年

和 一九三一 二六

1183 事實文編 第一一五 五弓久文編 明治四三―四四 (國書刊行會本第二期)

(五) 〇三 五

1182 支那人名辭書 第一、二、三 難波常雄等編 明治三六―三七

三 九三一 三三

1181 諸御役目録 (題簽「寛政御武鑑」)

和 一九三一 一八

1180 新刊雲上明鑑 下 文久三 (題簽「萬世雲上明鑑」)

和 一九三一 二五

1179 新撰姓氏錄考證 上、下 栗田寛 明治三三

二 九三一 七

1178 聖賢偉傑物語 大日本雄辯會講談社編 昭和三 (修養全集第一卷)

一 九三一 六

1177 千學集拔萃 明治三三寫

和 一九三一 三八

奥 (明治三十三年六月村岡良弼氏所藏本を寫し且一校し畢ぬ 南臆子)

1100 先哲叢談 前後編 原善 東條耕共編 明治二八

二 九三一 八